

日教保

4
April

伝えよう 生命の尊さ ほどけの心

養成機関連絡協議会

「保育者の資質」と「保育の質」について考える

平成 31 年 2 月 21 日 / 芝パークホテル



2月21日、芝パークホテルにて標記のテーマで養成機関連絡協議会が開催され、出席いただいた養成機関の先生方から、近年における学生の資質等について貴重なご提言をいただきました。今回は養成校から7校8名、日仏保側からは8名、オプザバーとして佐藤達全先生が参加しました。
(参加された先生方のお名前は別掲)

当協議会の司会を担当する高木常任理事より開会の趣旨説明のあと、緑谷理事長から次のような挨拶がありました。

「日仏保の研修会で、講師の先生が、今は幼稚園も保育園もまず職員を確保して、その園内環境を作った中で園児募集をしないし、皆さんが考えるような保育というのは難しいのではないかと話されました。少子高齢化の問題は深刻で、いろいろな事業場で人材の確保が難しくなっており、各企業においても大変ご苦労されているという話題が後を絶ちません。幼稚園・保育園でも毎年、結婚とかで職員が入れ替わります。そのような中で、自分の園の環境に合った職員を保護者から信頼を受けられるような先生に育成できるか、これは園にとって一番大事なことです。そこで、今回は第一線で将来の保育者を指導されておられる養成機関の先生方から保育者の資質と保育の質についてお話を伺いたいと思います。」

以下、養成機関の先生方から発言順にその要旨をお伝えします。

■小川隆昭先生
京都華頂大学 華頂短期大学



今年度も就職率は上がっています。保育系の学生は148名で、幼稚園が23名、保育所が88名、認定こども園が31名、公立の幼稚園保育園こども園が6名となっています。

学生募集はオープンキャンパスや模擬授業というのを通して精力的に進めています。去年は定員180名のところが150名しか集まらず、今年はそのようなことがないようにと心して取り組んでおりますが、受験してくれる高校生の数が京都では少なくなってきたのが現状です。

学生の質を高めるための取り組みとして、私の担当の音楽についてお話させていただきました。平成18年度から基礎の音楽を授業に取り入れ、初心者対応をすることにしました。短大なので2年間の間にやらなければならぬことがたくさんあります。そ

■富岡量秀先生
大谷大学・大谷大学短期大学部



当大学は複数学部化に大きく踏み切り、文学部と教育学部と社会学部という3学部制になりました。今まで文学部の中に教育、社会、国際というものが入っていましたが、それを整理したことになります。

短大の就職状況は、最終的には恐らく9割以上、93・4%ぐらいは保育園や幼稚園に就職させていただきました。62%が一般企業



Ochanomizu

です。そのうち保育所が40%、幼稚園が32.3%です。

学生募集については、全員を保育者にするということの基本方針として展開しています。オープンキャンパスや模擬授業などでは全員保育者になるつもりで来てくださ

いとお願いし、ブースに高校生が相談に来たら、その方向性を詳細に説明しています。これは学生の質を高めるために何かやっているか

というところにつながると思いますが、入学して来た学生は保育者になりたいという信念と心の持ち用が大事であると指導しています。実際、四大では常に1年生の時

■佐藤純子先生
淑徳大学短期大学部



から現場に行かせています。それは教育実習ではなく、単位化して児童との結びつきを大学でしてあげるとい形をとっています。保育者になるためのカリキュラムになつて

いるといえます。ミスマッチを防ぐためにも各高校と連携を密にして取り組んでいます。

上の伝統がありますから、現場に出ても淑徳の先輩がたくさんいるというところが強みです。PRしているかなければならないと思っています。就職の面に関しては、ほぼ100%です。今年

は保育所の率が高い状況です。ここ数年の動向では、なぜか企業型保育、院内保育、小規模保育などに行きたいという学生が多いです。

募集の取り組みとしては、高校生に向けた模擬授業では積極的に必ず訪問して保育の楽しさや子どもと関わりたいと思う生徒さんを増やしていこうという地道な努力を重ねています。

■岡本啓宏先生
駒沢女子短期大学



も入ってもらつて、いろんな案を出し合い戦略を練っているところです。本学では共生論という授業があり、共生の心を教えるとともに理論と実践が伴わなければならないことを全員が参加することになつていま

す。子育て支援、ホームレス支援などに参加したり保育所に行つたりして豊かな感性のある保育者になつてほしいと願っています。

る、1100~1200名がここ1、2年続いています。就職状況はほぼ100%の就職を実現しています。今年

は幼稚園園がやや少なく、保育所の方が50%を超えています。企業系の保育施設への就職が増えてきているのが現状で、仏教園はわずか5%弱、110名の卒業生の中で2名くら

いでした。学生募集と獲得の取り組みについては、オープンキャンパスの充実と丁寧な対応を心がけています。高校生には本学の発表会や造形展などへ招待をし、模擬授業は声がかかったところにはすべて参加しています。

■橋本弘道先生
鶴見大学短期大学部



今年228名のうち就職希望が204名でした。幼稚園には69名、保育園には94名、公立の保育園に2名、子ども園に28名、施設3名、企業5名、進学18名です。

今活動中の学生が3名いますが、ほぼ決まっているので、今年もほぼ就職率100%になるかと思

います。幼稚園が34%で保育園が49%、保育園が徐々に増えて来ています。

定員が200名のところ、1年生は定員割れで約180名です。今年

■佐藤智子様
聖徳大学・聖徳大学短期大学部



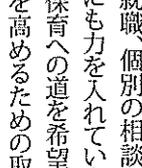
今年204名です。今年もほぼ就職率100%になるかと思

います。幼稚園が34%で保育園が49%、保育園が徐々に増えて来ています。

定員が200名のところ、1年生は定員割れで約180名です。今年

は幼稚園園がやや少なく、保育所の方が50%を超えています。企業系の保育施設への就職が増えてきているのが現状で、仏教園はわずか5%弱、110名の卒業生の中で2名くら

■佐藤純子先生
淑徳大学短期大学部



から現場に行かせています。それは教育実習ではなく、単位化して児童との結びつきを大学でしてあげるとい形をとっています。保育者になるためのカリキュラムになつて

る、1100~1200名がここ1、2年続いています。就職状況はほぼ100%の就職を実現しています。今年

は幼稚園園がやや少なく、保育所の方が50%を超えています。企業系の保育施設への就職が増えてきているのが現状で、仏教園はわずか5%弱、110名の卒業生の中で2名くら

いでした。学生募集と獲得の取り組みについては、オープンキャンパスの充実と丁寧な対応を心がけています。高校生には本学の発表会や造形展などへ招待をし、模擬授業は声がかかったところにはすべて参加しています。

定員が200名のところ、1年生は定員割れで約180名です。今年

■橋本弘道先生
鶴見大学短期大学部



今年228名のうち就職希望が204名でした。幼稚園には69名、保育園には94名、公立の保育園に2名、子ども園に28名、施設3名、企業5名、進学18名です。



えばウィーン少年合唱団、歌舞伎などの芸術を鑑賞するシリーズコンサートというものを実施しています。

また、礼儀作法を学ぶ授業や協調性を養うために2泊3日の学外研修などを行っています。その他、卒業後5年目ぐらいの先輩諸氏に幼児教育の魅力、やりがいなどを話してもらい、保育士により憧れを持ち、積極的に学びに取り組める環境を作るようにしています。

■青木弥生様
こども教育宝仙大学



■青木弥生様
こども教育宝仙大学
本学は10年前に女子の短期大学から其学の4年制大学に移行しました。年々男子学生の割合が高くなって来ておりまして、今の1年生は、15%超えています。定員は100名ですが、なかなか充足させることが難しく、募集の段階で95名ということもあります。入学の辞退も多く、心配しているような状況です。

学生募集については高校訪問、イベントなどで入試センターを作っています。オープンキャンパスでは学生ボランティアに関わってもらうということにしています。例えば、カフェのような形で個人的

にお話をしたりして、なるべく学生生活をイメージしてもらえようとしています。

系列に女子高校があり、その保育コースと連携をして学生獲得の努力をしています。

学生の資質を高めるための取り組みとしては、保育の現場を知るとい科目を1年前期、1年後期という形で2回、あと2回は近隣の幼稚園へ実習に入っています。

また、現在ゼミ改革を推進しており、1年時は基礎学力を高め、2年時の終わりに実習に出ますので保育の現場に精通した先生にご担当いただき、現場に入る構えをそのゼミを通して習得できるように指導しています。

■小嶋正俊様
鶴見大学短期大学部



卒業生の相談は、それほど多くはありませんが、人間関係が目立つと感じています。昨年、現場であった相談ですが、指導係の先生だけが非常に合わなくて、何をやっても怒られる。同期にも恵まれて、園長先生もいい人で、ここを辞めたくないが、その先生だけが苦手なのです。」と、本人が泣きながら毎日のように電話して来まし

た。そこで人事権をもっている先生に直接話してみることを提案したところ、今はすごく楽しく活躍していると本人から連絡がありました。

人間関係の解決には、他にいろいろな策はあると思いますが、一人で抱え込まず、思い切って園長先生もしくは同期の先生に相談してみることも大切なのかなと思いました。

私たち職員一同は、「卒業後も悩みがあったら気軽に相談しに来てください。」と呼びかけています。せつかく就職できたのに、そういった悩み事で退職するのはもったいないと感じていますので、これからも卒業生の声に耳を傾けていきたいと思っています。

■佐藤達全先生
育英短期大学



長年、幼児保育と関わって来ましたが、学生の気質がすごく変わりました。一言でいうと幼くなりました。純真でナイーブで打たれ弱い。ある程度年齢がいくとある意味で割り切るんですが、そうではないところで悩みがたくさんあります。卒業生や実習生はナイーブで、自分でなかなかそれを乗り越

えていくのが難しい。

私の提案で7、8年前から始まっていますが、保育実習学生と現場の先生と年1回懇談会をやっています。今回は130ぐらいの幼稚園・保育園子ども園・施設関係の先生方が来てくださいました。やはり現場の先生と関係を密にしておくことが重要だと思います。

また、大変ですが耐えることも必要です。1年、2年と経験を積みれば自分で乗り越えられるようになります。とにかく園長先生や園の先生たちとコミュニケーションをとることが一番です。関係を深めていくのがこれから必要なのではないかと感じています。

このあと、「養成機関と施設の連携」について意見交換があり、開

会の辞として高山副理事長が「学生の質の低下や現場の待遇の改善など、諸先生のお話を聞いて痛感しております。それらの対策としてどのような方法があるのだろうか」と考える、大変ありがたい機会になりました。仏教保育園の中で切磋琢磨して、また充実した仏教保育を行いたいと考えております。養成校の先生方にもいろいろご指導を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶し、本年度の養成機関連絡協議会を終了しました。

協議会終了後は別室に用意された会場で懇親会が開かれましたが保育者の資質についての話題は尽きず、有意義で和やかなひとときとなりました。

■養成機関連絡協議会出席者 (順不同・敬称略)

- 小川隆昭 京都華頂大学華頂短期大学 講師
- 富岡量秀 大谷大学・大谷大学短期大学部 教授
- 佐藤純子 淑徳大学短期大学部 教授
- 岡本啓宏 駒沢女子短期大学保育科 専任講師
- 橋本弘道 鶴見大学短期大学部保育科 准教授
- 佐藤智子 聖徳大学・聖徳大学短期大学部キャリア支援課主任
- 青木弥生 こども教育宝仙大学キャリアサポート委員長
- 小嶋正俊 鶴見大学短期大学部キャリア支援課 書記

■日本仏教保育協会出席者 (敬称略)

- 緑谷一雄 理事長
- 高山久照 副理事長
- 高木正尊 常任理事 (研究)
- 荻野順雄 常任理事 (事業)
- 高輪真澄 常任理事 (総務)
- 丹羽義昭 総務部長
- 樋口威道 総務部長
- 大島周志 舎人幼稚園
- 佐藤達全 育英短期大学 教授



厚生労働委員会委員長 石田昌宏先生との意見交換会

3月5日、都内で仏教保育の振興に深く理解されておられる厚生労働委員会委員長の石田昌宏先生(参議院議員)を囲んで意見交換会を行いました。以下、その要旨を掲載します。(発言順)



◆石田昌宏先生

最近、国会で話題になっているのは教育と虐待です。後を絶たない虐待にどう対応していくか、こ

れは深刻な問題だと認識しています。

私は看護師ですから医療をやっている立場から申し上げますと、そもそも生まれている妊娠なのか、幸せな出産なのだろうか、親になっていくプロセスをどう考えるか、それから親の教育とは何なのかとか、そういうことを考えていかないと虐待の問題はなくなりたくて、家族の形成過程の問題だと思っています。

そういった点で子どもや保護者を各現場で見えていただいている皆様方の考え方が非常に大事だと思えます。その話も含めて、今、幼児保育の現場で何が問題で何が必要か、また今年の10月から始まる無償化の問題等々、お聞かせいただければとてもありがたいと思っております。よろしくお願います。

◆緑谷一雄理事長

(千葉・みどり幼稚園)

今、幼稚園では様々な問題が起きています。少子高齢化の影響かもしれません、養成校の各学校等は全国レベルで在校生の質が低下していると聞いています。

それは面接に来られる学生を見ても感じられます。そういう中で、職員を何とか育てていかなければならない。これも私どもの使命と考えて受け入れています。が、職員採用は深刻な問題です。

さらに今、一番心配なのは10月からの無償化です。私の園はバスを使っています。責任感を持って子どもを入れて下さっている保護者に対し、強い使命感をもって今までやって来ましたが、それが果たして10月からそんな信頼関係が築けるだろうかという不安があります。無償化だけが一人歩きしている感じがして、それが元で起こり得る諸問題がおざなりになっているような気がします。

◆高山久照副理事長

(東京・寿福寺第一・第二幼稚園)

東京の練馬区で二つの幼稚園を経営しています。学校法人で私学助成を受けております。当園の特徴として、現在、複数の障がい児を広く受け入れております。確かに現場には困難がありますが、地域にはそういうニーズが必ずあるはずで、まして仏教保育であるからこそ、そういったことが私

どもにとつては、大事な使命かなと考えています。

ただし将来にわたつてこのまま続けていけるのか、その辺が非常に迷うところです。継続していくための選択肢をきちんと考えながら決めていきたいと考えております。

◆高輪真澄常任理事

(東京・光輪幼稚園)

私は浄土真宗本願寺派という西本願寺の全国の保育連盟の理事長をしております。全国で972の幼稚園・保育園・認定子ども園が所属しています。各園の諸問題に対し、できるだけ丁寧に対応をさせていただいています。中には県ごとに全国が認定子ども園になったとかも聞きました。保育園が次々と認定子ども園になっている中、認定子ども園になっても、設立の時の建学の精神は守られる、ということでしたが、実際になつてみたら、保育園の時よりも仏教色が薄められたとか、そういう事例もあるようです。いかに認定子ども園になつても仏教保育の理念まで変えることは絶対にあつてはならないことです。結局は文句を言うのも、なかなかそうもいなくて、取り敢えず認定子ども園の認可を受けたそうです。そういうところもふまえて、真剣に対処していきたいと考えています。

◆古屋吉雄常任理事

(茨城・共生保育園)

茨城で60人定員の保育園を運営しております。昨年の9月と10月に保育士が産休に入り、31年度を目前にした2月に、また1人の保育士が産休に入ることになりまして、新年度に向け大きな不安を抱えることになりました。というのも東京23区への通勤圏では保育士不足が深刻化しております。そんな中での事態ですので大いに慌てました。新卒は当初から1人決まっていたものの、当然、急いで職員の募集をしました。しかし思わしくなく、以前勤めていた元職員に連絡したところ幸いにも2人とも応じてくれて、無事に新年度を迎えることができます。

おめでたい出産を素直にお祝いしてあげられない状況、これは東京都とそれを囲む地方との地域格差であります。具体的には、私どもの月の運営費収入は800万くらいですが、大田区の園と対照すると、運営費は同額ですが、都と区より400万の補助金が毎月入ります。当方では年額でその程度の補助金です。

同じ日本の子どもなのに、東京にいる子どもと千葉・埼玉・茨城とはあまりの地域格差があり過ぎるのを申し上げます。

石田先生は障がい者が専門でいらつしゃいますが、障がい児の



受け入れについても、私どもの市では9万の補助金です。その子のために1人の職員を付けるのとすると、そこにも無理が生じます。現状では都道府県・市区町村により大きな格差があるわけです。子どもたちに対しての充実した保育・運営に少しでも改善されればと望むものであります。

◆樋口威道総務部長

(東京・今泉保育園)

障がいにもいろいろ種類があります。中には大変な子もいます。職員は日々苦労しています。私立の保育園・幼稚園では障がいがある子と一緒に保育をしていくことも大事だと考えておられる園長先生も多く、これは子どもたちがそういう経験を積むこ

とで将来違和感なく一緒に生活して、異質なものではないことを分かつてもらえるいい機会だととらえられているからだと思えます。

障がい児の受け入れは、公立より私立の方が比率は高いと言われているのですが、これは困ったことではなくて、とても大事なことではないかと思っています。

今、東京では待機児童のことがあつて、いろいろな補助が増えています。ただ今もう既に3歳児以上の定員は少しずつ空くようになってきているのも現状です。これがまたもう数年経つと、0歳から2歳まではいるけれども、その上が空いてくるということが出て来るのではないかと推定され、とても危惧しています。

◆荒牧匠平先生

(東京・鶴の木いまいずみ保育園)

大田区の場合、3歳児以上は平均5〜6名の欠員が出ています。一時は300人もの空きがあつたのですが、もうすでに0、1、2歳児でも空きが始めました。本当に仏教保育として、どう生き残っていくかということを考えていかなきゃいけない時代に突入したと実感しています。

10年前は私立園が20カ園だったのが、今、大田区では私立園だけでも100カ園あります。と

にかく待機児童に対して何も考えなしに作り過ぎたのではないかというのが実感で、無償化も大事でしょうけど、そういったところも考えていかないと、ただ要らない施設になってしまうのではないかという危機感を感じています。

日仏保は幼稚園・保育園関係なく幼保一元化ですと昔からつないできた団体ですので、その辺を軸に真剣に考えていかなければならないと思っています。

◆大島康裕制度対策部長

(東京・舎人幼稚園)

足立区の場合は、私立幼稚園がもう既に10%の定員割れをしています。墨田区は家賃が大幅に上がっています。更新時、いくら上がるのかという不安があります。また墨田区からは現在、特別措置ということで、8割の補助金を

いただいています。3年後からは約3割になるという情報があります。そうなったら全くやっていけないので、墨田区から撤退しますと、はっきり山本区長に申し上げたところですよ。

足立区は認定こども園に対しては当初は措置として、年度末に2千万〜3千万円を出していましたが、ある日突然、年度の途中で、それはなくなりますという連絡が来ました。

また足立区の場合、認定こども園は13時間の保育になります。無償化になった時、13時間保育をするとなると、職員が通常の幼稚園の倍いるわけです。ただでさえ職員は不足しているのに、これではやっていけません。

戸田市は、市に勤めれば4月の時点で保育士に70万をあげるそうです。杉並区が20万か30万、松戸市が40万、結局市が税金で職員を困らさすわけです。市は税金で職員を集めているわけです。それをやらせては、我々はどうにもならなくなります。

また10月から無償化になったとして、いつに入金するでしょうか。明確にならないければ完全に園の経営が圧迫します。無償化よりは、まじめにやっている園にはきちっとした補助金を出す方が先なのではないかと思っています。

◆丹羽義昭総務部長

(埼玉・認定こども園あずま幼稚園)

子どもが増えなければ何の意味もないのに、今の政策は子どもが増えない政策をずっと続けているのが現実だと思います。

育児休業法をもっと充実させなければならぬ。これは市議会議員の時からずっと訴え続けて来ました。保育園を次から次へと作っても、また認定こども園を増やしても、子どもは増えないので

す。実際子どもが減っています。こは思い切つて、1年や2年の育児休暇じゃなくて、10年ぐらいつて、それから職場復帰する、それくらいの判断が必要だと思います。

自分の子どもを育てて喜びを感じれば2人目、3人目の子どもが欲しくなるはずですよ。ところが全部人様に0歳から預けたら喜びはありません。幼稚園や保育園の先生は実は一番いいところを見ているのです。立ち上がってハイハイした時、言葉を初めて発した時も、親は見えていなくても、先生は見えています。

中小企業に育児休業法を取らせるように補助をする。ここに手厚くする方が、保育園にこれだけ投資するよりも、はるかに少ない予算でできると思います。

◆石田昌宏先生

ありがとうございます。本日は皆さんから貴重な意見を聞きまして、気が引き締まりました。私はまだ参議院に初当選したばかりですが、このような勉強会を通じて成長していきたいと思っております。できる限り努力をさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

平成30年度 日本仏教保育協会賞受賞者の方々 (敬称略)

ご就職おめでとうございます!!

「日本仏教保育協会賞」は、仏教系保育者養成機関において仏教保育者としての専門性を磨き、仏教保育者の道をめざす卒業生を称え、今後の保育実践の充実を期待して表彰するものです。

- 村田 結衣 (函館大谷短期大学・北海道)
就職先 Ⅱ 学校法人函館大谷学園・北海道
- 岡田 真鈴 (帯広大谷短期大学・北海道)
就職先 Ⅱ 社会福祉法人大谷菩提樹会・北海道
- 伊名野 萌花 (札幌大谷大学短期大学部・北海道)
就職先 Ⅱ 青葉興正保育園・北海道
- 中川 茉優 (聖和学園短期大学・宮城県)
就職先 Ⅱ 中新田幼稚園・なかよしこども園・宮城県
- 須藤 蒼来 (足利短期大学・栃木県)
就職先 Ⅱ 認定こども園足利しらゆり幼稚園・栃木県
- 長澤 陽奈子 (立正大学社会福祉学部・埼玉県)
就職先 Ⅱ 宗教学法人正光寺・東京都
- 蛭川 結季乃 (駒沢女子短期大学・東京都)
就職先 Ⅱ 原市文化幼稚園・埼玉県
- 大林 杏 (聖徳大学・千葉県)
就職先 Ⅱ 神田寺幼稚園・東京都
- 佐藤 千聖 (聖徳大学短期大学部・千葉県)
就職先 Ⅱ 江東学園幼稚園・東京都
- 清水 智世 (こども教育宝仙大学・東京都)
就職先 Ⅱ ほぜん幼稚園・東京都
- 辻原 瞳 (淑徳大学短期大学部・東京都)
就職先 Ⅱ 正光寺保育園鳩ヶ谷園・埼玉県
- 野口 実希 (武蔵野大学・東京都)
就職先 Ⅱ 妙福寺保育園・東京都
- 黒岩 彩香 (鶴見大学短期大学部・神奈川県)
就職先 Ⅱ 秋葉幼稚園・神奈川県
- 松永 彩花 (愛知文教女子短期大学・愛知県)
就職先 Ⅱ 愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園・愛知県
- 奥村 紬 (岐阜聖徳学園大学短期大学部・岐阜県)
就職先 Ⅱ はなぞの幼稚園・岐阜県
- 本島 梨子 (飯田女子短期大学・長野県)
就職先 Ⅱ 慈光保育園・長野県
- 吉川 彩也香 (高田短期大学・三重県)
就職先 Ⅱ 長太の浦保育園・三重県
- 城戸 沙央里 (京都西山短期大学・京都府)
就職先 Ⅱ むらさき幼稚園・京都府
- 大谷 かりん (大谷大学短期大学部・京都府)
就職先 Ⅱ 錦綾幼稚園・京都府
- 角川 晴菜 (京都文教短期大学・京都府)
就職先 Ⅱ ひらぎこども園・京都府
- 田村 真古都 (佛教大学・京都府)
就職先 Ⅱ 太秦保育園・京都府
- 武智 美穂 (京都女子大学・京都府)
就職先 Ⅱ しろはな幼稚園・兵庫県
- 猪原 智子 (龍谷大学短期大学部・京都府)
就職先 Ⅱ 御室幼稚園・京都府
- 辻本 七海 (京都華頂大学・京都府)
就職先 Ⅱ 安朱保育園・京都府
- 水元 千絵 (華頂短期大学・京都府)
就職先 Ⅱ 華頂短期大学附属幼稚園・京都府
- 小松 依央菜 (四天王寺大学短期大学部・大阪府)
就職先 Ⅱ 四天王寺夕陽丘保育園・大阪府
- 宗利 知穂 (兵庫大学・兵庫県)
就職先 Ⅱ じょうせんこども園・兵庫県
- 黒田 賢 (兵庫大学短期大学部・兵庫県)
就職先 Ⅱ 書写認定こども園・兵庫県
- 井戸川 明郁 (筑紫女子園大学・福岡県)
就職先 Ⅱ 白菊幼稚園・福岡県
- 平井 菜々子 (九州龍谷短期大学・佐賀県)
就職先 Ⅱ 和光保育園・佐賀県
- 田村 明白香 (東九州短期大学・大分県)
就職先 Ⅱ 豊前幼稚園・福岡県



<p>園長 小澤 宏</p> <p>〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話 04233647651</p>	<p>日仏保連審議委員 園理事 村上真瑞</p> <p>〒461・0003 名古屋市中区筒井1・7・52 電話 05229352172</p> <p>学・建中寺園建中寺幼稚園</p>	<p>日仏保副理事長 園理事 高山久照</p> <p>〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話 03399998739</p> <p>学校法人 寿福寺学園</p>	<p>日仏保連審議委員 園長 秋山秀阿</p> <p>〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 0336180511</p> <p>宗・安養寺 光徳保育園</p>	<p>日仏保連審議委員 園長 樋口威道</p> <p>〒146・0084 東京都大田区南久原2・30・5 電話 03375560505</p> <p>社福いまいずみ鶴の木いまいずみ保育園</p>	<p>日仏保理事長 園長 緑谷一雄</p> <p>〒272・0813 千葉県市川市中山3・10・4 電話 04733341224</p> <p>みどり幼稚園</p>
<p>園理事 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 0755810879</p>	<p>園理事 妹川真澄</p> <p>〒300・0812 茨城県土浦市下高津2・10・22 電話 02998211645</p> <p>山科幼稚園・西念寺保育園</p>	<p>園長 北川多喜子</p> <p>〒615・0882 京都市右京区西京極萱野町4 電話 0753137663</p> <p>つわぶき園</p>	<p>日仏保理事 園長 金子英滋</p> <p>〒380・0847 長野市若松町1028 電話 0262345858</p> <p>パドマ幼稚園</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅南3・18・28 電話 0924313256</p> <p>サルナート幼稚園</p>	<p>園長 麻布真海</p> <p>〒106・0046 東京都港区元麻布1・6・21 電話 0334536710</p> <p>麻布山幼稚園</p>
<p>日仏保理事 園長 西村英昭</p> <p>〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話 0823255671</p>	<p>日仏保副理事長 園長 陰山正憲</p> <p>〒080・2471 北海道帯広市西21条南3丁目22・2 電話 0155357122</p> <p>学・帯広竜宮学園 帯広幼稚園</p>	<p>園長 清野英俊</p> <p>〒983・0841 仙台市宮城野区原町2・1・66 電話 02226934930</p> <p>東岡幼稚園</p>	<p>日仏保理事 園長 鎌田文恵</p> <p>〒980・0814 仙台市青葉区霊屋下23・5 電話 0222274441</p> <p>学・瑞鳳学園 おたま幼稚園・茂庭幼稚園</p>	<p>園理事 金山万亀子</p> <p>〒984・0816 仙台市若林区河原町2・2・7 電話 0222274441</p> <p>学・仙台佛学院 古城幼稚園・若林幼稚園</p>	<p>日仏保副理事長 園長 日野昭文</p> <p>〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話 07538122591</p> <p>松尾幼稚園</p>
<p>園長 野上浩達</p> <p>〒193・0944 東京都八王子市館町16229 電話 0426613046</p>	<p>園理事 増澤秀丸</p> <p>〒198・0064 東京都青梅市榎木町2・312・1 電話 0428760889</p> <p>社会福祉法人よしの保育園</p>	<p>園理事 黒柳博仁</p> <p>〒381・0043 長野市吉田3・15・4 電話 026241415</p> <p>若草幼稚園</p>	<p>園長 植田美代</p> <p>〒606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話 0757612211</p> <p>だん王夜間保育園</p>	<p>園長 信ヶ原雅文</p> <p>〒606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話 0757612211</p> <p>だん王保育園</p>	<p>日仏保理事 園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 0758215010</p> <p>月かげみどり保育園</p>
<p>園長 永見俊光</p> <p>〒164・0013 東京都中野区弥生町4・12・1 電話 0353282434</p>	<p>日仏保理事 園長 今湊良敬</p> <p>〒951・8061 新潟市中央区西堀7・15558 電話 02522285866</p> <p>新潟中央幼稚園</p>	<p>日仏保理事 園長 丹羽義昭</p> <p>〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町430 電話 0489251741</p> <p>認定こども園 あずま幼稚園</p>	<p>園理事 太田眞琴</p> <p>〒064・0914 札幌市中央区南14条西18丁目6・5 電話 0115615151</p> <p>福・札幌慈啓会 啓明ともいき保育園</p>	<p>園理事 松尾龍一</p> <p>〒732・0814 広島市南区段原南1・5・3 電話 0822615330</p> <p>みみょう幼稚園</p>	<p>園長 加藤英子</p> <p>〒567・0832 大阪府茨木市白川1・11・1 電話 0726331212</p> <p>りんでん幼稚園</p>
					<p>園代表役員 園長 榎本崇子</p> <p>〒183・0014 東京都府中市是政3・6 電話 04236617452</p> <p>宗・西蔵院 是政保育園</p>
					<p>園長 松井大園</p> <p>〒710・0055 岡山県倉敷市阿知3・20・7 電話 0864250141</p> <p>御国幼稚園</p>
					<p>園長 森 雅子</p> <p>〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 電話 0754918818</p> <p>大徳寺保育園</p>
					<p>園長 天白保 神野哲州</p> <p>〒468・0056 名古屋市天白区島田3・110 電話 05228010433</p> <p>天白保育園</p>
					<p>園長 阿 純章</p> <p>〒152・0003 東京都目黒区碑文谷1・22・22 電話 0337166070</p> <p>円融寺幼稚園</p>
					<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南両町22 電話 0758210055</p> <p>月かげ保育園</p>
					<p>園長 町田順文</p> <p>〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 0449775671</p> <p>初山幼稚園</p>



事務局日誌

3/8 「仏教保育カリキュラム」編集会議
事務局会

3/25 こどものくに ちゅーりっぷ版編集会議

仏教保育カリキュラムが

リニューアルしました



読者の皆様により見やすく、情報を分かりやすくお伝えするために、2019年4月号から、誌面を刷新いたしました。まず、子どもたちが描いた生き生きとした絵のすばらしさをダイレクトにお伝えするため、表紙はカラーに。そして、冊子のサイズを大きくすることで文字を大きくし、横書きにすることでより読みやすくしました。今後ともさらなる情報の充実を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

編集後記

■年号が「令和」と決まりました。お祭り騒ぎのようです。そんな中、新聞に退位される美知子皇后をささえた「心の絵本」という話が出ていました。その絵本は新見南吉作の「でんでんむしのかなしみ」という本でした。■ある日、でんでんむしが自分の殻に詰まっているのは「悲しみ」であることに気付き、希望を失った時に、友達のでんでんむしを尋ね歩きました。すると友達は「あなたばかりではありません。わたしの背中にも悲しみはいっぱいです」と答えました。その言葉に救われていく……という話です。

■美知子皇后の心にこの話が何故響いたのでしょうか。このエピソードを聞いて、お釈迦様のジャータカ「白いケシの実」の話を思い出しました。この話も亡くした息子を生き返らせようとする母親に、お釈迦さまが「誰でも大切な人を喪っている。あなただけではない」ということを教えるお話でした。■自分の苦しみを受け止めるためには、他者との共感が必要なのです。他者に自分を映しながら自分を知っていく。子ども達にもそんな力をそなえてほしいものです。

(五島)

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すぐし出版

仏教保育

5
May

伝えよう 命の尊さ ほとけの心

第 6 回

公益社団法人日本仏教保育協会

創立90周年を迎えて

機関紙 仏教保育

3カ月に1回のペースで発行されてきた。

当協会の情報発信源の一つである『機関紙仏教保育』の第1巻第1号の発刊は、昭和7年12月1日となっている。記念すべき第1号の内容を左記に掲載する。

『仏教保育』は、現在のように毎月発行ではなかったが、2

内容は主に実践的なものが掲載されていたと記録されている。昭和10年1月までの発刊までは記録に残っているが、残念ながら当初の冊子は残っていない。

発行は一時中断されていたが、協会活動の報告や、各支部との連携、教材の紹介等の為、昭和30年12月に復刊されることと

なった。当初は季刊年4回発刊であったが、復刊当初より月刊化を目指し、会員の拡充に努めていた。文字中心の紙面であったが、昭和40年頃から、写真も掲載されるようになり、さらに活動の様子がわかりやすく伝えられるようになっていった。そして昭和42年1月より念願の月刊化となる。

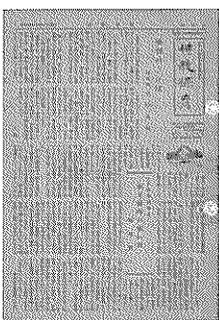
掲載内容は充実しており、協会の活動が報告され、夏期仏教保育研修会や全国仏教保育大

会の活動が報告され、夏期仏教保育研修会や全国仏教保育大

の活動が報告され、夏期仏教保育研修会や全国仏教保育大



公益社団法人への移行に伴い、リニューアルされた



「機関紙仏教保育創刊号」日仏保に残っている一番古い機関紙

会分科会の内容が詳細に記されている。カリキュラムの研究も進み、4月からは毎月のカリキュラムが掲載されていて、後に『仏教保育カリキュラム』発行のきっかけにもなった。(機関紙第658号掲載)

支部の総会・研修会等の報告は「各地消息」として毎月掲載され、連携をはかっていた。

長い間B5サイズで発行されていたが、公益社団法人となつた平成24年4月号より、A4サイズになり、平成23年に日仏保の事業として制定された、『ロゴマーク』と『キャラクター』を使用し、紙面がリニューアルされ今日にいたる。

元号も新しくなり、90周年を迎えるにあたり、機関紙発行の意義を見直し、支部活動報告も含め、社員の皆様により多くの役立つ情報を提供できる、充実した内容の紙面にしていきたい。

『仏教保育』第1号

昭和7年12月1日発行 A5判・17ページ

【目次】

- ・三婦依文
- ・仏教保育発刊に当たりて — 安藤正純
- ・仏教保育に就て — 富田敦純
- ・仏教保育創刊を祝す — 倉橋惣三
- ・仏教保育講和「仏教保育の性質」 — 関 寛之
- ・幼児の仏典劇「にらめっこ」 — コドモノテラ
- ・仏教幼稚園唱歌教材目録 — 真言宗保育研究会
- ・童謡舞踊「旗は日の丸」 — 島田 豊
- ・童話「お釈迦様と小鳥」 — 堀 緑羊
- ・役員一覧

会 長: 安藤正純

副会長: 富田敦純・関 寛之

理 事: 稲垣実秀・岩崎鳳栄・出雲路宏

岩本勝俊・稲葉文海・堀 緑洋

大野柔忍・和田弁瑞・加藤通温

国東秀雄・小熊月照・山田頸達

藤井実応・網野有俊・阿部竜伝

主 事: 関岡賢一

委 員: 青柳義智代・笠原秀定

柘植慈想・狛倉存明



平成30年度 生命尊重(いかせいのち) 協賛園

北海道

瑞祥幼稚園 一、〇〇八円
 滝川幼稚園 二二、五〇三元
 帯広幼稚園 五、四八三元
 もなみ幼稚園 七、四四〇円
 小樽幼稚園 九、三八〇円
 朝里幼稚園 五、〇〇〇円
 札幌大谷第二幼稚園 一四、〇〇〇円

栃木

認定こども園ふじおか幼稚園 二二、二二〇円
 鳥山みどり幼稚園 一三、六三六円
 認定こども園真岡ひかり幼稚園 三六、三〇〇円
 岩舟幼稚園 一三、五六四円

六川花園幼稚園

一九、九五三元
 船橋幼稚園 三〇、〇〇〇円
 中野たから幼稚園 二〇、〇〇〇円
 日野わかかさ幼稚園 二〇、〇〇〇円
 金の峯幼稚園 二八、二四一元
 本行寺第二伊興幼稚園 七、三〇〇円
 寿福寺第二幼稚園 一〇、五八九円
 寿福寺幼稚園 二二、七七二元
 瀬田幼稚園 一〇、〇〇〇円
 祐天寺附属幼稚園 二五、〇〇〇円
 祐天寺 三、〇〇〇、〇〇〇円
 ルンビニー保育園 一三、一九七円

ほぜんじ幼稚園

五二、〇〇〇円
 銀の鈴幼稚園 四〇、〇〇〇円
 多摩みゆき幼稚園 四二、〇二七円
 八王子ひまわり保育園 二五、二三四円
 神田寺幼稚園 三八、〇〇六円
 真理学園幼稚園 二一、八八八円
 まや保育園 五、八〇〇円
 妙福寺保育園 五、〇〇〇円
 帝釈天附属ルンビニー幼稚園 一九、五五〇円
 鶉の木いまいずみ保育園 一〇、一〇〇円
 光徳保育園 一三、〇〇〇円
 和敬幼稚園 二八、五〇六円
 慶元寺幼稚園 一七、八〇〇円

若竹幼稚園

二二、八三九円
 大里双葉幼稚園 四六、三三五円
 西別院幼稚園 一〇、六一〇円
 音間山保育園 三〇、一四〇円
 劔正幼稚園 四〇、〇〇〇円
 中田劔正幼稚園 一〇、〇〇〇円

愛知

善東幼稚園 一〇、〇〇〇円
 喜多山幼稚園 八、二七〇円
 瑞雲保育園 四七、一五九円
 花井幼稚園 二二、八三九円
 若竹幼稚園 二一、〇〇〇円

宮城

小樽高田幼稚園 二〇、二六四円
 花園大谷幼稚園 八、五七一円
 函館大谷幼稚園 五、〇〇〇円

群馬

長野幼稚園 四六、〇一六円
 あずま幼稚園 二七、〇九七円
 清浄院幼稚園 二〇、五〇〇円
 厚徳幼稚園 二二、七〇四円
 浦和みひかり幼稚園 一四、〇三五円

東京

みよしの幼稚園 二五、三七三元
 最勝寺みのり保育園 一〇、〇〇〇円
 松月院幼稚園 一一、三六〇円
 草花保育園 一〇、〇〇〇円

神奈川

ばらの幼稚園 一四、一五〇円
 横浜れんげ幼稚園 六七、八五八円

長野

古牧東部保育園 一五、六〇九円
 若草幼稚園 一一、八八〇円
 古里中央幼稚園 一一、八三六円

茨城

八幡花園幼稚園 五、〇二二円
 東盛幼稚園 二二、九八〇円
 東仙台幼稚園 一七、四四七円

埼玉

みよしの幼稚園 二五、三七三元

千葉

栄幼稚園 八七、八五二円
 もみじこども園 一一、四二八円
 共生保育園 二二、八一三円

福井

新田塚幼稚園 一〇、七七一元

三重

高田保育園 一一、一〇〇円

京都

大徳寺保育園 五三、〇〇〇円



東野保育園 三、八五〇円	誕生院保育園 四、〇〇〇円	御室幼稚園 一四、〇〇〇円	大谷保育園 二一、〇〇〇円	山科幼稚園 二二、七四二円	むらさき幼稚園 一五、〇〇〇円	嵯峨幼稚園 二五、〇五〇円	西京極幼稚園 六三、二五七円	桃嶺保育園 一四、五〇〇円	華頂短期大学附属幼稚園 五七、七八二円	佛敎大学附属幼稚園 二四、〇七〇円	光明幼稚園 三三、二二二円	月かげみどり保育園 二二、七〇〇円	月かげ保育園 二〇、七七五円	こども園ゆりかご 二〇、一〇〇円	■大阪 りんでん幼稚園 二八、五三九円	勢至学園保育所 五八、二二二円	西若宮こども園 一六、九三三円	若宮こども園 一三、五五五円	■和歌山 御坊幼稚園 一六、二〇〇円	鷺森幼稚園 三九、八九八円	■兵庫 道場保育園 五一、〇〇〇円	書写認定こども園 二二、九四八円	日光認定こども園 二〇、〇〇〇円	宝地院保育園 一一、八一〇円	■岡山 御国幼稚園 二〇、〇〇〇円	牛窓ルンビニ保育園 一〇、一五〇円	■広島 サルナート幼稚園 三六、〇〇〇円	みのり幼稚園 三、〇〇〇円	宝徳幼稚園 六、五〇〇円	■島根 益田幼稚園 一八、〇九四円	■香川 高松保育園・高松第一保育園 八、七五五円	長寛寺保育所 三、〇〇〇円	すみれ保育園 一〇、〇〇〇円	三井保育所 五、〇〇〇円	西光寺保育所 八、〇〇〇円	白方保育所 一九、〇二二円	土庄保育園 三、〇〇〇円	いろは保育園 一八、五三二円	■福岡 華頂幼稚園 一五、〇〇〇円	瀬高大谷幼稚園 五、〇〇〇円	藤田保育園 一〇、〇〇〇円	認定子ども園ふじなみ幼稚園 一〇、八六一円	光應寺保育園 二〇、〇〇〇円	サルナート幼稚園 二〇、〇〇〇円	■佐賀 鳥栖ルンビニ幼稚園 一〇、〇〇〇円	鏡 保育園 五、八一四円	能古見保育園 五、四〇〇円	協賛金合計 五、四一三、八三三円	ありがとうございます ございました
-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------------	----------------------	------------------	----------------------	-------------------	---------------------	----------------------------------	--------------------	--------------------	-------------------	---------------------------------	------------------	--------------------------------	---------------------	---------------------	-------------------	--------------------------------	----------------------	-----------------------------------	------------------	-----------------	--------------------------------	---------------------------------------	------------------	-------------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	-------------------	--------------------------------	-------------------	------------------	--------------------------	-------------------	---------------------	------------------------------------	-----------------	------------------	---------------------	----------------------

夏期仏敎保育講習会

日時：令和元年 7 月 22 日(月)・23 日(火)

午前 9 時～午後 4 時

会場：大本山増上寺 光撰殿 講堂

《第 1 日目》

○ 仏敎保育の話

○ 仏敎の話

○ 絵本

○ 手遊び

《第 2 日目》

○ 気になる子どもの保育

○ 宗派の保育(曹洞宗)

○ 歌唱指導

○ 運動遊び

仏敎保育の話をはじめ、絵本や手遊び等、充実した内容で実施いたします。
講師や内容の詳細は、別途ご案内を送付いたします。



「第8回社員総会」 を開催します

皆様にはご清祥にて日々「仏教保育」に精進されていることと拝察します。

ご案内のように、6月は定款に基づいて、公益財団法人日本仏教保育協会の「社員総会」が開催されます。平成24年4月1日をもって一般財団法人から公益法人に移行し、今回で8回目を迎えます。

本年1月に開かれた国の「子ども・子育て会議」では、(1)子ども・子育て支援制度に関する予算案について、(2)幼児教育の無償化について、(3)基本指針の改正方針案について等々、討議されました。

いよいよ本年10月より幼児教育・保育の無償化が始まり

ます。各園それぞれ充分な対応を講じておられると思いますが、幼児教育・保育をめぐる環境は極めて厳しい状況が続いています。5年後、10年後さらに少子化が進むことで、保育行政はどうなっていくのか、また私たちの園はどうなっているのか、不透明で不確実な時代を迎えております。

「第8回社員総会」では、子どもたちの健やかな環境づくりに向けた事業の推進、また、大きく変わる保育行政を受けて、仏教保育がどう存続していくか等々、幅広いご協議を賜りたく、多くの方のご参集をお願いいたします。

第8回社員総会

期日 令和元年6月19日(水)

受付 午後1時30分～2時00分

総会 午後2時00分～4時00分

会場 大本山増上寺 光摂殿講堂

東京都港区芝公園4-7-35

議案 (1)平成30年度事業報告 (2)平成30年度収支決算・監査報告

(3)令和元年度事業計画 (4)令和元年度収支予算 (5)役員改選

(6)その他

※同日、研修会と懇親会が開催されます。

令和元年度第1回仏教保育研修会

受付 午後3時30分～4時00分

研修会 午後4時00分～5時30分

テーマ 「今こそ防災の備えを。どう守る…子どもたちの生命。」

講師 鎌田修広先生

株式会社タフ・ジャパン 代表取締役社長

会場 大本山増上寺 光摂殿(こしょうでん)講堂

参加費 無料

懇親会

受付 午後5時30分～6時00分

懇親会 午後6時00分～8時00分

会場 ザ・プリンスパークタワー東京 33階「スカイバンケット」

会費 15,000円

「7月豪雨」及び「北海道胆振東部地震」災害義援金の寄託に対して 全日本仏教会から感謝状を授与される

平成30年7月、西日本を中心に北海道、中部地方を含む全国的に広い範囲で集中豪雨となり、河川の氾濫や洪水、土砂災害などで死者数が1000人を越える多大な被害が生じ「平成最悪の水害」となりました。

また同年9月には、北海道胆振東部地震が発生し、土砂崩れや家屋の倒壊などで多くの方が犠牲とされました。

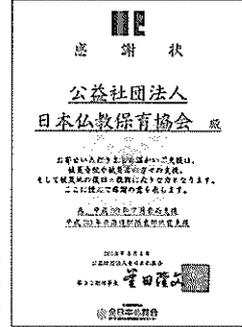
当協会では生命尊重募金より、200万円を公益財団法人全日本仏教会(釜田隆文理事長)に災害義援金として寄託しました。(仏教保育11月号第655号に掲載)

その寄託に対し、平成31年3月4日、全日本仏教会の戸松義晴事務総長から高山久照副理事長に感謝状が授与されました。改めて、災害により犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表します。

当協会は、今後とも災害支援や人道支援等に対し、緊急且つ迅速に対応してまいります。ご支援・ご賛同を賜りますようお願いいたします。



戸松義晴事務総長(左)と高山久照副理事長(右)



全日本仏教会からの感謝状

日本仏教保育協会 創立90周年記念式典 が開催されます

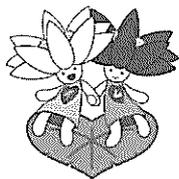
日本仏教保育協会は、昭和4年、昭和天皇即位の御大典の記念事業として仏教系の幼稚園・保育所が一体となった組織として、宗派を問わず多くの仏教者によつて設立されてから令和元年の本年、90周年の節目の年を迎えます。創立以来、順調に発展することができましたのは、諸先生方のご尽力の賜、また関係者の皆様の暖かいご支援とご指導の賜と、改めて感謝申し上げます。

この秋、左記のとおり、記念式典を開催いたしますので、皆様、ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

【日時】

令和元年11月18日(月)

午後5時〜



【会場】

東京プリンスホテル プロビデンスホール

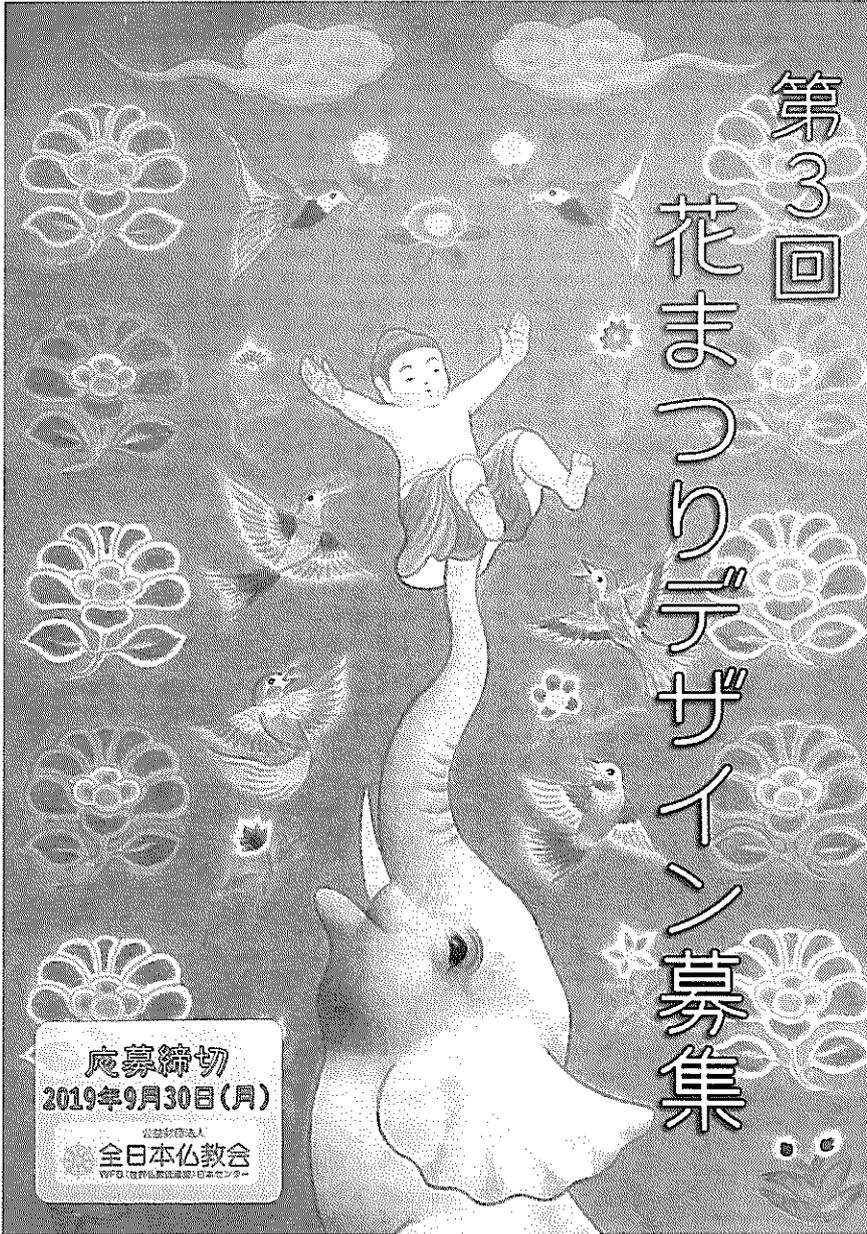
公益財団法人全日本仏教会

第3回 花まつりデザイン募集

募集要項

採用された作品は、ポスターや絵はがきとなって、全国の寺院や各教育施設などに掲示され、さまざまな行事やイベントを通してたくさんの方に配ら

れます。あなたの作品で、全国で開催されるお釈迦さまのお誕生日をお祝いしましょう。
【応募資格】 プロ・アマチュア問わず、すべての方



応募締切
2019年9月30日(月)
公益財団法人
全日本仏教会
WFJ (世界仏教協議会) 日本センター

に応募いただけます。

【応募条件】未発表のオリジナル作品で、仏教行事である「花まつり」を題材として自由に作品を描いてください。なお作品に文字は入れないでください。

【作品規定】 素材・画材・技法は自由(デジタル作品も可)、立体物は不可。

● 応募作品サイズ ●

用紙：A3サイズ(297ミリ×420ミリ)以上

【賞金】 ポスター採用作品：大賞 賞金5万円

絵はがき採用作品：大賞 賞金1万円

【審査員】(公社)全日本仏教婦人連盟

(公財)仏教伝道協会

(公社)日本仏教保育協会

(公財)全日本仏教会

【審査方法】10月に審査会を開催し、大賞作品には主催者より連絡します。審査に関しての電話やメールでの問い合わせはご遠慮ください。

【応募締切】2019年9月30日(月)まで

※当日消印有効

【応募方法】本会Webサイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、1作品につき1部同封してください。

作品は折り曲げずに(封状は可)郵送してください。

(デジタル作品もカラー出力後、郵送にて受付となります。)

応募用紙ダウンロード ↓ <http://www.jbfn.jp>

【作品送付先・お問い合わせ先】

公益財団法人全日本仏教会広報文化部

T 03-0011 東京都港区芝公園4-7-14 明照会館2階

F 03-1343719275



事務局日誌

- 4 / 3 こどものくに「ひまわり版」編集会議
- 4 / 12 「仏教保育カリキュラム」「仏教保育」編集会議
事務局会
- 4 / 23 こどものくに「たんぽぽ版」編集会議

おにぎりとおむすび

風薫る五月、運動会の季節でもあります。運動会に付きもののお弁当は、おにぎりですか？ いや、おむすびですか？ その呼び名の違いってなんでしょうか。

一般社団法人おにぎり協会によると、通説では東日本では「おにぎり」、西日本では「おむすび」と呼ばれることが多かったようですが、人の往来が飛躍的に増えた現代、その呼び名は平準化されているとのことです。

さてそのおにぎり、今やコンビニだけでも1年間に推計60億個も売れている国民食で、国民1人当たり、年間約48個もコンビニのおにぎりを食べていることになりました。

ではなぜ三角形の形状をしているのでしょうか（俵型や丸型もあります）。それは「おにぎりは神が宿っている山の形」という説があります。江戸時代になって、庶民も米を口にすることができるようになると、旅人が携行しやすいように現在の形状に改良されたといわれています。

これから暑い時期を迎えることとなります。夏場にむいておにぎりの具は、なんとと言っても殺菌作用の高い梅干しを軸としたもの。例えば、「梅と大葉のおにぎり」「梅おなかおにぎり」「梅しそおにぎり」「梅と昆布おにぎり」等々が挙げられます。今夏は地球温暖化で気温が高くなるのが予想されています。食中毒には万全の備えが肝要です。

編集後記

■令和の時代を迎えました。令和という言葉は「美しい月に心地よい風が吹く春のよるこび」を表す意味だそうです。子ども達にとっても、のびのびと自分の風を吹かせて、そのことが家族や社会の喜びとなる時代となってほしいものです。■しかし残念ながら乳幼児への虐待は増加しています。虐待はあつてはなりません。虐待にむかつていく親が、極悪非道な人間として取り沙汰され、排除されることで、虐待は無くなっていくのでしょうか。■現代の家族は比較の世界に取り込まれています。情報化は比較を助長し、自分達がどの位置にいるのかということが気になって、生活の無理につながりがちです。理想の母親像から解放され、子どもは思い通りにならないという事実が、気づき、ひとりで悩まず何らかの形で助けを求める必要があります。■親と子どもが孤立して孤独にならないように、幼稚園も保育園も子ども園も、そしてお寺という場でも言葉かけや眼差しを無くて、親子に心地よい場所をたくさん誕生させることができました。いいですね。

(五島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ

すずき出版

仏教保育

6
June

伝えよう 生命の尊さ ほとけの心



高輪常任理事



緑谷理事長



荻野常任理事



高木常任理事



古屋常任理事



堀江事務局次長



麻布常任理事



堪山監事



司会：桑田先生



高田副理事長



公益財団法人日本仏教保育協会
 (緑谷) 雄理事長は、令和元年5月21日、大本山増上寺・明照会館において標記の会を開催しました。上程議案は次のとおりです。

- 第1号議案
平成30年度事業報告
- 第2号議案
平成30年度収支決算 監査報告
- 第3号議案
その他

・仏教保育功労賞受賞者について
 ・報告事項
 すべての議案について慎重に審議し、満場一致で承認されました。

「第19回理事会・第15回運営審議委員会」開催

令和元年5月21日 / 大本山増上寺・明照会館

第19回理事会・第15回運営審議委員会は、三歸依文の斉唱から始まりました。続いて緑谷一雄理事長が出席された先生方にお礼の言葉を述べ、「限られた時間ではありますが、審議くださいますようよろしくお願いします。」と挨拶しました。

次いで司会の桑田先生より、理事会及び運営審議委員会の両会が成立する旨の報告があり、定款に則り緑谷一雄理事長が議長に選出され、議事に移りました。

第1号議案「平成30年度事業報告」については、配付資料に基づいて所管する担当常任理事より、記載のとおり実施した旨の報告がありました。

第2号議案「平成30年度収支決算・監査報告」が行われ、所管する担当常任理事より、収支決算の報告がありました。次いで、堪山監事より、先般の監査会にて金子監事、白井監事とともに、適正に処理運営されているものと認めたと報告がありました。報告終了後、第1号・第2号議案について議長が賛否を諮ったところ承認されました。

第3号議案の「仏教保育功労賞」受賞者については、神野哲州先生(愛知県仏教保育協会会長)が推薦され、賛否を諮ったところ承認されました。

最後に、昨年開催された「第35回全国仏教保育愛知大会」について、大会実行委員長の高田道雄先生より「当日は皆様に名古屋までおいでいただきありがとうございました。この夏までに名古屋大会の紀要を発行する予定で進めています。その折はお受け取りいただければと思います。」とお礼の言葉と進捗状況の報告があり閉会致しました。

た旨の報告がありました。ここで第1号・第2号議案は関連性があることから、報告完了後に一括して審議をしたいとの議長の提案を受け、引き続き、第2号議案「平成30年度収支決算・監査報告」が行われ、所管する担当常任理事より、収支決算の報告がありました。次いで、堪山監事より、先般の監査会にて金子監事、白井監事とともに、適正に処理運営されているものと認めたと報告がありました。報告終了後、第1号・第2号議案について議長が賛否を諮ったところ承認されました。



平成30年度 収支計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

I. 収入の部

単位 円

大科目	中科目	小科目	補正予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B - A)	備 考
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	0	0	
特定資産運用益	特定資産利息収入 (公1)		42,600	33,278	- 9,322	
		社団基金利息収入	30,000	21,423	- 8,577	元金 47,592,500 円
		菩提樹学園利息収入	12,000	11,235	- 765	元金 32,100,000 円
		持田基金利息収入	100	80	- 20	元金 800,000 円
		古屋基金利息収入	500	540	40	元金 5,400,000 円
受取入会金	入会金収入 (公1)	入会金収入	10,000	10,000	0	
受取会費	会費収入	会費収入	25,000,000	24,449,000	- 551,000	23,000 × 1.050 施設 複数年分の振込あり
事業収益			22,065,976	23,895,253	1,829,277	
	出版収入 (公1)		10,800,000	14,606,513	3,806,513	
		こどものくに収入	800,000	678,733	- 121,267	51,000 × 2.50 × 12
		ほとけの子収入	4,500,000	4,308,780	- 191,220	40,000 × 11 × 12
		仏教保育カリキュラム	5,500,000	9,619,000	4,119,000	購読料 未収入金 1,023,500 円を含む
	刊行物監修収入 (公1)		2,230,000	1,884,537	- 345,463	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	350,000	329,537	- 20,463	フレーベル仏保版出席カード
		保育教材ロイヤリティ	1,600,000	1,275,000	- 325,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他編監修料	0	0	0	
	受講料収入 (公1)	中央講習会受講料	1,535,976	1,490,370	- 45,606	1人当り 10,800 円、寄付・お弁当を含む
	社会貢献・国際交流 (公1)		7,500,000	5,913,833	- 1,586,167	
	(生命尊重)	生命尊重募金	7,500,000	5,913,833	- 1,586,167	
	義援金収入 (公1)	義援金	0	0	0	
受取補助金等	助成金収入 (公1)	年度・制度対策助成金	4,000,000	3,170,000	- 830,000	宗派 (本山・保連) よりの助成金
受取寄付金	寄付金収入 (公1)	寄付金収入	550,000	3,550,000	3,000,000	鈴木出版 25 万円 保育教材 6 社 30 万円 永徳学園大谷幼稚園より 300 万円
雑収入	雑収入		6,601,000	6,807,699	206,699	
		運用利息収入 (公1)	1,000	319	- 681	
		協賛金収入 (公1)	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
		広告収入 (公1)	4,000,000	3,925,380	- 74,620	仏カリ他広告収入
		その他雑収入 (法)	1,600,000	1,882,000	282,000	各種懇親会参加費、寄付金を含む
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	104,641,076	104,641,076	0	
		合 計	162,910,652	166,556,306	3,645,654	

II. 支出の部

大科目	中科目	小科目	補正予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B - A)	備 考
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
	調査研究費	研究運営費	200,000	0	- 200,000	
	教育研究奨励費		650,000	335,888	- 314,112	
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
		古屋・持田賞	200,000	124,753	- 75,247	全国大会開催年
		仏教保育功労賞	50,000	21,135	- 28,865	賞状、記念品
		研究発表指定園	200,000	40,000	- 160,000	
		仏教保育精励賞	50,000	0	- 50,000	
	菩提樹学園充実		600,000	400,000	- 200,000	
		学園視察派遣旅費	400,000	200,000	- 200,000	現地調査負担金
		同上資料代	200,000	200,000	0	学園おみやげ (お菓子など)



事業費	大会講習会開催費	7,300,000	6,204,570	- 1,095,430		
	全国大会開催費	3,800,000	3,790,082	- 9,918	支部へ 350 万、支部旗、出張交通費他	
	講習会開催費	2,050,000	1,544,403	- 505,597	関西地区研修会・夏期講習会/夏期講習会案内印刷	
	仏教保育研修会費	450,000	300,085	- 149,915		
	支部講習会補助	1,000,000	570,000	- 430,000	支部、ブロックで行う講習会補助	
	刊行・出版費	25,100,000	22,729,663	- 2,370,337		
	仏教保育出版費	9,000,000	8,987,100	- 12,900	約 75 万× 12	
	ほとけの子出版費	1,600,000	1,575,200	- 24,800	原稿、制作費	
	紀要出版補助費	500,000	500,000	0		
	月刊仏カリ費	14,000,000	11,667,363	- 2,332,637	製作、発送費	
	各種委員会委託	1,180,000	651,104	- 528,896		
	仏カリ編集委員会	200,000	33,411	- 166,589		
	こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ	
	ほとけの子編集委員会	400,000	337,693	- 62,307	委員会へ	
	教材開発委員会	300,000	0	- 300,000	委員会へ	
	助成金支出	3,900,000	3,821,190	- 78,810		
	支部助成金	2,500,000	2,411,550	- 88,450	支部へ会費 10%還元(期日まで納入の場合は+5%還元)	
	菩提樹学園助成	500,000	500,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
	各種団体提携費	900,000	909,640	9,640	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)	8,500,000	9,298,411	798,411		
	菩提樹学園助成	4,900,000	6,400,000	1,500,000	学園運営費 国際仏教興隆協会へ、東盛幼稚園より100万円・吉岡先生より50万円含む	
	支払寄付金	2,000,000	2,000,000	0	全日本仏教会へ 西日本豪雨被害 北海道胆振東部地震義援金	
	印刷作成費	1,000,000	474,415	- 525,585	チラシ、写真ニュース含む	
	募経費	600,000	423,996	- 176,004	郵便振替の手数料、宅配便	
	各種対策費	2,300,000	1,016,791	- 1,283,209		
	組織強化費	1,000,000	90,000	- 910,000	支部強化経費、支部事業助成	
	制度対策費	1,000,000	723,882	- 276,118	懇話会、顧問弁護士	
	養成機関連絡費	300,000	202,909	- 97,091	養成機関連絡協議会	
	事業雑費	1,200,000	438,686	- 761,314		
	ホームページ運営費	600,000	65,178	- 534,822		
	事業雑費	500,000	330,377	- 169,623	日本仏教保育協会賞 記念品、広告掲載料	
	90 周年準備委員会	100,000	43,131	- 56,869		
	管理費	会議運営費	4,850,000	4,068,772	- 781,228	
	理事運営審議委員会開催費	2,800,000	3,104,252	304,252	2 回開催交通費、1 月新年懇親会	
	社員総会運営費	1,500,000	879,541	- 620,459	総会及び6月懇親会	
	支部長会・参務会開催費	300,000	0	- 300,000		
	事務局運営費	250,000	84,979	- 165,021		
	給料手当	5,170,000	4,824,626	- 345,374		
	給料・諸手当	3,860,000	3,679,400	- 180,600	給与+通勤交通費 非常勤分を省く	
	賞与	980,000	964,000	- 16,000	4ヶ月	
	法定福利費	330,000	181,226	- 148,774	健保、年金掛金補助、労働保険	
	役務費	3,620,000	2,109,385	- 1,510,615		
	旅費交通費	420,000	186,400	- 233,600	交通費	
	通信運搬費	1,500,000	926,546	- 573,454	郵券、電話等通信費	
	印刷製本費	300,000	7,948	- 292,052	封筒等印刷全般	
	什器備品費	100,000	0	- 100,000	事務所備品	
	消耗品費	200,000	108,460	- 91,540	文具等	
借料損料	600,000	517,731	- 82,269	事務機器リース、コピーランニングコスト		
租税公課	500,000	362,300	- 137,700	消費税等		
事務所費	2,810,000	2,716,398	- 93,602			
貸借料	2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料 18万/月		
光熱水費	650,000	556,398	- 93,602	光熱水費負担金		
諸謝金	慶弔費	400,000	131,040	- 268,960		
事務雑費	管理雑費	500,000	331,700	- 168,300	火災保険他	
特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	600,000	600,000	0	
予備費	予備費	予備費	5,000,000	0	- 5,000,000	
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	89,030,652	106,878,082	17,847,430	
	合計	162,910,652	166,556,306	3,645,654		



貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 日本仏教保育協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	14,147,360	9,998,627	4,148,733
(2) 未収入金	6,702,113	4,553,976	2,148,137
(3) 立替金	0	0	0
流動資産合計	20,849,473	14,552,603	6,296,870
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
社団基金引当特定資産	47,592,500	47,592,500	0
生命尊重募金積立資産	17,952,060	20,999,394	△ 3,047,334
仏保精励引当特定資産	2,000,000	2,000,000	0
菩提樹学園協力基金	32,100,000	32,100,000	0
持田基金	800,000	800,000	0
古屋基金	5,400,000	5,400,000	0
特定資産合計	105,844,560	108,891,894	△ 3,047,334
固定資産合計	105,844,560	108,891,894	△ 3,047,334
資 産 合 計	126,694,033	123,444,497	3,249,536
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払金	9,780,859	9,358,042	422,817
(2) 前受金	430,000	430,000	0
(3) 預り金	50,963	61,250	△ 10,287
流動負債合計	10,261,822	9,849,292	412,530
2. 固定負債			
(1) 退職給与引当金	9,554,129	8,954,129	600,000
固定負債合計	9,554,129	8,954,129	600,000
負 債 合 計	19,815,951	18,803,421	1,012,530
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	58,252,060	61,299,394	△ 3,047,334
(うち特定資産への充当額)	(58,252,060)	(61,299,394)	(△ 3,047,334)
2. 一般正味財産	48,626,022	43,341,682	5,284,340
正味財産合計	106,878,082	104,641,076	2,237,006
負債・正味財産合計	126,694,033	123,444,497	3,249,536



財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日現在

公益社団法人 日本仏教保育協会

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現 金	手元保管	運転資金として	169,319
普 通 預 金	三井住友銀行浜松町支店	同 上	11,577,958
普 通 預 金	三井住友信託銀行本店営業部	同 上	105,141
郵 便 振 替 貯 金	芝郵便局	同 上	2,294,942
未 収 入 金	出版事業に対する未収額	出版事業期間対応未収金	6,702,113
流動資産合計			20,849,473
(特定資産)			
社団基金引当特定資産	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源としている。	47,592,500
生命尊重募金積立資産	三井住友銀行浜松町支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	17,952,060
仏保精励引当特定資産	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源としている。	2,000,000
菩提樹学園協力基金	三井住友信託銀行本店営業部	同 上	32,100,000
持 田 基 金	三井住友信託銀行本店営業部	同 上	800,000
古 屋 基 金	三井住友信託銀行本店営業部	同 上	5,400,000
特定資産合計			105,844,560
固定資産合計			105,844,560
資 産 合 計			126,694,033
(流動負債)			
未 払 金	出版事業に対する未払額	出版事業期間対応未払	9,780,859
前 受 金	協賛事業に対する仮受金	協賛事業期間対応前受	430,000
預 り 金	報酬毎に対する税金の預り	年 2 回納付	50,963
流動負債合計			10,261,822
(固定負債)			
退職給与引当金	従業員に対するもの	従業員 1 名に対する退職金に備えて	9,554,129
固定負債合計			9,554,129
負 債 合 計			19,815,951
正 味 財 産			106,878,082



正味財産増減計算書

自 平成 30年 4月 1日
至 平成 31年 3月 31日

公益社団法人 日本仏教保育協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	(33,278)	(37,541)	(△ 4,263)
特定資産利息収入	33,278	37,541	△ 4,263
受取入会金	(10,000)	(0)	(10,000)
入会金収入	10,000	0	10,000
受取会費	(24,449,000)	(25,070,000)	(△ 621,000)
会費収入	24,449,000	25,070,000	△ 621,000
事業収益	(17,981,420)	(14,326,786)	(3,654,634)
出版収入	14,606,513	10,410,804	4,195,709
刊行物監修収入	1,884,537	1,991,686	△ 107,149
受講料収入	1,490,370	1,924,296	△ 433,926
義援金収入	0	0	0
受取補助金等	(3,170,000)	(3,170,000)	(0)
助成金収入	3,170,000	3,170,000	0
受取寄付金	(12,511,360)	(3,820,099)	(8,691,261)
寄付金収入	3,550,000	550,000	3,000,000
受取寄付金振替額	8,961,360	3,270,099	5,691,261
受取雑益	(6,807,506)	(6,360,707)	(446,799)
運用利息収入	126	107	19
協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0
広告収入	3,925,380	3,546,600	378,780
その他の雑収入	1,882,000	1,814,000	68,000
経常収益計	64,962,564	52,785,133	12,177,431
(2) 経常費用			
事業費	(52,184,505)	(50,565,821)	(2,235,153)
給料手当	3,859,700	3,801,524	58,176
退職給付費用	480,000	480,041	△ 41
旅費交通費	419,360	464,620	△ 45,260
通信運搬費	65,178	73,818	△ 8,640
消耗品費	754,508	1,042,252	△ 287,744
印刷製本費	22,865,296	27,024,806	△ 4,159,510
光熱水料費	445,118	454,901	△ 9,783
賃借料	2,142,184	2,157,181	△ 14,997
会議費	105,000	105,000	0
諸謝費	1,880,300	1,620,419	259,881
租税公課	361,200	378,200	△ 17,000
支払助成金	15,891,426	11,067,568	4,823,858
支払寄付金	2,000,000	0	2,000,000
委託費	872,104	1,235,891	△ 363,787
雑費	43,131	659,600	△ 616,469
管理費	(7,493,719)	(7,562,201)	(△ 68,482)
給料手当	964,926	950,381	14,545
退職給付費用	120,000	120,011	△ 11
会議費	2,474,732	2,322,191	152,541
旅費交通費	1,780,440	1,606,010	174,430
通信運搬費	926,546	818,515	108,031
消耗品費	108,460	106,013	2,447
印刷製本費	7,948	77,760	△ 69,812
委託費	270,000	323,790	△ 53,790
光熱水料費	111,280	113,726	△ 2,446
賃借料	535,547	539,296	△ 3,749
諸謝金	131,040	104,832	26,208
租税公課	1,100	3,740	△ 2,640
雑費	61,700	475,936	△ 414,236
経常費用計	59,678,224	58,128,022	2,166,671
当期一般正味財産増減高	5,284,340	△ 5,342,889	10,627,229
一般正味財産期首残高	43,341,682	48,684,571	△ 5,342,889
一般正味財産期末残高	48,626,022	43,341,682	5,284,340
II 指定正味財産増減の部			
特定資産利息	193	190	3
受取寄付金	5,913,833	4,236,836	1,676,997
一般正味財産への振替額	△ 8,961,360	△ 3,270,099	△ 5,691,261
当期指定正味財産増減高	△ 3,047,334	966,927	△ 4,014,261
指定正味財産期首残高	61,299,394	60,332,467	966,927
指定正味財産期末残高	58,252,060	61,299,394	△ 3,047,334
III 正味財産期末残高	106,878,082	104,641,076	2,237,006



第
87
回

夏期仏教保育講習会ご案内

主催：公益社団法人 日本仏教保育協会 / 共催：東京仏教保育協会
会場：大本山増上寺 光摂殿 講堂
(東京都港区芝公園 4-7-35 TEL 03-3432-1431)

7
月
22
日
(月)

9:00 受付

9:30 「朝のコーラス」

講師：公益財団法人全国青少年教化協議会研究員 吉水知草先生

9:50 開講式

10:20 「仏教保育の話」

講師：公益社団法人日本仏教保育協会理事長

休憩 (10:50~11:00 10分)

11:00 「日本人の宗教性～仏教が私たちにもたらしたもの～」

講師：大正大学准教授 神達知純先生

昼食 (12:00~13:00 60分)

13:00 「子どもの心を育てるお話と絵本」

講師：昭和女子大学名誉教授 西本鶏介先生

休憩 (14:20~14:30 10分)

14:30 「子どもの心とことばを育て育ち合う一手指遊び・指遊び・歌遊び」

講師：幼児教育研究家 斎藤二三子先生

16:00 終了・解散

7
月
23
日
(火)

9:00 受付

9:10 オリエンテーション

9:20 「インクルーシブな保育を考える

—障害がある子もない子と共に楽しく生活できるように—

講師：こども教育宝仙大学准教授 守 巧先生

休憩 (10:50~11:00 10分)

11:00 「出会いに育まれるいのち」

講師：公益社団法人日本仏教保育協会常任理事 高木正尊先生

昼食 (12:00~12:50 50分)

12:50 「子どものころを育む歌」

講師：公益財団法人全国青少年教化協議会研究員 吉水知草先生

休憩 (13:50~14:00 10分)

14:00 「幼児の発育発達と運動遊び：理論と実践」

講師：順天堂大学スポーツ健康科学部専任准教授 鈴木宏哉先生
東京福祉大学保育児童学部助教 宮田洋之先生

15:40 閉講式

16:00 終了・解散



事務局日誌

- 5 / 7 監査会・事務局会 仏カリ・仏教保育編集会議
- 5 / 21 日仏保創立90周年実行委員会
- 第19回理事会・第15回運営審議委員会
- 5 / 22 こどものくに ひまわり版編集会議
- 5 / 28 こどものくに ちゅーりつや版編集会議

高齢運転者の事故対策

高齢運転者の事故が後を絶ちません。重大な事故が起きるたびに運転免許の返納や定年制が話題になり、アクセルとブレーキの踏み間違いの事故や逆走している映像が繰り返しテレビで流れます。

平成29年に施行された改正道路交通法では、75歳以上は免許更新時に認知機能検査を受けなければならなくなり、認知症の恐れがあると判断された場合は、医師の診断が義務化され、認知症と診断されたら運転免許取り消しの処分となりました。

しかし内閣府の調査によると、80歳以上の4人に1人が車を運転しており、このうち6割近くは毎日運転しています。特に公共交通手段のない地方では生活の足として車は欠かせない存在です。

政府は高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、被害軽減(自動)ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載したサポカー(安全運転サポート車)の普及・啓発に取り組みはじめました。

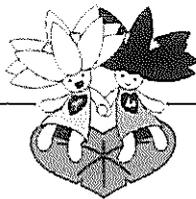
東京都は、このサポカーの購入費を一部補助する方針です。団塊の世代が70歳を越え、今後さらに高齢者は増えていきます。高齢者に限らず、人々が安心して安全な車社会であつてほしいと願います。

編集後記

■子ども達はあそびや生活の中で、自分を認められることで、よりよい発達成長をとげていきます。また子ども達が「やりたい」と思う意欲をくみ取って、保育者が保育や教育のプランを立てて行くことが重要であることが幼稚園教育要領や保育指針、子ども園教育・保育要領にも指摘されています。その結果、考える力、自尊心や粘り強さが育つていくでしょう。■その根底にあるのはやはり安心感です。仏さまが保育や教育の中に存在しているということも、子ども達の心の安心につながっていくよう働きかけていくことも大切なことだと考えます。■幼児教育は「環境による教育」であることを改めて認識し、子ども達の安心感につながる環境を、大人達が作り出していかなければならないものであります。■子どもを巻き込む事故や事件、虐待のニュースも止まりません。併せて高齢者の自動車事故による、自動車社会への不安等が連日報道されています。どれも子ども達の安全や安心とかけ離れたものではありません。各施設が自分の園の立地環境や地域環境を再確認し、安全安心のための取り組みをしていく必要があります。

(五島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つこの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵・諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



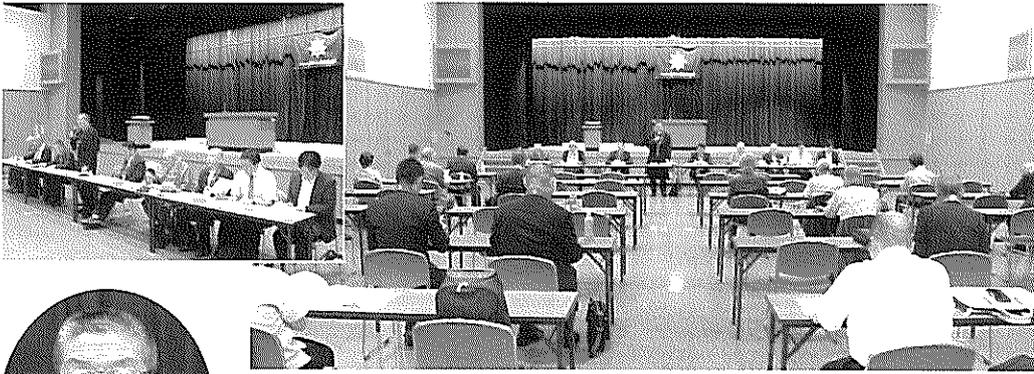
ご注文
お問い合わせ

すずき出版

仏教保育

7
July

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ほどけの心



第8回社員総会 令和元年度第1回仏教保育研修会開催

令和元年6月19日／大本山増上寺 光摂殿

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長は、令和元年6月19日、大本山増上寺 光摂殿において第8回社員総会を開催しました。上程議案は次のとおりです。

- 第1号議案／平成30年度事業報告
- 第2号議案／平成30年度収支決算・監査報告
- 第3号議案／令和元年度事業計画
- 第4号議案／令和元年度収支予算
- 第5号議案／役員改選
- その他

・仏教保育功労賞受賞者について
・報告事項

すべての議案について慎重に審議し、満場一致で承認されました。
恒例の仏教保育研修会は株式会社ユニーク総合防災防災アドバイザーの鎌田修広先生を講師としてお迎えし、元消防士の立場から子どもたちの生命を守るために、どうすればいいのか、実践的な行動を教示していただき、貴重なお話を伺いすることができました。



緑谷理事長



金子監事



五島事務局長

第8回社員総会は、三婦依文の斉唱から始まりました。続いて緑谷一雄理事長が出席された皆様に感謝の言葉を述べ、「審議のほどよろしくお願います」と挨拶しました。

次いで、司会進行の五島事務局長より、社員総会が成立する旨の報告があり、定款に則り緑谷一雄理事長が議長に選出され、議事に移りました。

第1号議案「平成30年度事業報告」については、配付資料に基づいて所管する担当常任理事より、記載のとおり実施した旨の報告がありました。

続いて第2号議案「平成30年度収支決算・監査報告」について、財務担当常任理事より、収支決算の報告がありました。次いで、金子監事より、先般の監査会にて堪山監事、白井監事とともに、適正に処理運営されているものと認めたと報告があり、報告終了後、第1号・第2号議案について議長が賛否を諮ったところ承認されました。

第3号議案の「令和元年度事業計画」も配付資料に沿って各担当常任理事より説明がありました。

第4号議案の「令和元年度収支予算」についても財務担当

長が賛否を諮ったところ承認されました。



常任理事より詳細な説明がありました。

第 5 号議案の「役員改選」では、令和元々 2 年度における役員の審議が諮られ、承認されました。

その他の事項では、5 月 21 日に開催された「第 19 回理事会」にて審議した「仏教保育功労賞」について、神野哲州先生（愛知県太白保育園／公益社団法人日本仏教保育協会前副理事長）に決定した旨の報告がありました。

最後に、昨年開催された「第 35 回全国仏教保育愛知大会」について、大会実行委員長の高田道雄先生よりお礼の言葉と紀要の進捗状況の報告があり、閉会となりました。

小憩の後、元消防士の鎌田修広先生をお迎えして、「今こそ防災の備えを。どう守る：子どもたちの生命。」のテーマで、第 1 回仏教保育研修会が開催されました（詳細は次号に掲載）。



講師の鎌田修広先生

懇親会



八木季生名誉会長



乾杯の金子監事



司会の樋口先生

懇親会は「ザ・プリンスパークタワー東京」のスカイバンケットで、八木季生名誉会長のご陪席をいただいで行われました。

緑谷理事長より社員総会で審議していただいた皆様へのお礼の挨拶の後、八木名誉会長から「三つ子の魂百までも」という諺がありますが、3 歳になると、ほとんどの子どもが日本語を喋ることができず、幼稚園教育、保育教育は人格を作る基になると思います。皆さんの活躍を期待しています。」と御垂辞を賜りました。

続いて仏教保育功労賞授与式が行われました。残念ながら授賞者の神野哲州先生は所用で欠席のため、代理の高田道雄副理事長（愛知）に八木名誉会長と緑谷理事長から授与されました。

次いで金子監事より乾杯の

ご発声で会食が始まり、東京のきらびやかな夜景を眺めながらの和やかな懇親会となりました。



仏教保育功労賞授与



おめでとうございます

仏教保育功労賞

神野哲州先生



社会福祉法人広徳会太白保育園 理事長
公社／日本仏教保育協会 前副理事長
地蔵寺住職（名古屋市）

昭和 24 年 1 月 2 日、愛知県名古屋市生まれ。

昭和 46 年 3 月、駒沢大学仏教学部卒業。大学ではクラブ活動として児童教育部に在籍。大学卒業後、福井県の大本山永平寺で 1 年間修行する。

昭和 50 年 4 月に曹洞宗宗務庁勤務。

昭和 52 年 9 月より毎週「日曜会」という子ども向けの「お経の会」を開催。また名古屋市ホームページに掲載している「こころの絆創膏」という電話相談を受け持ち、子ども達の悩みに取り組む。

昭和 54 年 4 月に太白保育園園長に就任し、本格的に仏教保育を推進する。

昭和 63 年 1 月から地蔵寺 30 代目の住職を務め、現在に至る。

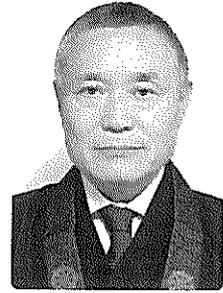
平成 20 年 10 月にデイサービス施設開設、平成 28 年 10 月にはショートステイ施設開設と社会福祉事業に力を注ぐ。

全日本仏教青年会理事長、全国曹洞宗青年会会長などを歴任。平成 27 ～ 30 年度日本仏教保育協会副理事長を務め、仏教保育の普及に貢献。

著書に法話をまとめた「服啓上 ゆっくりしや〜せ」（駿栄社）がある。



理事一長一就一任一挨一拶



公益社団法人 日本仏教保育協会

理事長 高山久照

(東京・寿福寺幼稚園)

この度、理事会の選任によって理事長に就任致しました。前任の緑谷一雄理事長より「本年十一月に行われる九十周年の行事は新しい体制で迎えるのが好ましい。」と次期理事長候補のお声がかかった折には、その重責を負うことにいささかの不安を覚えたものです。しかしながら、仏教保育の先輩方のご指導を頂き現在に至った身としては、その御恩返しの上からも力不足を顧みず、あえてお引き受けした次第です。

思えば、私が日仏保に初めて関わったのは昭和五十五年の宮城大会でした。所属する東京仏教保育協会から大会の手伝いに召集され、分科会の司会をさせて頂くこととなりました。私自身は日仏保の組織や活動内容について全くわからない状態でしたが、故秋山秀清理事長に呼ばれ、事務局会に参加したところ、当時の常任理事の先生方が侃々諤々討論されている姿を見て驚いたのを覚えています。今振り返ると、昭和五十五年

の第十六回全国仏教保育宮城大会において、保育理念の提唱、生命尊重的保育を全国的に展開するという宣言が行われましたが、その準備のための議論だったのだと思われまます。

その後、故上村映雄理事長の時代に事務局長を務めさせて頂いて以来、日仏保との関係を続けさせて頂いて頂いています。日仏保は「生命尊重的保育推進」を基本目的として諸事業を行っておりますが、更にその充実をはかる為、上村理事長の元、平成二十四年五月に公益社団化し今日に至ります。公益法人を維持する事には手続き上に煩瑣な面がありますが、日仏保の事業の公益性の社会的認知を促す意味において、極めて意味のあるものと考えます。

少子高齢化・人口減少社会を迎え保育無償化等、保育政策は大きく変わり、保育界はまさに転換点を迎えています。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼児保育連携型認定こども園教育・保育要

領」の改訂・施行において、キーワードは自ら問いを立て、最適な答えを探る「探求」であると言われています。社会の変化に対応し主体的・対話的で深い学びが重視されていきます。探求心を持ち自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力が求められています。保育現場では、今まで以上に保育者に多くの「仏教の智慧」が必要とされる事と思えます。今こそ、これまでの仏教保育の実践を振り返り、そのあるべき姿を深く「探求」し、仏教保育に携わる保育者が連携して、子どもにとつての最善の保育を行う事が重要であると考えます。

仏教保育、生命尊重的保育は、仏教情操を育む保育現場で実践されるものであることは言うまでもありません。社員各園におかれましてはこれからも、貴重な保育実践を積み重ねて頂きたいと思えます。

また、加盟養成機関におかれましては、宗教的情操豊かな保育者の養成そして仏教保育園を志望する保育者の養成につきご指導いただけますようお願い申し上げます。

日仏保の果たすべき役割とは何かについて考え、事業の推進を行い、共に歩んで参りたいと存じます。社員一同の益々のご発展を期待して理事長就任の挨拶とさせていただきます。

令和元々2年度 役員一覽

理事長	高山 久照	寿福寺幼稚園(東京)
副理事長	高輪 真澄	光輪幼稚園(東京)
	高田 道雄	マハナヤ保育園(愛知)
	日野 昭文	松尾幼稚園(京都)
	野村 定弘	まや幼稚園(北海道)
常任理事	荻野 順雄	花川戸保育園(東京)
	麻布 恒子	麻布山幼稚園(東京)
	高木 正尊	成田保育園(千葉)
	丹羽 義昭	認定こども園あずま幼稚園(埼玉)
	大島 康裕	舎人幼稚園(東京)
	堪山 泰学	水上わかくりこども園(群馬)
	金子 聡秀	永安寺学園幼稚園(東京)
	白井健二郎	白井会計事務所
監事	青山 晃淳	明照保育園(青森)
	鎌田 文恵	おたまや幼稚園(宮城)
	大塚 孝明	梁川保育園(福島)
	金田 進徳	取手保育園(茨城)
	小林 研介	呑竜幼稚園(栃木)
	稲村 博道	三宝幼稚園(群馬)
	田中恵美子	船橋幼稚園(千葉)
	安藤 文隆	金の峯幼稚園(東京)
	杉本 智研	横浜れんげ幼稚園(神奈川)
	金子 英滋	パドマ幼稚園(長野)
	今湊 良敬	新潟中央幼稚園(新潟)
	福澤 幹也	小鳩幼稚園(福井)
	小川 良紘	るんびにー保育園(滋賀)
	青木 啓文	石薬師保育園(三重)
	上原 雅明	小野幼稚園(京都)
	浦田 裕人	月かげみどり保育園(京都)
	西洞院雄章	錦溪幼稚園(大阪)
	井藤 圭淵	太寺保育園(兵庫)
	西村 英昭	呉あそか幼稚園(広島)
	三浦 教尚	西光寺保育所(香川)
	後根 泰定	藤田保育園(福岡)



平成30年度 事業報告

平成30年4月1日
～平成31年3月31日

基本方針の生命尊重の
保育確立と心の教育の推進

1. 生命尊重の保育推進
 2. 活力ある日仏保
 3. 魅力ある日仏保
 4. 国際交流・社会貢献のできる日仏保
- を重点に次の事業を行った。

1. 生命尊重の保育推進を図る 国民運動の展開

- (1) 生命尊重の保育推進のための実践、普及活動(募金運動)
昭和58年より始めた「いかけいのち」の募金運動では、日本赤十字社、ユニセフ等に浄財を贈呈。28年度は熊本地震の救済金を送付した。現在までの寄託総額は約1億円にのぼる。協賛園には感謝状・ポスターを配布。園児にはシール、保護者には「日本仏教保育協会の活動について」を配布。
- (2) 財政確立のための振興活動
1. 支部及び未組織支部で研修会及び組織強化会議を開催。又、その他のブロックもアプローチを図る。
- (3) 生命尊重の集い等の推進
5月 京都幼支部
「花まつり園児大会」
於、ロームシアター
5月 宮城支部
「第58回こどもはなまつり」
於、イスマニティ21
12月 東京支部

「釈尊成道を祝う幼児と母のつどい」
於、よみうりホール
12月 神奈川支部
「成道会の集い」
12月 於、ホテル横浜ガーデン
京都幼支部 「成道会」
12月 於、西本願寺開法会館
1月 埼玉支部
「第34回佛教幼児絵画展」
1月 於、埼玉会館
1月 大阪支部
「第43回幼児絵画展」
1月 於、大阪国際交流センター
愛知支部
「第51回仏教保育絵画展」
1月 於、名古屋市民ギャラリー
2月 京都幼支部 「涅槃絵」
2月 於、西本願寺開法会館
3月 愛知支部
「第9回三河地区仏教保育絵画展」
於、こども未来館ここに資料の編集刊行

- (4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行
2. 調査・研究

- (1) 仏教保育にかかわる調査・研究会
1. 全国大会の報告集である「大会紀要」の作成につき、愛知支部との協議を行った。
2. 「支部講習会等特別助成金」制度に基づき、各地区での講習会への助言と、各県より要請された講習会等に本部よりの講師の派遣を行った。
3. 本協会編「改訂わかりやすい仏教保育総論」(平成16年2

月初版・平成22年11月改訂チャイルド本社刊)は、全国の支部・養成機関でテキストとして活用されているが、幼稚園教育要領保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定に伴い、内容の改定を検討。

4. 養成機関連絡協議会を2月に開催し、研究協議を行った。
- (2) 仏教保育研究所
仏教保育史の資料の蒐集、整理を続行。
- (3) 仏教教育研究会
仏教保育の理念と実践の研究を行う。仏教保育者・学生等が対象。
3. 現職教育

- (1) 第35回全国仏教保育愛知大会
平成30年7月27日・28日に名古屋市・日本特殊陶業市民会館ヒレツジホール、愛知学院大学名城公園キャンパスを会場に記念式典・記念講演・分科会を実施した。参加数約700名。
(機関紙平成30年9月号
第653号に掲載)
- (2) 中央講習会
ア. 第86回夏期仏教保育講習会
7月23日・24日の両日、東京増上寺光猷殿において、東京仏教保育協会の運営実施により、全国から約150名の参加を得て開催。講師には大谷保育協会研究所長・田村晃徳氏、千蔵院住職・諸橋精光先生、昭和女子大学准教授・石井正子先生、絵本作家・真珠まりこ先生、あずま幼稚園園長・丹羽義昭先生、NPO法人保育の安全研究センター代表・掛札逸美先生、秋草短期大学准教授・小口偉先生を迎えて、仏教保育の講義並びに保育に関係する色々な内容の講義

と実技を交えての2日間の講習会を終えた。
(機関紙平成30年8月号
第652号に掲載)

- イ. 第63回関西地区仏教保育研修会
第63回関西地区仏教保育研修会は、東本願寺・しんらん交流館大谷ホール(京都市)においてJT生命研究館館長・中村桂子氏を講師として開催となった。
- (3) 支部講習会・ゼミナール等の開催促進
平成30年度各支部講習会・ゼミナール等の実施状況
3月28日 東京支部
「第53回教諭・保育士研修会」
於、築地本願寺伝道会館
80名参加
4月14日 長野支部
「総会・記念講演会」
於、善光寺講堂 100名参加
5月19日 三重支部
「総会と講演会」
於、高田山本宗務院 28名参加
5月23日 福岡支部
「総会ならびに研修会」
於、ホテル日航福岡 20名参加
6月16日 長野支部
「全体研修会」
於、善光寺講堂 100名参加
5・7・9・11・2月 東京支部
「東仏保ゼミナール」5回開催
於、新宿常願寺 60名参加
6・10月 東京支部
「東仏保研究ゼミナール(施設見学)」2回開催
用賀みこころ保育園/幼稚園型認定こども園多摩みゆき幼稚園
12名/8名参加
6月2日 栃木支部
「教員・保育士研修会」
於、恵光幼稚園

7月4日 香川支部
「平成30年度仏教保育講座」
於、サン・イレブン高松
38名参加
7月21日 北海道支部
「道仏保創立60周年記念大会」
17名参加
8月2日 宮城支部
「宮城県仏教保育夏期研修会」
於、東京エレクトロンホール宮城 100名参加
9月15日 京都保支部
「第1回職員研修会」
於、泉通寺 真言宗泉通寺派総本山 31名参加
11月10日 長野支部
「新任者研修会」
於、小市保育園 23名参加
1月12日 長野支部
「園内研修会まとめの会」
於、善光寺講堂 100名参加
1月23日 京都幼支部
「定例研修会」
於、ときわ幼稚園 30名参加
1月26日 京都保支部
「第2回職員研修会」
於、しんらん交流会 大谷ホール 47名参加
2月21日 兵庫支部
「教職員研修会」
於、兵庫私学会館 37名参加
3月15日 群馬支部
「幼児教育無償化研修会」
於、ホテル小暮 20名参加
3月27日 大阪支部
「春季職員研修会」
於、津村別院 34名参加

- (1) 平成30年度
第1回仏教保育研修会
平成30年6月13日

指導者養成



於、増上寺・光摂殿
講師 認定ことも園こども
もり理事長・園長

若盛正城先生
テーマ「生きる力を身につける
保育を目指して」 40名参加
(機関紙平成30年7月号
第651号に掲載)

(2) 平成30年度
第2回仏教保育研修会
平成31年1月17日
於、増上寺・光摂殿

講師 エリソースセンター株式
会社代表・学園経営コンサ
ルタント 石田敦生先生
テーマ「これから10年輝く園経
営について」 90名参加
(機関紙平成31年2月号
第658号に掲載)

(3) 養成機関連絡協議会
平成31年2月21日
於、芝パークホテル

テーマ「保育者の資質と保育の
質について考える」
参加養成校7校・8名
(機関紙平成31年4月号
第660号に掲載)

5. 編集・刊行

(1) 機関紙「仏教保育」

月刊 園長・教職員対象
平成30年4月1日発行第648
号より平成31年3月1日発行第
659号まで、時宜に適した日
仏保に関連した事象を取り上げ
紙面の充実を図った。

編集委員会は月1回
於、日仏保事務所
(2) 「仏教保育カリキュラム」
月刊 教職員対象
企画会議 年1回
於、日仏保事務所

編集会議 月1回
於、日仏保事務所
校正委員会 月1回
於、山本印刷株式会社

(3) 「ほとけの子」
月刊 保護者対象
仏さまのみ教えを通して、親子
共々「心の豊かさ」のある人と
しての成長を願い編集し、紙面
の充実を図る。

企画会議 年1回
於、日仏保事務所
編集会議 年5回
於、日仏保事務所

(4) 仏教保育教材の編集・監修
1. 「こどものくに」ひまわり版
月刊 年長児対象
編集会議 年3回開催
於、すずき出版

☆「わたしの記録」
卒園児に対して配布
2. 「こどものくに」チュリッパ版
月刊 年中児対象
企画会議 年4回
編集会議 年3回開催
於、すずき出版

3. 「こどものくに」たんぼぼ版
月刊 年少児対象
編集会議 年2回開催
於、日仏保事務所

4. 出席カード
編集会議 年1回開催
於、フレールベル館
5. なつのえほん
編集会議 年1回開催
於、すずき出版

6. ともだちいっぱいうれしいな
(すずき出版) 新入園児対象
7. その他必要な教材
(5) 「いかせいのち」
日仏保写真ニュース発行
(6) 「日仏保ポスター」未発行

6. 関係団体との連絡提携

(1) 仏教各団体・他宗教団体との
連絡
1. 公益財団法人全日本仏教会
公益財団法人国際仏教興隆協
会への役員派遣。公益社団法人
全日本仏教婦人連盟、公益
財団法人仏教伝道協会との連
絡提携

2. 日本宗教保育事業協議会
(仏教、神道、キリスト教)
の振興
(2) 各私立、各宗保育団体との連絡
1. 各私立保育団体の全国研修会
及び会議へ理事長、副理事長、
本部の中心メンバーが参加、連
絡を図る。

2. 各宗保連の研修会、全国講習
会にも同様に出席、連絡を図る。
(3) 地方組織との連携強化及び育
成指導
1. 支部講習会等特別助成金交付制
度を適用し、以下の支部に配布。
①栃木 ②東京 ③北海道
④愛知 ⑤兵庫

2. 支部の会議及び事業に本部
より訪問し連絡を強化。
(4) 保育関係企業との連絡
1. 各企業継続事業の推進及び
新規事業も模索(すずき出版、
宣協社、フレールベル館、チャイ
ルド本社、ひかりのくに、世界
文化社、学研教育みらい、ジャ
クエツ等)。
2. 新年懇親会にて懇談

7. 保育制度対策の活動強化
(1) 幼保加盟施設の運営・経営の
調査
幼保加盟施設の各地区の現
状分析

(2) 保育制度研究会
(全国制度対策委員会)

(3) 仏教保育振興国会議員懇話会
との連絡強化
8. 国際交流、社会貢献の実践

(1) 国際交流等と社会貢献(災害
救援を含む)を積極的に推進
(2) インド菩提樹学園の育成協力
ア. 菩提樹学園運営委員会の開催
平成30年12月3日(月)
於、日仏保事務所
イ. 運営基金の管理運用
ウ. 運営及び育成指導への協力
(3) オメツパ(OMEP)に協力

9. 奨励事業
(1) 日本仏教保育協会賞
本年度養成機関卒業生
平成30年度34名/34校
(2) 仏教保育功労賞
仏教保育実践に功労のあった
個人で、適任者がいる年度の
み授与
ほとけの子編集委員長・認定こ
ども園こどものもり理事長・園
長 若盛正城先生

(3) 第21回持田賞
※該当者なし
(4) 第16回古屋賞
永年にわたる機関紙「仏教保
育」の編集・刊行の功績を讃
え、ハローワールド株式会社
に対し、第35回全国仏教保育
愛知大会開会式席上にて表彰
(5) 第9回仏教保育精励賞
※該当者なし

10. その他必要な事業
(1) 会員加入促進運動
奉祝花まつり・暑中見舞い広告・
成道会等の協賛広告

(協賛広告を例年通り継続)

(3) 各種出版物、教材の開発・販
売推進(重点教材・出版物「こ
どものくに」「ほとけの子」)
(4) ホームページの充実
(5) その他
「仏教保育なるほど12か月」
「ポップアップ絵本おしゃかさま」
「新選ジャータカ絵本全5巻」の普
及促進

◇ 会議
(1) 5月8日 平成29年度業務・
経理監査会 於、日仏保事務所
(2) 5月28日 第17回理事会・第
13回運営審委員会
於、増上寺会館
(機関紙平成30年6月号
第650号に掲載)

(3) 6月13日 第7回社員総会
第1回仏教保育研修会
於、増上寺・光摂殿
(機関紙平成30年7月号
第651号に掲載)

(4) 1月17日 第18回理事会・第14
回運営審委員会 第2回仏教保
育研修会 於、増上寺・光摂殿
(機関紙平成31年3月号
第659号に掲載)

(5) 2月5日 関西地区連絡協議会
於、ホテルグランヴィア京都
(機関紙平成31年3月号
第659号に掲載)

(6) 常任理事会・事務局会議
年11回開催 於、日仏保事務所
12月3日 第1回日仏保創立
90周年準備委員会
於、日仏保事務所

1月17日 第2回日仏保創立
90周年準備委員会
於、日仏保事務所
以上



第 7 回

公益社団法人日本仏教保育協会

創立90周年を迎えて

ほとけの子

その創刊当時を知る方々はすでに鬼籍に入られており、ただ創刊号が残るばかりです。

歩みが続けてくださることを祈ります。

期待は大きいのだと思います。二度とない人生を「明るく、正しく、仲良く」生きるための指標としてお釈迦さまの教えに基づき、「仏教保育」を今後も継続して良き社会人を世に送り出していきたいと思えます。

『ほとけの子』は昭和40年に創刊され、当初は2色でしたが現在は4色のカラーとなっております。体裁はA5判と変わりますが、ページ数は基本32ページですが、昭和48年のオイルショックの頃、用紙代が高騰し、24ページになる時期もありました。しかし創刊の基本コンセプトである「園児のお父さんやお母さんに読んでいただくための雑誌」であることは創刊以来変わることはありません。

元日本仏教保育協会理事長の上村映雄先生が『ほとけの子』創刊三十周年を祝うとしてコラムを書かれていますので、紹介します。

「十年ひと昔といいますが、よく三十年の間休むことなく継続してきたものと思います。

この事は仏教保育に精進する者として本当にうれしく、『継続、努力、くじけない』をモットーにどうか、五十年、百年と堅実な

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに

努力、くじけない』をモットーに



彫刻 大内青圃
表紙 曾我部満

【目次】(昭和40年4月1日発行)

- 三つの願い 大谷光昭
- お釈迦さま[第1回] 増谷文雄
- 四月の保育解説 内山憲尚
- 生活に生きる仏教 友松あきみち
- 四月の音楽 本多鉄磨
- ・子ども花まつり 賀来琢磨 作詞
本多鉄磨 作曲
- ・たのしいおうち 権藤はな子 作詞
弘田竜太郎 作曲

- やさしい仏教入門[第1回] 紀野一義
- 子どもの心[第1回] 大西徳明
- 幼児の発育 近藤宏二
- 幼児の絵 - 理解と指導 - 清水元長
- 【随筆】お母さまへ 森繁久彌
- 【童話】
高い高い石の柱 山田巖雄
なのはなとおじぞうさま 布村哲哉
- 【紹介と批評】

それから三十年たつと時代の様子は一変し、幼児は当時の半分になり高年齢化時代がアツという間に訪れてきました。こういう時代であるからこそ日本の将来を担う子ども達への期待は大きいのだと思います。二度とない人生を「明るく、正しく、仲良く」生きるための指標としてお釈迦さまの教えに基づき、「仏教保育」を今後も継続して良き社会人を世に送り出していきたいと思えます。

子どもは親の姿を見て育ちます。この月刊『ほとけの子』によって保護者の皆さんの心の栄養にしたい、子ども達のお手本になつていただくお手伝いができれば、こんなうれしい事はありません。より多くの方々にかわいがっていただき、月刊『ほとけの子』を育てていただければ幸いです。」とあります。



現在の「ほとけの子」

最後に若盛編集委員長は、「今後も、仏教保育に尽力されて来られた先達の先生方の意志を引き継ぎ、各先生方の協力を得て、仏教を通して、子どもと保護者のためになる『ほとけの子』を先を見据えて刊行して行きたい」と語っていました。

現在の『ほとけの子』の編集委員長である若盛正城先生(埼玉・認定こども園こどももり)によりますと、「ほとけの子」とネーミングを考えたのは、その時の編集委員の山内昭道先生です。仏教保育草創期は東大出身の先生が多く、仏教を通して子どもを育てて行くという情熱に満ちていたそうです。その情熱は今の編集委員の先生方にも引き継がれています。

の心」が必要です。



暑中見舞

(敬称略)

次号へつづく

<p>園長 〒158・0083 東京都世田谷区奥沢1・18・9 電話03・3720・1273</p> <p style="text-align: center;">矢花真隆</p> <p>園長 〒144・0047 東京都大田区萩中1・12・7 電話03・3732・8781</p> <p style="text-align: center;">高輪真澄</p> <p>園長 〒191・0034 東京都日野市落川9・4・3 電話042・5911・6888</p> <p style="text-align: center;">清水博雅</p> <p>園長 〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町4・3・0 電話048・9255・1741</p> <p style="text-align: center;">丹羽義昭</p> <p>園長 〒146・0084 東京都大田区南久が原2・30・5 電話03・3756・0505</p> <p style="text-align: center;">樋口威道</p> <p>園長 〒380・0847 長野市若松町1・02・8 電話026・234・5858</p> <p style="text-align: center;">金子英滋</p>	<p>園長 〒156・0051 東京都世田谷区宮坂2・10・1 電話03・3427・2251</p> <p style="text-align: center;">武田敬幸</p> <p>園長 〒152・0003 東京都目黒区碑文谷1・22・22 電話03・3716・6070</p> <p style="text-align: center;">阿純章</p> <p>園長 〒183・0014 東京都府中市是政3・6 電話042・3617・4522</p> <p style="text-align: center;">榎本隆乘</p> <p>園長 〒272・0813 千葉県市川市中山3・10・4 電話047・3341・2224</p> <p style="text-align: center;">緑谷一雄</p> <p>園長 〒606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話0757612211</p> <p style="text-align: center;">植田美代</p> <p>園長 〒606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話0757612211</p> <p style="text-align: center;">信ヶ原雅文</p> <p>園長 〒146・0093 東京都大田区矢口2・26・17 電話03・3758・0074</p> <p style="text-align: center;">樋口威道</p> <p>園長 〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話03・3999・8739</p> <p style="text-align: center;">高山久照</p>	<p>園長 〒769・0103 香川県高松市園分寺町橋筋甲1982 電話087・874・4309</p> <p style="text-align: center;">釋氏尚彦</p> <p>園長 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話042・3647・651</p> <p style="text-align: center;">小澤宏</p> <p>園長 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話08233255671</p> <p style="text-align: center;">西村英昭</p> <p>園長 〒105・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話03・3431・0592</p> <p style="text-align: center;">友田達祐</p> <p>園長 〒198・0064 東京都青梅市柚木町2・312・1 電話04287660809</p> <p style="text-align: center;">増澤秀丸</p> <p>園長 〒157・0077 東京都世田谷区緑田3・23・19 電話03・3709・0400</p> <p style="text-align: center;">金子聡秀</p> <p>園長 〒376・0034 群馬県桐生市東4・1・18 電話02774433795</p> <p style="text-align: center;">箱守陽子</p> <p>園長 〒131・0033 東京都墨田区向島5・4・4 電話03・36227771</p> <p style="text-align: center;">小林昭彦</p>	<p>園長 〒806・0022 北九州市八幡西区藤田1・5・28 電話093・641・7696</p> <p style="text-align: center;">後根泰定</p> <p>園長 〒326・0803 栃木県足利市家富町2188 電話02842113475</p> <p style="text-align: center;">山越忍隆</p> <p>園長 〒099・4113 北海道斜里郡斜里町本町46・10 電話0152233880</p> <p style="text-align: center;">鈴木啓介</p> <p>園長 〒259・1133 神奈川県伊勢原市東大竹1377 電話0463928882</p> <p style="text-align: center;">佐伯妙有</p> <p>園長 〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 電話0278724120</p> <p style="text-align: center;">堪山泰学</p> <p>園長 〒607・8409 京都市山科区御陵天徳町15 電話0755916676</p> <p style="text-align: center;">寺西正毅</p> <p>園長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話0753812591</p> <p style="text-align: center;">日野昭文</p> <p>園長 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話03338550014</p> <p style="text-align: center;">安藤文隆</p>
<p>園長 〒158・0083 東京都世田谷区奥沢1・18・9 電話03・3720・1273</p> <p style="text-align: center;">矢花真隆</p> <p>園長 〒144・0047 東京都大田区萩中1・12・7 電話03・3732・8781</p> <p style="text-align: center;">高輪真澄</p> <p>園長 〒191・0034 東京都日野市落川9・4・3 電話042・5911・6888</p> <p style="text-align: center;">清水博雅</p> <p>園長 〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町4・3・0 電話048・9255・1741</p> <p style="text-align: center;">丹羽義昭</p> <p>園長 〒146・0084 東京都大田区南久が原2・30・5 電話03・3756・0505</p> <p style="text-align: center;">樋口威道</p> <p>園長 〒380・0847 長野市若松町1・02・8 電話026・234・5858</p> <p style="text-align: center;">金子英滋</p>	<p>園長 〒156・0051 東京都世田谷区宮坂2・10・1 電話03・3427・2251</p> <p style="text-align: center;">武田敬幸</p> <p>園長 〒152・0003 東京都目黒区碑文谷1・22・22 電話03・3716・6070</p> <p style="text-align: center;">阿純章</p> <p>園長 〒183・0014 東京都府中市是政3・6 電話042・3617・4522</p> <p style="text-align: center;">榎本隆乘</p> <p>園長 〒272・0813 千葉県市川市中山3・10・4 電話047・3341・2224</p> <p style="text-align: center;">緑谷一雄</p> <p>園長 〒606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話0757612211</p> <p style="text-align: center;">植田美代</p> <p>園長 〒606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話0757612211</p> <p style="text-align: center;">信ヶ原雅文</p> <p>園長 〒146・0093 東京都大田区矢口2・26・17 電話03・3758・0074</p> <p style="text-align: center;">樋口威道</p> <p>園長 〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話03・3999・8739</p> <p style="text-align: center;">高山久照</p>	<p>園長 〒769・0103 香川県高松市園分寺町橋筋甲1982 電話087・874・4309</p> <p style="text-align: center;">釋氏尚彦</p> <p>園長 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話042・3647・651</p> <p style="text-align: center;">小澤宏</p> <p>園長 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話08233255671</p> <p style="text-align: center;">西村英昭</p> <p>園長 〒105・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話03・3431・0592</p> <p style="text-align: center;">友田達祐</p> <p>園長 〒198・0064 東京都青梅市柚木町2・312・1 電話04287660809</p> <p style="text-align: center;">増澤秀丸</p> <p>園長 〒157・0077 東京都世田谷区緑田3・23・19 電話03・3709・0400</p> <p style="text-align: center;">金子聡秀</p> <p>園長 〒376・0034 群馬県桐生市東4・1・18 電話02774433795</p> <p style="text-align: center;">箱守陽子</p> <p>園長 〒131・0033 東京都墨田区向島5・4・4 電話03・36227771</p> <p style="text-align: center;">小林昭彦</p>	<p>園長 〒806・0022 北九州市八幡西区藤田1・5・28 電話093・641・7696</p> <p style="text-align: center;">後根泰定</p> <p>園長 〒326・0803 栃木県足利市家富町2188 電話02842113475</p> <p style="text-align: center;">山越忍隆</p> <p>園長 〒099・4113 北海道斜里郡斜里町本町46・10 電話0152233880</p> <p style="text-align: center;">鈴木啓介</p> <p>園長 〒259・1133 神奈川県伊勢原市東大竹1377 電話0463928882</p> <p style="text-align: center;">佐伯妙有</p> <p>園長 〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 電話0278724120</p> <p style="text-align: center;">堪山泰学</p> <p>園長 〒607・8409 京都市山科区御陵天徳町15 電話0755916676</p> <p style="text-align: center;">寺西正毅</p> <p>園長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話0753812591</p> <p style="text-align: center;">日野昭文</p> <p>園長 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話03338550014</p> <p style="text-align: center;">安藤文隆</p>

訂正とお詫び

仏教保育4月号(第660号)の養成機関連絡協議会の大谷大 学・富岡量秀先生の文中に誤り がありました。富岡先生並びに 読者の皆様にご迷惑をおか けいたしました。ここに深くお詫 びし、訂正させていただきます。

[原文]

短大の就職状況は、最終的に は恐らく9割以上、93.4%ぐら いは保育園や幼稚園に就職させ ていただきました。62%が一般企 業です。そのうち保育所が40%、 幼稚園が32.3%です。

[修正文]

短大の就職状況は、最終的には 恐らく9割以上が保育園や幼稚 園に就職させていただきました。 本学の特徴は、ここ数年、幼稚園 希望者が割合として高くなって います。あとは内部での4大への 編入学とその他になります。

認定こども園若草幼稚園
園理事長・園長
〒998・0037 山形県酒田市日吉町1・4・34
電話02344222132

大滝宗徳



事務局日誌

- 6 / 11 「仏教保育カリキュラム」 「仏教保育」編集会議
事務局会議
- 6 / 19 90周年実行委員会
社員総会
- 6 / 25 第25回参議院議員選挙当選祈願法要

ほおずき

「鬼灯は実も葉もからも紅葉哉」(芭蕉)
夏を彩る「ほおずき」の季語は秋。俳聖松尾芭蕉は、ほおずきの緑から赤に染まる様を優しく愛でているような句を詠んでいます。

ほおずきは、我が国では古くからお盆に仏花として飾られてきました。また、平安時代から薬として利用され、子どもの夜泣きやひきつけ、大人のお腹や胸の痛みを和らげる効能があるとされて来ました。

名前の由来には諸説あり、果実から種子を取り除き、皮を口に入れて膨らませる「ほおずき笛」からきた「頬突き」という説。「ホホ」というカメモシが付きやすいことから「ホホ付き」と呼ばれていたという説が挙げられています。

ほおずきは漢字で書くと「酸漿」や「鬼灯」。酸漿は生薬の名に由来し、鬼灯は火が煌々と灯った提灯に似ていることに由来するそうです。

花言葉は、実の大きさに対して、中は空洞で種も小さいことから、「偽り」「ごまかし」「欺瞞」というネガティブな意味と「心の平安」「私を誘ってください」というポジティブな意味があります。後者の意味は、ほおずきの鎮痛剤としての効能から来た花言葉ということであり、何事も多角的に見て判断しなければならぬということでしょうか。

編集後記

■各都道府県、各市区町村で幼児教育、保育の無償化の準備が始まっています。色々な無償化説明会に参加しながら、本来の無償化の目的は何だったのかということが時々頭をよぎります。■無償化が間近になって、制度の運用、実務をやる市区町村は、無償化本体の部分よりも先に「預かり保育の無償化」の申請受付を始めているところが多いと聞きました。■新たな認定の取得、申請に伴う各種添付書類の取得に時間がかかるから...というのが主な理由かもしれません。けれど本来の目的は何であつたのか。幼稚園も子ども園も保育所も、要領や指針の改定という保育の質向上を足場にして、子どもの核となる幼児教育部分に投資して無償化を行い、幼児教育の機会を拡充し効果を上げていこうという事が目的ではなかったのでしょうか。■預かり保育無償化や食料費の制度が複雑で、制度の確認や論議がそこに流れがちになると、教育投資の目的や、公金投入に対する質の論議や、地域社会との幼児教育や保育の共有という目的が見えにくくなってしまうことが心配です。特に私学助成園においては大きな構造変革となります。本来の目的を見失わないようにしたいものです。

(五 島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しさを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2x26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

8
August

伝えよう 生命の尊さ ほどけの心

第8回

公益社団法人日本仏教保育協会

創立90周年を迎えて

子どものくに

昭和40年頃、当時の日本仏教保育協会理事長である古屋道雄先生は、仏教保育の将来のために仏教精神に基づく教材を具体化

したいと考え、保育出版業者と交渉をしていましたが、思わしい結果は得られませんでした。それを知った鈴木出版社長の鈴木雄善氏は、仏教保育に貢献できればと引き受けくださり、創刊への第一歩を踏み出しました。

当時の日仏関係者は創刊に向け会議を重ね、教材開発に熱心に取り組みました。仏教保育

子どものくに



創刊号／昭和42年

教材誌の名称は、山内昭道先生が『コドモノクニ』（東京社）という戦前の児童向けの絵雑誌に、子どものころ夢中になったことから、『子どものくに』という名称を強く提案されました。

昭和41年に開催された第9回全国仏教保育東京大会で、仏教保育教材誌として『子どものくに』を創刊することを発表しました。

しかし『子どものくに』を継続刊行するためには、4万部以上の購入がないと難しいことから、古屋道雄先生と鈴木雄善氏は全国各地で園長会を開き、創刊の趣旨と購読の要請をしまわりました。

そして、5万部の予約を獲得し、昭和42年4月に創刊号が出版されました。

昭和48年には、従来のものを年長向け「ひまわり版」とし、3〜4歳児向けの新刊「チューリップ版」が創刊されました。昭和62年に年少向けの「たんぼぼ版」が創刊されたことで、現在の3誌が揃いました。

この3誌の名称は、花の背丈の順（一番背丈の高いひまわり、その次がチューリップ、一番背の低いたんぼぼ）から付けられたといわれています。平成元年には上製本の刊行がはじまり、平成4年には『おさん

ぼしましよ』（チューリップえほんシリーズ）が、第39回産経児童出版文化賞推薦を受賞しました。

また平成12年には、『にやーご』（ひまわりえほんシリーズ）が東京書籍版の小学校国語教科書に採用されるなど、『子どものくに』の内容が高く評価されています。

仏教保育は日常の中にあるものです。「絵本」を通して子どもたちの心と仏教とを結び付け、12ヶ月の徳目を実践に移す手がかりとして『子どものくに』が作られました。

現在でも編集は加盟園で働く保育者で構成される委員会を設け、現場の意見を取り入れながらより良い作品作りに取り組んでおります。『子どものくに』は、加盟園や関係者の皆様によって育てられてきた仏教保育教材といえるでしょう。

今後とも生命尊重の保育、仏教保育の推進のためにぜひとも役立てて頂きたいと思っております。



「チューリップ版」創刊号／昭和48年



「たんぼぼ版」創刊号／昭和62年



令和元年度第1回仏教保育研修会

令和元年6月19日／増上寺光摂殿講堂

今こそ防災の備えを。子どもたちの生命

■講師 タフジャパン代表 鎌田修広先生



私はちよつと変わった人間で、消防学校の体育の教官になりたくて消防に入りました。地元横浜に偉大な体育の教官がおられました、その方は59歳でしたが、その背中を見て学びたいと思いました。そして9年目に三代目の体育教官として3400人の消防隊員を一人で見ることになりました。その後、国の体育の教官になり、今はタフジャパンという会社を興し、消防士100万人の体育の講師として、指導させていただいています。

余談ですが、横浜のその偉大な恩師は、何とサッカーの本田圭佑選手の大叔父さんで、現在、御年85歳です。昭和39年に

行われた東京オリンピックでカヌー競技の日本代表のキャプテンです。その方は自衛隊体育学校の教官をされていたんですが、40歳現役バリバリの時に、横浜消防が自衛隊からヘッドハンティングをしました。自衛隊で培った体育の基礎を全部消防に持って来たのです。日本今の消防の体育の基礎は本田選手の大叔父さんに全部作っていただいたという歴史があります。

私は防災アドバイザーとしても活動をさせていただいていますが、先日、あるパートのトイレの脇に、「非常の際には訓練を積んだ2800名の自衛消防隊が、お客様を安全に誘導いたします」と書いてあるのを見ました。もし皆様の園の正門にそんな言葉が掲げてあったら、入園しようと見学に来た親御さんはきつと安心するのではないでしょうか。将来的に、こういう看板があってもいいのではな

いかと思います。

おそらくこのパートの従業員の方々は日々、防災訓練に取り組んでいることと思われれます。しかしどんなに一生懸命やっていたとしても、やはり可視化しないとなかなか伝わるものも伝わらないのではないのでしょうか。

ここに「メンタルタフネス」という本があります。著者はジム・レーヤー博士。この方はプロのテニスプレーヤーであり、心理学者でもあります。FBI、SWAT、特殊部隊などのメンタルトレーニングをされている方です。この本の中に、ストレスや危機にさらされた場合、目の前に困難が起きた場合、どのような心理的エネルギーを持つていければ、その困難を乗り越えることができるかということが書いてあります。

まずはハイポジティブであること。まず人生を楽しんでいる。仕事も楽しんでいる。これが前

提です。そしてエネルギーがあること。このエネルギーになるには次の4つのことが必要です。1つ目はバランスよく食事を摂る。嫌いなものは食べないのではなく、嫌いなものでも、それと向き合つて、どう克服していくのかということ。2つ目が自ら運動するように心がける。3つ目は質の良い睡眠をする努力をする。質の高い睡眠とは寝ている長さではなくて深さです。4つ目は胸式ではなく、腹式で呼吸ができています。こうすることで、生きるということに対してエネルギーがシユになります。

また困難に立ち向かうにはポジティブな思考が重要で、それは筋肉に大きく影響を与えています。まず頭の中でネガティブな事案を思い出していたきた。自分に起きた悪いこととか後悔していることとか。そうすると空気がいやな感じになります。これを同期発火とい

います。周りの人に確実に伝染します。そうすると皆さんの筋肉に必ず影響を及ぼすので。私たちの筋肉は、電気で動いていますので、発電しなくなります。どんなに筋肉を鍛えていても、電気が通らなければ出力できません。

では今度は逆に、嬉しかったこと、うまくいったことなど、最高の瞬間を思い浮かべていただきたい。「俺が最高だ、絶対幸せになつてやる」。これを皆さんに同期発火します。そうすると筋肉にどう影響を及ぼすのでしょうか。電池が直列で全部つながりますので、最大の力が入ります。もつと大きな言い方をすると、生きるエネルギーが湧いてくるのです。力を出すも出さないも自分次第ということを是非理解していただきたいと思ひます。

消防の精神は、「ちゃんと備えて、ちゃんと構える。いざという時は、勇敢に戦え」。私たち



は常備消防といわれます。いろいろなことを想定して備える。いざという時は、勇気を出して戦う、最後まで諦めない。それこそハイポジティブになるんです。そうやってコントロールしている集団です。

人は死と直結した思考をなかなか持てないものです。悪いことは、自分には起こらないだろう。自分だけは奇跡的に助かるだろうと思ってしまうがちです。私たちが本場に戦う相手は災害心理です。災害と戦う前にブレーキをかけてしまいう災害心理と戦わなければなりません。

「世界で最後まで生き残る人はどんな人だと思いますか？」ある人がスパーコンピュータを使って調べた結果、「世界一思いやりの心を持っている人」、「世界一譲り合いの心を持っている人」という結果でした。

私はそれが納得いかなかった。いや、そんな「お先にどうぞ」みたいなことを言って、なぜ生き残れるのでしょうか。そうした「ちやんと備えているから物心ともに余裕があつて、どうぞと譲り合える」ということでした。やはり事前の備えが大事だと思います。

子どもたちが、「自分たちはは守られている。ここにいる人はみんな自分の味方だ。何かあつた時に助けてくれる。それを感しながらそこで自分らしさを発揮することが出来る。」それが心理的安全性です。それが園の中でも家庭の中でも求められています。

私の関りある団体では、応援協定というのを日本全国で結んでいます。東北・東京・九州の各園が支え合っています。地震とか災害時に必要なものをピンポイントで送り合うという仕組みです。

災害になどに備えて、お互い様の関係をつくるのが重要だと思えます。そのためには相手の懐に入り込まなければなりません。今、この運動を全国的に広めているところです。日仏保でもそういうつながりができればいいと思います。

最後に、皆さんにお願ひしたいことがあります。ぜひ園の防

災の取組みを明確化して、どこが足りていて、どこが足りてないか、客観的に見ていただきたいと思えます。子どもたちは自分の運命を改善することはできませんが、皆さんの立場であれば、運命の改善ができます。

私の地元にはジャンポールがあります。東日本大震災の津波を教訓に、このプールを一日貸し切つて、子どもたち向けの水のイベントを行っています。今年で7年目です。今、親子が600名集まつて来ます。マスコミにも取り上げられ、今、街の文化になりつつあります。ライフセーバーだけでも全国から100名ほど手伝いに来てくれます。地域社会に防災を中心に置くと周りが元気になる。そしていろんなことを可視化することによって、この街いいねえ！とたくさんの方が住んで人口が増えてくれる。本当に嬉しい限りです。

皆さんも園という場所を使って運命の改善をするための防災アクション、減災アクションをぜひ起こしていただきたいと思えます。小さな取り組みでもいいのです。そうすることで子どもたちの運命がいい方向に変わっていく可能性があります。皆さんの活躍を期待しております。

令和1・2年度参務・運営審議委員

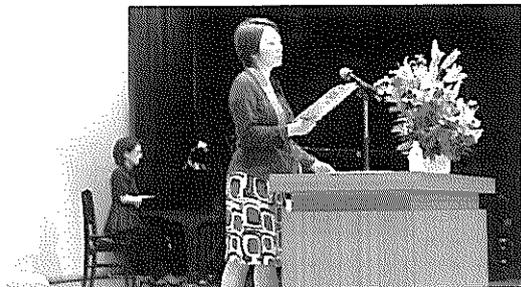
参 務	参 務	参 務	参 務
吉岡 棟彦	(福島・福島ルンビニー幼稚園)	戸田了達	(東京・妙福寺保育園)
岩堀 法道	(茨城・認定こども園平泉幼稚園)	秋山 秀阿	(東京・光徳保育園)
古屋 吉雄	(茨城・共生保育園)	堀江 秀典	(東京・西小松川保育園)
栗原 信明	(栃木・認定こども園くにや幼稚園)	加藤 昌康	(東京・淡島幼稚園)
高山 照襄	(千葉・千葉文化幼稚園)	樋口 威道	(東京・今泉保育園)
緑谷 一雄	(千葉・みどり幼稚園)	桑田 則行	(東京・最勝寺みのり保育園)
小林 昭彦	(東京・言問幼稚園)	小林 昭寛	(東京・言問幼稚園)
小俣 昌道	(東京・行慶寺)	角田 定広	(神奈川・ルンビニー幼稚園)
関岡 俊二	(東京・認定こども園多摩みゆき幼稚園)	楠 雅翔	(神奈川・ばらの幼稚園)
遠藤 友彦	(愛知・川中保育園)	長谷川 弘頭	(愛知・名港保育園)
三浦 俊彦	(愛知・城北幼稚園)	相羽 孝親	(愛知・津島幼稚園)
白旗 文雄	(京都・山科幼稚園)	黒野 昌康	(愛知・美園保育園)
宮川 恵秀	(北海道・双葉保育園)	海野 英順	(長野・吉田保育園)
畑 光寿	(北海道・小樽高田幼稚園)	海野 知現	(新潟・出雲崎保育園)
横湯 千重子	(北海道・厚別幼稚園)	荒川 慈文	(福井・新田塚幼稚園)
斎藤 学成	(青森・多賀台保育園)	山本 智順	(滋賀・滋賀県仏教保育協会)
鎌田 俊昭	(宮城・八幡花園幼稚園)	栗真 恵光	(三重・高田保育園)
妹川 真澄	(茨城・もみじこども園)	山羽 学天	(京都・錦綾幼稚園)
橋本 幸雄	(茨城・認定こども園栄幼稚園)	橋川 昌治	(京都・ときわ幼稚園)
荒居 養雄	(栃木・認定こども園育成館)	戸津川 聖信	(京都・随林寺保育園)
黒田 光泰	(栃木・ひかり幼稚園)	吉澤 浩則	(京都・小松谷保育園)
和田 辨孝	(群馬・中川幼稚園)	平林 正見	(大阪・ひかり幼稚園)
後藤 光純	(埼玉・北川口幼稚園)	山下 正和	(大阪・栗生幼稚園)
石田 隆博	(埼玉・わせだ幼稚園)	岡田 哲明	(大阪・ぶっこう幼稚園)
田口 順一	(埼玉・共生幼稚園)	近藤 利弘	(兵庫・禅昌寺幼稚園)
高山 照駿	(千葉・千葉文化幼稚園)	中川 正興	(兵庫・宝地院保育園)
清水 博雅	(東京・日野わかさ幼稚園)	本田 行信	(鳥根・まるに保育所)
友松 浩志	(東京・神田寺幼稚園)	釋氏 尚彦	(香川・みのり保育園)
五島 満	(東京・銀の鈴幼稚園)	笠 信暁	(福岡・アソカ幼稚園)
大澤 聖隆	(東京・世尊院幼稚園)	中 嶋 顯真	(福岡・松原保育園)
福井 徹人	(東京・ルンビニー保育園)		

第87回夏期仏教保育講習会開催

主催／公益社団法人日本仏教保育協会 共催／東京仏教保育協会
令和元年7月22日・23日 大本山増上寺・光摂殿講堂

1日目

公益社団法人日本仏教保育協会(高山久照理事長)は7月22日・23日の両日、大本山増上



朝のコーラスを指導される吉水知草先生とピアノ伴奏の森田真帆先生。



高山久照理事長



安藤文隆東仏保委員長

寺光摂殿講堂において、東京仏教保育協会(安藤文隆委員長)のご協力を得て、標記講習会を開催しました。

朝のコーラス

公財・全国青少年教化協議会研究員
吉水知草先生
ピアノ伴奏 森田真帆先生

「開会式を迎えるにあたり、式典で歌う仏教聖歌をおさらいするとともに、ウォーミングアップを兼ねて楽しく声を出してみよう。」と指導されるのはお馴染みの吉水知草先生(公財・全国青少年教化協議会研究員)。ピアノ伴奏は森田真帆先生です。

「歌詞の意味を考えて歌いましょう。」と、「四弘誓願」追悼の歌「法の深山」「仏教保育の歌」の4曲、それぞれの曲を解説しながら歌の指導をされました。透き通るような歌声が会場に響き渡りました。

開講式

開講式は合掌礼拝から始まり「三歸依文」斉誦、物故者への黙祷を捧げた後、高山久照理事長から「日本仏教保育協会は90年の歴史があります。この講習会も87回を迎え、保育団体が主催する研修会としては最も古く、長く仏教保育者としての考え方、あり方などを研修しています。この濃密な2日間が参加された先生方にとって、大きな気付き、新たな発見があることを期待しています」と挨拶されました。

続いて、安藤文隆東京仏教保育協会委員長から「例年はうだるような暑さの中で開催されていますが、今年は梅雨明けも報告されておらず、幾分過ごしやすく、学びやすいのではないのでしょうか。どうかこの2日間、子ども達のために情操教育をしつかりと育んでほしいと思います」と激励されました。

仏教保育の話

公社・日本仏教保育協会理事長
寿福寺幼稚園理事長
高山久照先生

「保育を通じて生命尊重の教えをこども達に伝えて行くことが日本仏教保育協会(日仏保)の果たす役割です。仏教保育の研究や教材の開発、研修会等を行っています。」と、団体の目的を述べてから、日仏保の歴史をふまえて、仏教保育三綱領―

- ① 慈心不殺：生命尊重の保育を行おう
- ② 仏道成就：正しきを見てたえず進む保育を行おう
- ③ 正業精進：よき社会人を作る保育を行おう

をわかりやすく説明されました。その後、仏教保育の1年間のねらいである徳目を解説し、保育をしていく上で参考にしてほしいと述べられました。最後に涅槃会・灌仏会・成道会について、「この三仏忌は仏教



保育では大切な行事です。皆さんも良く理解されて、保育につなげてほしいと思います。締めくくりとして情報過多の時代、その情報を精査できる力が重要です。仏教の智慧を身につけて、子ども達のために素晴らしく保育者になっていただきたいと思っています。」と話されました。

日本人の宗教性

大正大学准教授
天台宗華徳院住職

神達知純先生



日本人の多くは「宗教を信じますか?」という問いに「はい」と答えることをためらう傾向にあります。それにもかかわらず多くの方が墓参りを習慣とし、先祖を敬う気持ちを持っています。先生は冒頭から日本人の宗教性を穏やかに問われ、講演が始まりました。

統計数理研究所の調査の結果を説明されながら話は進み、日本人は宗教心の大切さを理解していても自らの信仰にはネガティブな態度を示すが、先祖を敬う習慣があり、初詣などの宗教的行動を宗教と自覚して

いない。宗教学者の山折哲雄が言った日本人にとって宗教とは「信じる宗教」ではなく「感じる宗教」について解説されました。次いで「日本人と仏教」というテーマで、仏教の伝来から現代に至るまでの話をされ、日本仏教の特性として、先祖供養と神仏習合を上げられ、それぞれわかりやすく説明されました。

最後に「毒矢のたとえ」を用いて、お釈迦様の教え「人はいかに生きるか」を語られ、「仏教にとつて一番大事なことは、教えというものはあくまで、その人が生きる助けとなるものでありますので、教えばかりにとらわれることなく、その時々に応じて実践していただきたいと思えます。」と講演を結びました。

子どもの心を育てる

お話と絵本

昭和女子大学名誉教授
児童文学者

西本鶏介先生



西本先生は「子どもの虐待が続いていますが、なぜ起きるのか。おそらくその親は幼児期に愛情あふれる生活の経験が

なかったのではないかと思われます。」と切り出されました。「ここに子ども詩があります。『ママ、ぼくどうして生まれて来たか知ってる? ママに会いたくて生まれて来たんだ』 『あー暑い、お日様をおんぶしているみたい』 なんて素晴らしい発想でしょうか。また先生から注意された子どもが、

『うーん、元気が止まらない』 この言葉には子どもがエネルギーが満ちあふれています。『お母さんのいない子はどうやっておふとんを温めるの』 この子は人の心がわかっています。『と立て続けに子どもたちの詩を紹介され、「人への思いやりは日頃の生活の中で育つものですが、それをどう育てて行くのか、保育者の仕事はここにあります。』と話されました。

先生はご自分の幼少期の話をされ、「昔は本がなかったが、子どもの知識心を充たしてくれる大人がいた。いろいろな話をしてくれた。いま先生方に伝えたいのは、素話をどれだけポケットに入れておくことだと思います。」と、子ども達に語りかける重要性を述べられました。最後に先生が作られた『おじいちゃんのごくらくごくらく』を朗読され、「この本は家族

の温かさやおもいやりをテーマにしたものです。これくらい分量でも、生きることがどういうものかを伝えることができます。先生方も絵本を好きになつて、保育に励んでいただきたいと願っています。」と、絵本の魅力を話してくださいました。

子どもの心とことばを育て育ち合う

一 手遊び・指遊び・歌遊び

幼児教育研究家

斎藤二三子先生



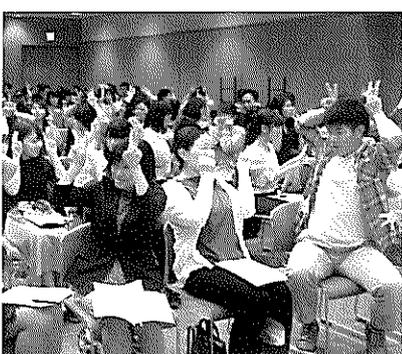
斎藤二三子先生は、手遊びのスタンダードといえる「グーチョキパー」でなにつくろうの発案者です。

講演は「お寺の和尚さん」から始まり、保育は子どもが中心ですからどんな時でも、まず「ありがとう」という言葉かけが大事であると話されました。次に絵本のベストセラー「はらぺこあおむし」を題材にした手遊びです。

その後、手遊びと言葉遊びを一緒にした遊びを披露され、会場は一気に盛り上がりしました。特に文字を覚えるのは環境

を通して教育するものとして、「文字カード」を取り入れた遊びを指導されました。続いて「アンパンマンじゃんけん」「あたまとりゲーム」「きゅきゅきゅりメロンロン」とおもしろい遊びを紹介され、手遊びが言葉を覚えることにもつながっていることを話されました。

また手遊びを通して、言葉の正しい音に気づく遊びとして「タコタイどっち」という遊びを教えていただきました。最後に、「子どもは遊びの天才です。たくさん創造的な遊びを生み出して、日々生き生きと遊んでいます。楽しい言葉のリズムに乗せて言葉を創造できる『手遊び』『指遊び』『歌遊び』は心と言葉を育てる最良の友です。参加された先生方は園に戻られてから、子ども達とたくさん遊んでください。」とエールを送られました。





「第25回参議院議員選挙当選祈願法要」

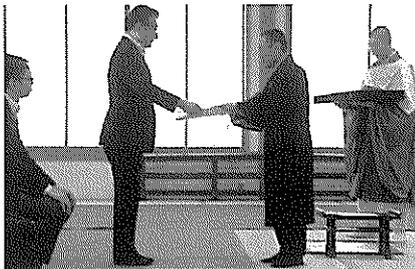
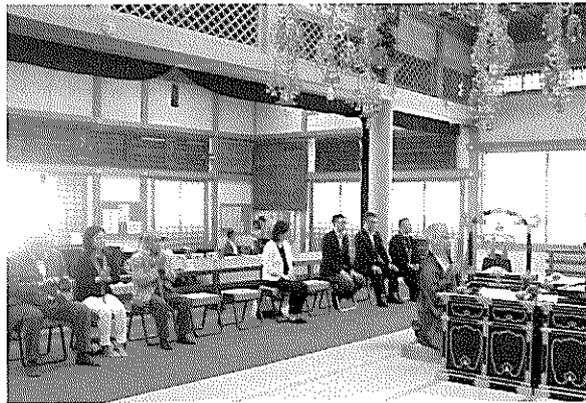
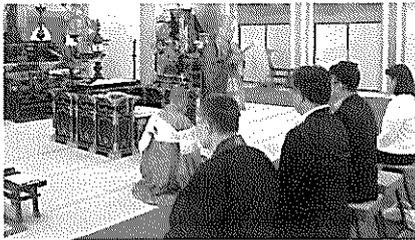
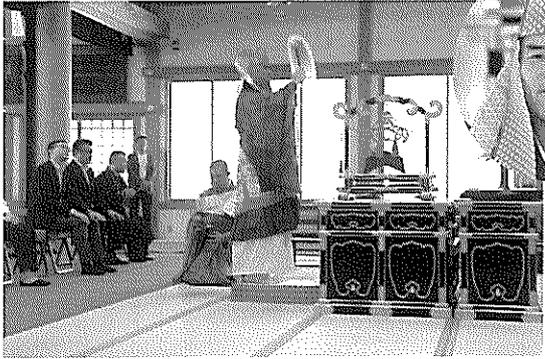
執り行う

令和元年6月25日／大本山増上寺・安国殿

6月25日、公益社団法人日本仏教保育協会（高山久照理事長）は大本山増上寺・安国殿において、当協会が推薦する候補者全員の当選を願う「第25回当選祈願法要」を執り行いました。

お導師は樋口威道師（延命寺住職・今泉保育園）が厳かに務められました。

法要の後、高山久照理事長から推薦状と大宝札が出席者に手渡されました。



第25回参議院議員選挙 ご当選おめでとうございます

7月21日、第25回参議院議員選挙が行われ、即日投票の結果、自民・公明両党は、改選議席の過半数を上回る71議席を獲得しました。

祈願法要に臨まれた候補者10名中、9名の方が当選されました。ここにご芳名を掲げ、謹んでお祝い申し上げます。併せて、これからも仏教保育の振興に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。（敬称略）

 橋本聖子 比例代表 自民党参議院議員会長 元外務副大臣 当選5回 54歳	 高橋克法 栃木 元国土交通大臣政務官 元栃木県高根沢町長 当選2回 54歳	 丸川珠代 東京 元オリンピック・パラリンピック担当大臣 元テレビ朝日アナウンサー 当選3回 48歳
 石田昌宏 比例代表 参議院厚生労働委員長 元日本看護連盟幹事長 当選2回 52歳	 加田裕之 兵庫 元兵庫県議会議員 元衆議院議員秘書 初当選 49歳	 武見敬三 東京 元厚生労働副大臣 元外務政務次官 当選5回 67歳
 西田昌司 京都 参議院自民党国会対策委員長代行 元京都府議会議員 当選3回 60歳	 古川俊治 埼玉 医師 弁護士 当選3回 56歳	 森まさこ 福島 元内閣府特命担当大臣 弁護士 当選3回 54歳

令和元年6月29日(土) / 於: ラッセホール神戸

第64回 関西地区研修会

兵庫・宝地院保育園 中川正興

令和元年6月29日(土)ラッセホール神戸を会場に、高山久照理事長にご臨席賜り、日本仏教保育協会第64回関西地区保育研修会を開催致しました。

今研修会は、兵庫支部として2回目の担当で、兵庫県仏教保育協会・神戸仏教保育協会との共催で開催致しました。

講演①は、保育システム研究所代表 吉田正幸先生に、「少子高齢・人口減少社会と保育行政の行方」無償化問題や新制度、私学助成を考える」をテーマに講演頂きました。

10月実施の幼児教育・保育無償化の目的や背景、課題や問題点を講演頂きました。保護者の関心が非常に高いテーマで、無償化実施後の問題など、施設長はもとより、参加教職員も真剣に講演を聞く姿が印象的でした。

制度が目まぐるしく変わる変革期でも、仏様の教えをもとにより良い人格を育む日々の教育・保育の営みの重要性を改めて認識する機会になりました。

講演②は、日本のプロ野球を経

ずにもジャーリーガーとなった元プロ野球選手のマック鈴木先生に、「自分の力で道を切り開く」をテーマに講演頂きました。

目標を決め、練習を怠らず、努力を継続することの大切さを、自身がメジャーリーガーになれた経験から講演頂きました。

日本とアメリカの野球に対する考え方や、プロの処遇等の違いについて、ユーモアを交えながら講演頂き、知らない世界の話題に参加者一同、興味深々で拝聴しました。

研修後は、マック鈴木先生もご同席頂き、近畿地区の先生方を交えて懇親会を開催しました。

マック鈴木先生からは、参加者にサイン入りの著書を頂いたり、気軽に写真撮影にも応じて頂き、参加者の良い思い出になった懇親会になりました。



暑中見舞

(敬称略)

<p>宗・玉蔭院 大徳寺保育園</p> <p>代表役員 森 義教</p> <p>〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 電話 075・491・8818</p>	<p>社福・立正妙法会 たちばな保育園</p> <p>理事長・園長 藤田尚哉</p> <p>〒600・8801 京都市下京区中堂寺西町1・4 電話 075・841・9791</p>	<p>宗・清尊 中野小鳩幼稚園</p> <p>園長 根本定子</p> <p>〒165・0025 東京都中野区沼袋3・21・7 電話 03・33385・0017</p>	<p>学 長 光田督良</p> <p>〒206・8511 東京都稲城市坂浜2・3・8 電話 042・350・7212</p>
<p>日仏保護審議委員 戸田了達</p> <p>園長 村上天真</p> <p>〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・39022336</p>	<p>日仏保護審議委員 妙福寺保育園</p> <p>園長 光田督良</p> <p>〒206・8511 東京都稲城市坂浜2・3・8 電話 042・350・7212</p>	<p>日仏保護副理事長 天白保育園</p> <p>園長 神野哲州</p> <p>〒468・0056 名古屋市天白区島田3・11・10 電話 052・801・0433</p>	<p>学・本蓮寺学園 初山幼稚園</p> <p>園長 町田順文</p> <p>〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671</p>
<p>日仏保護審議委員 山科幼稚園・西念寺保育園</p> <p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>認定こども園 岩舟幼稚園</p> <p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>学・東京聖徳学園 聖徳大学大学院</p> <p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>学・聖徳大学 聖徳大学短期大学部</p> <p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>社福・月かげ保育園</p> <p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>社福・月かげ保育園</p> <p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>日仏保護審議委員 鶴見大学短期大学部 附属三松幼稚園</p> <p>園長 秋山秀阿</p> <p>〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 03・3618・0511</p>	<p>宗・安養寺 光徳保育園</p> <p>園長 岩堀法道</p> <p>〒314・0146 茨城県神栖市平泉2・3・25・1 電話 0299・922・2704</p>	<p>日仏保護常任理事 成田保育園</p> <p>園長 高木正尊</p> <p>〒286・0022 千葉県成田市寺台5660 電話 0476・222・0856</p>	<p>日仏保護常任理事 成田保育園</p> <p>園長 高木正尊</p> <p>〒286・0022 千葉県成田市寺台5660 電話 0476・222・0856</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>

<p>日仏保護審議委員 戸田了達</p> <p>園長 村上天真</p> <p>〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・39022336</p>	<p>日仏保護審議委員 妙福寺保育園</p> <p>園長 光田督良</p> <p>〒206・8511 東京都稲城市坂浜2・3・8 電話 042・350・7212</p>	<p>日仏保護副理事長 天白保育園</p> <p>園長 神野哲州</p> <p>〒468・0056 名古屋市天白区島田3・11・10 電話 052・801・0433</p>	<p>学・本蓮寺学園 初山幼稚園</p> <p>園長 町田順文</p> <p>〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671</p>
<p>日仏保護審議委員 山科幼稚園・西念寺保育園</p> <p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>認定こども園 岩舟幼稚園</p> <p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>学・東京聖徳学園 聖徳大学大学院</p> <p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>学・聖徳大学 聖徳大学短期大学部</p> <p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>
<p>園長 村上天真</p> <p>〒461・0003 名古屋市東区筒井1・7・52 電話 052・9335・2172</p>	<p>園長 森谷大行</p> <p>〒812・0016 福岡市博多区博多駅前3・18・28 電話 092・431・3256</p>	<p>園長 小寺直見</p> <p>〒604・8493 京都市中京区西ノ京南西町22 電話 075・821・0055</p>	<p>園長 月かげみどり</p> <p>〒812・0862 福岡市博多区立花寺2・8・10 電話 092・504・1519</p>
<p>園長 白旗文雄</p> <p>〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879</p>	<p>園長 掘 昌道</p> <p>〒329・4307 栃木県下都賀郡岩舟町静622 電話 0282・55・2154</p>	<p>園長 川並弘純</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>	<p>園長 浦田裕人</p> <p>〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話 075・821・5010</p>



事務局日誌

- 7/1 「仏教保育カリキュラム」編集会議
事務局会
- 7/9 こどものくに「たんぼぼ版」編集会議
こどものくに「ちゅーりっぷ版」編集会議
- 7/17 こどものくに「ひまわり版」編集会議
- 7/22～23 第87回夏期仏教保育講習会

夏祭り

暑い夏がやって来ました。この夏も、また日本の各地で様々な祭りが催されています。

「祭」は「まつらふこと」「まつらう」とは、神様に謹仕する、奉仕するという意味で、そもその祭りに「神をお迎えし、お供え物を奉り、人の暮らしを守ってもらふ」という意味合いがあるとのこと。地域の祭りは代々受け継がれてきた「生きた伝承」であり、人々の生活には欠かせない大切なものといえます。

しかし地方では少子高齢化で神輿をかつげない事由もあり、衰退している傾向にある一方、本来その地に住む人々のため祭りが、華やかな神輿渡御の行列や風流な形式などを取り入れて、見せる美しさを意識した祭りもあり、次第に祭りは地域の人のものから、地域外の人に見られる存在となり、観光対象としての性格をもつようになって来ました。

今、日本を代表する荘厳な祭りや壮大な祭りには、何十万もの観光客が訪れています。

でも「おらが村の祭りが日本一」。それぞれの祭りには由緒があります。この夏、日本各地で行われる小さな祭りも味わい深いものと思われまふ。それぞれの気候風土の中で育まれた唯一無二の文化に触れることができます。暑い中、麦わら帽子をかぶって出かけてみませんか。

編集後記

■参議院選挙も終わり、面白い名前の党が議席を得た。「N国」で世間話を通じるほどメディアに取り上げられ、正直、目的の良くわからない党派結成にまで話が進捗した。その中で「ワン・イシュー」という言葉を耳にすることが多かった。「Single Issue Politics」の別名として「シングルイシュー」とか「ワンイシュー」と呼ばれている。すなわち、「問題点や論点が一つしかない」政治活動や、その他の活動、議論などのことを言うそうである。

■一つの論点だけが生活や社会のすべてではないことはもちろんである。しかし一つの論点や問題が、色々な課題を連鎖させる力や働きがあることも事実だ。波及的な新たな課題や論点が生まれることとか、思ってもみない広がりが出てくるとか……

■これ、子どものあそびに似ている。子ども達がひとつのあそびに「熱中」「集中」することが、新たな気づきや、工夫や、協働といった学びにつながっていくことと少し似ている。きな臭い大人の世界ですら「ワンイシュー」を立てることは、そこに真実に向かうとする方向性をはらんでいる。その事においてのみ、本来的な「あそび」の構造や発展と似ているように思う。そしてそれは「あそび」というものが子どもを真実に導く力があることの証でもある。もちろん、構造が似ているだけで、問題や論点が正しいかどうかは別問題である。

(五島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おざとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2x26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

9
September

伝えよう 生命の尊さ ほどけの心

公益社団法人 日本仏教保育協会 創立90周年記念式典開催

令和元年11月18日(月) 午後5時より

すでにご案内申し上げたとおり、日本仏教保育協会(日仏保)は創立90周年記念式典を開催いたします。

昭和4年、昭和天皇即位の御大典の記念事業として仏教系の幼稚園・保育園が一体となった組織として、宗派を問わず多くの仏教者によって設立されてから今年で90周年を迎えました。

昭和10年に仏教保育協会保母養成所を開設(現・こども教育宝仙大学)し、昭和44年には当時の文部省より社団法人の認可、さらに平成24年には内閣府より公益社団法人の認可を受け、創立以来、順調に発展してきました。これもひとえに諸先生方のご尽力の賜、また関係者の皆様の暖かいご支援とご指導の賜と改めて感謝申し上げます。

日仏保は、我が国の幼児保育の振興に寄与する最も歴史の長い団体として、『生命尊重の保育の確立と心の

教育の推進』に努めてまいりました。今後も仏教保育にかかわる調査・研究、教職員教育、仏教保育教材の編集・刊行、関係団体との連携、保育制度対策の活動、国際交流・社会貢献の実践など幅広く取り組んでまいります。

幼児教育・保育の無償化

が始まり、保育界は転換期を迎えようとしています。時代の変化に対応しながらも『生命尊重の保育推進』を基本目的とし、100周年、150周年に向けて事業を推進してまいります。記念式典への皆様のご参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人日本仏教保育協会

創立九十周年記念式典

日時・令和元年十一月十八日(月)

午後五時より

会場・東京プリンスホテル二階

「プロビデンスホール」

東京都港区芝公園三三三

会費二二万円

ご案内に同封の返信ハガキにて、出欠席をお知らせください。

尚、十月二十日までに投函くださいますようお願い申し上げます。

第87回夏期仏教保育講習会

主催／公益社団法人日本仏教保育協会 共催／東京仏教保育協会
令和元年7月22日・23日 大本山増上寺・光摂殿講堂

2日目

インクルーシブな 保育を考える

こども教育三仙大学こども教育学部准教授
狭山児童発達委員会委員 狭山池田園遊覧員
公財・幼少年教育研究所
「気になる子どもの保育研究会」会長
一社・こどものそと
「気になる子ども支援士代表講師

守 巧先生



守先生は最初に「インクルーシブな保育とは多様性のある子どもを受け入れながらどういう保育を作っていくかという指向性が大事である。」と指摘されました。「子どもはそもそも多様性である。いろいろな個性の子どもも達がいるのを前提としてクラスを作っていくかなければなりません。」と続けられ、「気になる子」の定義として

「細やかな配慮や支援、あるいは観察が必要な子ども」とさす増えて行く。そのような状況下でのインクルーシブな保育の構成要素として、土台は保育者の専門性。土台の上には3つの柱があつて、①子どもの良さと得意に着目する保育、②ひとつの活動にいくつもの目標が設定されている保育、③子どもの邪魔をしないという配慮ができる保育、この柱の上にインクルーシブな保育が乗っている図式を説明しながら、保育者のスキルアップが重要であると述べられました。

さらに静と動の遊びをバランスよく取り入れた環境構成と気になる子の保護者の支援も重要であると述べられました。その後、発達障害の基本的な特性を説明され、スペクトラムの考え方として、定型発達と自閉症は一直線上にあり、境界線はないことを指摘されました。続けて、子どもが気になる行動をする原因としての見解を示され、今後ますます「気になる子」が増える原因として、保護者の愛情不足、経験不足、言葉かけの不足を挙げられ、子育て支援の根本はここにあると力説されました。

次に、気になる子との関係が悪化している時の対処法等を細かく解説され、多様性のある子どもが増える中、同質性を重んじると、子どもの工夫による違いが尊重されなくなることで、同質性にこだわり過ぎないこと、子どもはそれぞれ違うという意識を持つてることが大



出会いに育まれるいのち
公社・日本仏教保育協会常任理事
社会福祉法人保目福祉会理事長
成田保育園園長
高木正尊先生

事であると指摘されました。最後に、保護者への対応について述べられました。「とくに気になる子の気になる保護者で、自分の子どもの状況を受容できていない保護者へは、あまり保育者として頑張らなくてもいい」との説明は先生自身の経験に基づいており、説得力がありました。また、保護者を4つのタイプに分け、それぞれのタイプに応じた対処のしかたをご指導いただきました。いずれのお話も保育者にとって重要なテーマばかりで、会場は一言も漏らすまいとする緊張感が漂っていました。

世の中、思い通りにならないことはたくさんあります。私たちには自分の思い通りにしたいという感情があるものの、それはならない。とした上で、仏教の教えの話になりました。お釈迦様が、この世の中にある自然のすべての姿のありようを示してくれたことを述べられ、「まず『縁起』…すべてのものはつながりの中に生じる。生命はつながりの中に存在すること。次に『無常』…あらゆるものは変化して止まない。すべてのものは移り行くものであること。さらに『無我』…とらわれるべき私がない」という仏教の基本的な話をされました。

続いて椅子座禅のしかたを指導された後、曹洞宗の開祖・道元禅師の言葉から「仏道を習うというのは自己を習うなり」を引用され、これは「知識などで作り上げた自己でなくて、本物の自己はどこにあるのか。それを見出すことが大事である」とのこと。また「自己を習うというのは自己を忘るるなり」。つまり執着から離れること。こうすれば本当の自分自身に出会えることができるということをおわかりやすく説明していただきました。

続いて、慈しみのお経「慈經」

について話がありました。

その後 価値観ゲームを通して、自分の思いを相手に伝えること。相手の意見を尊重すること。お互いの意見を出し合っ

て保育感を共有することなどの大切さを指導されました。一人一人違う子ども達を受け止めて行くには子ども達の特性を理解することが大事であり、それには価値観の相違を認識することが何より重要であると締めくくられました。

最後に人の出会いは「生命の育みのひとつ」と結ばれ、参加された先生方への大きな声援となりました。

子どものこころを育む歌

公財・全国青少年教化協議会研究員

吉水知草先生



「子どもの歌は評価や比較とは無縁のものです。発声のコツを学びながら、子ども達のこころを健やかに育んでいくために大切な心がけについて共に考えていきましょう。」と述べられ、最初に「ヤホホ」という曲を通して発声の練習から講演は始

まりました。歌うために筋肉の使い方や歌う姿勢などを示され、「おへそ」という曲は楽しく歌う歌であることを弾むような声で指導されました。

次の「赤とんぼの曲では、子ども達は先生が歌うひとつひとつの言葉をしっかりと聞いていたので、先生は歌詞を理解し、自分なりに歌のイメージを膨らませることが何より大事であると話されました。

次は「しつてる」という曲です。「この曲は仏教讃歌であり、仏教用語の『薫習』という言葉を用いられ、薫習とは良き香りで満たすこと、お香を炊くと匂いが移るよう

に、良いことをするとそれが移っていくという意味であり、仏教讃歌を歌う意義はここにあり」と説明されました。

また吉水先生が所属されている全国青少年教化協議会が制定した「わたしたちの6つの願い」を紹介され、仏教の優しい教えを保育に活かしてほしいと望まれました。

次に「やまびこっこ」という追っかけっこができる曲です。この曲も先生が楽しい気持ちになつて歌うことが大事と弾んだ声が会場に響き渡りました。

最後に、親の役割と保育者・教育者の役割として「Being」と

は、そのもの自身が尊いということ。「Doing」とは子ども達ができるようになっていくこと。それを手助けするのが保育者であることを話され、忙しい先生方の労をねぎらい、体を大切に頑張ってくださいとの暖かい言葉を贈られて講演は終了しました。

幼児の発育発達と運動遊び

…理論と実践

順天堂大学スポーツ健康科学部主任准教授

鈴木宏哉先生



東京福祉社会保健児童学部助教
順天堂大学協力研究員

宮田洋之先生



鈴木宏哉先生の講演は幼児期運動指針(文部科学省)から話が始まりました。

「幼児は毎日60分運動しなければならぬ」とされているが、最近の子どもたちの様子として、朝なかなか起きられないので朝食が摂れない。血糖値が下

がつて勉強に集中できない。勉強がおもしろくないので、ゲームをする。つい夜更かししてしまふ。また朝起きられない、という負のサイクルに入っている子どもが多い。運動能力も『走る』『跳ぶ』『投げる』といった基本動作が身に付いていなく、今の小学校3・4年生のレベルは20年前の5歳児と同じレベル」とショッキングな話題を提示されました。

ある調査によると、運動している子どもはプールや柔剣道、それにサッカーやテニスなど教室に通うケースが多く、世帯収入が少ない家庭では運動もできないという格差が生じており、鈴木先生たちが取り組まれている運動は、園や家庭などで楽しみながらの運動を提案することであると述べられました。

まとめとして、「子どもの頃に様々な環境で運動を経験することは、運動・スポーツの価値を最大限活かした子どもの成長に有益である。運動の習慣化のために、元気で活動的な大人を育むために『子ども

の頃に多様な環境における多様な運動経験』を推奨していきたい。」と話され、続いて宮田洋之先生による実践運動指導となりました。

体全身を使つてのゲーム形式の運動で会場は一気に盛り上がりました。まず参加者を4つのチームに分け、競争しながらの進行です。

「言うことと逆、やること」というゲームは、宮田先生が「前」と言ったら参加者は「前」と言ったら参加者は「前」と復唱しながら後ろに下がり、先生が「右」と言ったら「左」に動きま

す。次に「言うこと逆、やること一緒」。これは宮田先生が「前」と言ったら、参加者は「後ろ」と言いながら前に動く運動です。思うように体が反応しなく、会場は笑いの渦に包まれました。

その後、新聞紙ボールを使つたゲーム、ラケットでボールを転がすゲーム、台の上に3つボールを並べるゲームなどを指導していただきました。

最後に「遊びを通して運動能力をつけることを意識して、子ども達に接してください。」と結ばれました。

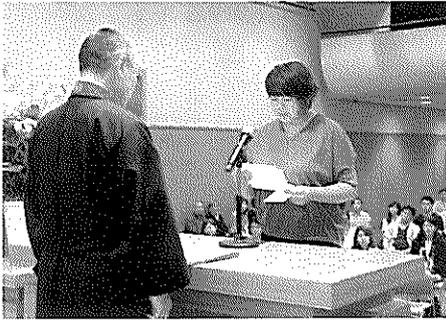


閉講式

閉講式は合掌礼拝から始まりました。

続いて高山理事長は、「参加された皆さん、2日間、お疲れさまでした。皆さんがこの講習会で得た情報はどれも貴重なことだと思えます。ぜひ園に持ち帰って保育に活かしてほしいと思います。また参加できなかった先生方とも共有してもらって、よりよい仏の子のための保育実践を積み重ねていっていただきたいと願っています。熱心に受講していただきありがとうございます。」と挨拶をされました。

次に受講生を代表して、青森県の認定こども園新井田保育園の佐々木栄美子先生に修了書が授与されました。

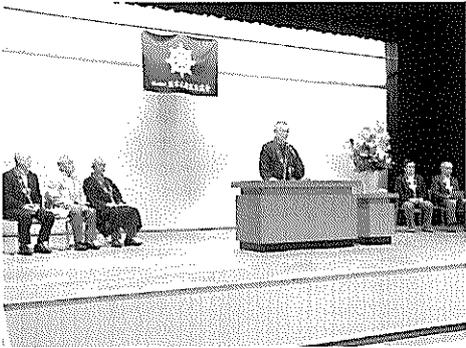


受講生代表謝辞

その後、佐々木栄美子先生から「子どものころを育むことは仏教保育と結びつく大切なポイントと学ぶことができました。これからも仏教保育の実践に努力して行きます。」と謝辞が述べられました。

続いて日本仏教保育協会各種委員会の委嘱状伝達式が行われました。各種委員会の名簿は下記の通りです。

その後、「仏教保育の歌」を斉唱、合掌礼拝と続き、第87回夏期講習会は恙無く終了しました。



各種委員会名簿

■仏教保育カリキュラム編集委員会

- 委員長 高田 道雄 マバナナ幼稚園
- 副委員長 村上 真瑞 建中寺幼稚園
- 委員 戸田 了達 妙福寺保育園
- 佐々 昌樹 まこと幼稚園
- 根本 一弘 中野小鳩幼稚園
- 高輪 真澄 光輪幼稚園
- 福井 徹人 ルンビニー保育園
- 高橋 将雄 沼袋幼稚園
- 小林 研介 呑竜幼稚園
- 水野 義昭 遍照院幼稚園
- 小林 昭寛 言問幼稚園
- 矢野 ひさ子 有松幼稚園

■ほとけの子編集委員会

- 委員長 若盛 正城 まつぶし幼稚園
- 副委員長 二宮 由泰 浄光寺幼稚園
- 委員 早崎 淳晃 帝釈天附属
ルンビニー幼稚園
- 安藤 公敬 城郷幼稚園
- 高木 正尊 成田保育園
- 金子 貴昭 永安寺学園幼稚園
- 井川 展子 北川口幼稚園
- 稲岡 圭慈 西川口幼稚園

■こどものくにひまわり版編集委員会

- 委員長 高輪 真澄 光輪幼稚園
- 副委員長 高橋 正伸 明照幼稚園
- 委員 小林麻衣子 言問幼稚園
- 山口 真五 月映保育園
- 押久保晴彦 月映保育園
- 草柳 尚志 祐天寺附属幼稚園
- 石崎 愛子 わかな保育園
- 下村 美貴 妙福寺保育園

■こどものくにチュウリップ版編集委員会

- 委員長 野上 浩達 八王子ひまわり保育園
- 副委員長 高橋 将雄 沼袋幼稚園
- 委員 児玉 英美 西小松川保育園
- 岩井 真彩 明照幼稚園
- 鈴木 花歩 明照幼稚園
- 藤田 紘子 寿福寺幼稚園
- 井上 直美 金の峯幼稚園
- 丹羽美津恵 あずま幼稚園
- 根津知代子 寿福寺第二幼稚園
- 高橋 礼子 今泉保育園
- 石原 彩生 明福寺ルンビニー学園
- 原田 理奈 明徳幼稚園
- 丸山 たかね 麻布山幼稚園
- 島谷 優里 銀の鈴幼稚園

■教材開発委員会

- 委員長 杉本 育美 光明幼稚園
- 副委員長 安藤 文隆 金の峯幼稚園
- 委員 樋口 明道 鶴の木いまいずみ保育園
- 秋山 由美 光徳保育園



第64回豊山保育連合会 教職員研修大会に参加して

寿福寺第二・第二幼稚園 園長 高山潤照

暦の上では秋とはいえ、残暑厳しい8月21日、22日に茨城県桜川市にある真言宗豊山派の名刹、雨引山薬法寺にて行われた研修に参加させていただきました。開山は587年、かの推古天皇や聖武天皇より大変な信心を受け、821年干ばつを憂いた嵯峨天皇自ら写経せられ降雨を祈られたところ、御願叶い大雨により五穀実ったため、勅命を受けて山号が雨引山となったと言われております。現在は安産子育ての寺として大変有名で、全国よりその祈願を目的に参拝者の絶えない寺院です。

今研修会に於いてはその歴史ある本堂にて開会式を行わせていただき、護摩法要にて参加者並びに参加園の安全を祈願していただきました。

第一講では御山主の川田興聖台下より直々に雨引山薬法寺の由来についてお説きいただき、第二講では広大な境内を参拝しながらご案内いただきました。その後筑波山ホテル青木屋へ移動し、和やかな懇親会を行い他園教職員との交流の輪が広がりました。

二日目はつくば駅方面に移動し、第三講はTOYクリエイターの野出正和先生による「準備のいらないラクラク

工作術」。極めて実践的な技術を学ぶことができました。第四講はすぐ近くにありますJAXA筑波宇宙センターの見学を行いました。わずかな時間ではありますが、厳重な警戒の元、国際宇宙ステーション「きぼう」の運用管制室も見ることができ、大変貴重な経験となりました。

今研修会では歴史に触れ、保育技術を学び、また未来に向かう科学技術の最先端に触れることができ、有意義な研修となりました。感謝申し上げます。



第18回全国真宗保育研修大会

銀の鈴幼稚園 園長 五島 満

7月6日(土)〜7日(日)、308名の参加を得て、石川県金沢市において標記の大会が開催された。ホテル金沢を会場にして、加盟園保育園園児による獅子舞太鼓の出迎えを受け、開会式が行われた。

朝倉益光理事長、本山・藤井宣行参務の挨拶の後、永年勤続表彰と保育功労表彰が行われ、福井県・大野幼稚園の藤兼量氏が代表で謝辞を述べた。

その後、大谷大学学長、木越 康氏により「仏教の視点から育ちを考える」のテーマで基調講演が行われ後、「①チームビルディング」「②子どもの安全」「③幼少期の自然体験学習」「④幼少期の造形活動」「⑤危機管理マネジメント」のテーマ別分科会が行われた。

懇親会では協会制作、第3期子ども歌「ぼくたちこども」の発表、ウクレレライブ、北陸地酒ブースなども出て参加者を楽しませた。

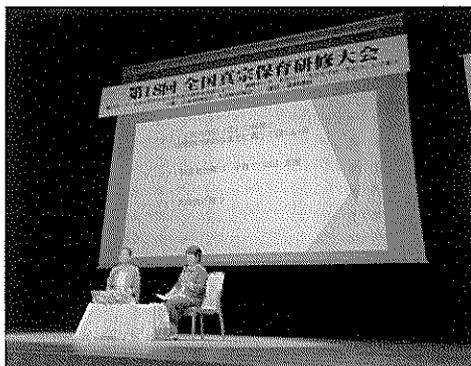
2日目は石川県立音楽堂において「育つ・育む」子どもと親と保育者の素敵な関係」をテーマに、国立青少年教育振興機構理事長の鈴木みゆき氏、幼児教育ジャーナリストの西東桂子氏による対談が行われた。

閉会式では古賀成磨副理事長の挨拶、研修テーマ発表と趣旨説明、最後に次

回開催候補地・大阪支部長、間野功雄氏と今大会の実行委員長、菊田千春氏に拍手が送られ閉会した。



基調講演・木越先生



鈴木みゆき先生と西東桂子先生の対談

浄土真宗本願寺派「まことの保育」 第32回全国保育大会報告

光輪幼稚園 園長 高輪真澄

浄土真宗本願寺派の「まことの保育」第32回全国保育大会が第43回中・四国ブロックまことの保育大学講座を併催して7月27日(土)から28日(日)に広島県福山市の福山ニューキャッスルホテルを会場として開催されました。

備後教区が主催し、参加者は全国から約520名。日仏保からも来賓として日野副理事長が出席されました。開会式ではおまじりの後、ご門主様のお言葉、高輪連盟理事長、大会長などの挨拶があり、永年勤続表彰がありました。

基調講演は広島出身の武蔵野大学学長西本照真師の「みほとけさまのこどもになって」というお話でした。続いて記念講演として京都造形芸術大学文明哲学研究所准教授の齋藤重矢師の「絵筆をもったチンパンジー」絵を描く心の進化と発達」お話しをいただきました。

2日目は法話の後特別講演として広島島の僧侶でありシンガーソングライターをされている二階堂和美師の「こころを耕す仕事」音楽と仏教」

という題でお話しとコンサートがありました。「かくや姫の物語」の主題歌「いのちの記憶」などの歌とお話して楽しいひとときを過ごしました。



第63回仏教保育大学講座

最勝寺みのり保育園 副園長 桑田則行

令和元年8月1日(木)より4日(日)までの3泊4日気温35度をこえる猛暑の京都において「第63回仏教保育大学講座」が開催されました。

本講座は、真宗大谷派・真宗高田派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗出雲路寺派・浄土真宗本願寺派の真宗6派に属する幼稚園・保育園・認定こども園の保育者を対象とした講座であり、今年度は91名の保育者が全国各地から参加しました。

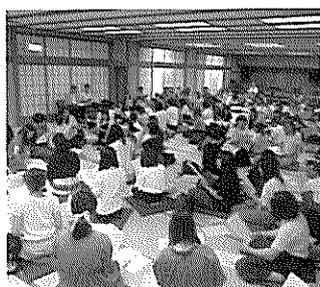
8月1日正午より浄土真宗本願寺派の本山、西本願寺の御影堂において開講式が行われました。その後、会場の龍谷大学において「講座開設のねがい」と題して講義が始まりました。この講座は受講者が各班に分かれ、日頃の悩みや課題を自分の言葉で語り、他者の思いを聞く中で、日々の忙しさに追われ保育するということの本当の意味を見失っている自分自身の姿に気づいていくという「追跡学習方式」で班別討議を中心とした研修が行われます。班別討議では4日間を通して約10時間、全体討議は3.5時間をかけて、自分の保育を振り返り、自分自身の存在そのものについて問い、多くの人やいのち、ものに支えられ生かされていることに

気づき「ともに育ちあう」ということを学んでいきました。

4日間の講座を通して受講者は朋と語り合い、日々の保育の中で人と向き合い、自分を見つめ、自らの人生に目覚めていくことの大切さを感じることができたことと思います。



開講式



全体討議

第45回浄土宗保育全国研修会

玄門寺幼稚園 園長 浅井一朗

令和元年 8月23日・24日の2日間、全国から73名の参加をいただき、金沢市ANAクラウンプラザホテルを会場に第45回浄土宗保育全国研修会が開催されました。

「いのち輝く子どもの未来」―笑顔あふれる保育をめざして―をテーマに、元文部科学大臣・衆議院議員馳浩氏を講師に迎え、「児童虐待防止法について」の題目で、子どもを取り巻く環境の変化、繰り返される深刻な虐待問題について講演いただきました。

ワークショップでは、金沢伝統の水引作り体験。苦戦しながらも水引コサージュの完成。金沢和菓子作りでは、生地から形を整え、季節感豊かに「桔梗」「小菊」の4つに挑戦しました。



講義②は、北陸学院大学子ども教育学科教授・大井佳子氏「遊びが生まれていますか?―乳幼児がモノと対話するとき―」の演題で、子どもの自由な発想、遊びが保証されていますかとの疑問を聞く者に投げかけました。

二日目の講義③は、イタズラ村子ども遊ばせ隊の早川たかし氏「大人にこそ必要な子ども力・遊び力」です。参加者全員が皿回し・けん玉に挑戦し、『大人にこそ遊びの楽しさをもう一度』を皆が実感できる楽しい2日間の研修でした。

埼玉県佛教保育協会研修会

埼玉県佛教保育協会 会長 丹羽義昭
認定こども園あすま幼稚園 園長

7月30日から1泊2日で「夏季研修会」が開催されました。主催は埼玉県佛教保育協会(丹羽義昭会長)。

この研修会は日仏保の「全国仏教保育大会」の開催と重ならない年に行っており、今回は岩手県を訪ねました。

参加者は埼玉県内の幼稚園、保育園の教諭と事務局の44名。貸切バスで県内各所を出発し、東北自動車道で約6時間かけて研修の地に向かいました。

初日に訪問した正法寺(曹洞宗)は日本最大級の茅葺き屋根の法堂を有し、「奥の正法寺」の名で親しまれている寺院です。その広い法堂での座禅体験、ご住職による法話拝聴、そして日仏保の高山久照理事長をお招きしての特別講座が開催されました。

参加された先生方からは、「仏教保育に携わる者として大切なことを改めて教えていただいた。」「今後の保育の中で子どもたちの成長の手助けができた。」「などの意見をいただきました。2日目は毛越寺と中尊寺を拝観し、素晴らしい自然、歴史や仏教の教えなどに触れ、貴重な体験と勉強をすることができました。研修会を通して加盟園先生方の保育

活動の手助けになれるよう、今後とも末永く運営できるように精進したいと思います。



正法寺で座禅体験



高山久照日仏保理事長の特別講座

事務局日誌

静寂の中に

今から二千数百年前、中国春秋時代を生きた老子の言葉は、時代を超えて私たちに多くの生きるヒントを与えてくれています。「心をからっぽにして深い静寂を守るべし」と老子は説いています。雑念を追い払い、無心の先に見えて来るのは「真理」だということ。この「真理とは何か」。すべてのものが生長して、やがて元に戻って来る「自然の摂理」という流れです。

この「自然の摂理」の流れはニーチェの「永遠回帰」の考え方に似ています。ニーチェは著書の中で、良いことも悪いことも巡り巡って元に戻って来る、それでも自分の人生を肯定できるかと問いかけています。

静寂の境地にいたつていれば自分の人生を受け入れられるでしょうが、なかなかそうはいかず、無心になれるものではありません。周りの雑音に耳を傾け、影響も受け、「あの時こうすればよかったと自責の念ばかりの日々です。

暑かった夏が過ぎ、夜が少しずつ長くなり虫の音が快く耳に響くようになつてきました。

作曲家の芥川也寸志が「以前の日本人は静寂の中に、かすかな音を聞き分けていた。現代の私たちは騒音の中で過ごしているのだから、静寂を大事にしなければならぬ」と講演会で語っていたのをふと思い出しました。

老子がいうところの「真理」には到底及びつかないとしても、風の向きや公園の木々、飛び交う鳥などを見て、移行行く季節を微妙に感じる感性を持ちたいものと改めて思います。

編集後記

九州地方を中心に豪雨災害が発生した8月の終わり。自然の動きや気象の変動など、いつ自分の住んでいるところに起こるかかわりません。互いに助け合いながら、災害体験の知見を伝えあつていくことが大切です。心よりお見舞い申し上げます。しかしここ数年の気象の状態は、すこしずつ「四季の国・日本」の様相を変えている気がします。「四季」という季節や気象の流れの中で、文化、価値を育み、そのことが人間の知恵として自然からたくさんの恵みを生み出してきました。その恵みによって私達人間のいのちは支えられてきたのです。自然、特に生活に身近な季節や気象が、私たち人間を作つていくともいえると思います。情報と論理と経済と合理性だけが人間に一番必要なんだと思いつ込んでいくと、自然や環境によつて育てられていることを忘れがちになります。そんな人間の脳が作り出した情報化社会のうえに、自然の猛威、災害が発生すると、「いのちのバランスは、ますます根元からゆがめられていく気がいたします。季節や気象のバランスが崩れていくことは、私たち人間のいのちのバランスに、無意識に、静かに、深く影響しているに違いないと思います。「ゆつくりと移行する心」ではなく「キレやすい心、イライラな心」を醸成しやすくなるのかもしれない。変動しつつある自然環境や気象環境の中で、子どもや保護者や、そして私自身も変化していることを察知し感じ取る必要があります。どんな情操を育てられるかは、幼児教育や保育の大きな課題です。(五 鳥)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ

すずき出版



仏教保育

10
October

伝えよう いのちの尊さ ほとけの心

公益社団法人 日本仏教保育協会 創立90周年記念式典開催 令和元年11月18日(月) 午後5時より

日本仏教保育協会(日仏保)の創立90周年記念式典が近づいてまいりました。

当日の記念式典へは国会議員の先生方や本山関係者の方を含め、およそ150名の方から参加のご連絡を頂戴しております。

昭和4年に設立された日本仏教保育協会は、90周年を迎えました。この間、協会は多くの困難に遭遇しました。

まず、戦争による園の一時閉鎖、戦後の復興期においては多くの保育施設の創設、近年における幼児の減少、認定こども園の創設と、保育界は時代と共に大きな変化を遂げました。しかしその都度、加盟園の努力によつて困難を乗り越え、今日を迎えることができました。10月からは幼児教育・保育の無償化が始まり、保育界は更なる転換期を迎えようとしておりますが、これからも「生命尊重・いかせいのちの保育」を提唱し、仏教保育の推進に努めてまいります。

記念式典では、「90年のあゆみ」と題し、お話と映像で90年の歴史を振り返ります。

また、祝賀会では高野山真言宗保育連盟の全面協力による「ジャズ演奏」を企画しております。

記念式典には多くの方のご参加を、実行委員一同お待ちしております。

公益社団法人日本仏教保育協会
創立九十周年記念式典

【開催日程】

令和元年十一月十八日(月)

午後四時二十分 受付開始

午後五時 記念式典

午後六時 祝賀会

【会場】

東京プリンスホテル 二階

「プロビデンスホール」

東京都港区芝公園三・三・一

電話 ○三・三四三二・二二二

【会費】 二万円

※受付にてお納め下さい。

【記念式典に関する問い合わせ】

公益社団法人日本仏教保育協会

創立九十周年実行委員会

電話 ○三・三四三一・七四七五

報 訃



公益社団法人日本仏教保育協会参務・長谷川正孝先生(愛知・萩野保育園)が、令和元年七月二十八日、ご遷化されました。

長谷川正孝先生は昭和二十二年、駒澤大学を卒業後、總持寺で安居されました。その後、愛知県の松音寺住職に就任、愛知第一宗務所長、愛知専門尼僧堂顧問、總持寺顧

問、嶽山会会長などを歴任され、平成二十三年から總持寺西堂を務められていました。

日仏保では長年副理事長・参務等の要職を就められ、平成14年5月に仏教保育の振興並びに事業推進に大きな貢献のあった個人に顕彰する「仏教保育功労賞」が贈られました。

茲に、生前のご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

公益社団法人日本仏教保育協会 理事長 高山久照 社員一同

長谷川正孝先生を偲ぶ

天白保育園 園長 神野哲州

去る七月二十八日、日本仏教保育協会参務・名古屋市萩野保育園前園長長谷川正孝先生が九十五歳を一期にご遷化されました。生前のご指導ご厚情に深く感謝

ば誰もが「協力したくなる」、「ついていけば大丈夫」という気持ちになる方です。改めて言えば、「人を信じる」とこと「決断力」をお持ちだったと思っています。

昭和五十四年に先生は私の勤務する曹洞宗の布教機関に上司として赴任されます。ところが、私は寺の保育園長を引き継ぐことになり辞すことになりましたが、布教活動の魅力も知り、職に未練もある私は先生をお尋ねします。先生の結論は「また、機会がある」です。その通りで、「今すべきことは何か」と問われたのです。

その後、先生は名古屋市の民間保育園連盟の会長に就任され、園児の不足する園には「うちの園児を回す」とか、「定員割れは困る」、「一か園もつぶさない」などと発言されているとお聞きしましたが、先生らしいと思います。

再会は「第二十三回仏教保育愛知大会」(平成六年)です。開催が決まるとすぐに連絡をいただき、イベント担当といわれました。パイプオルガンを使った法要、有名歌手の仏教讃歌と合唱、新曲「みんなの手と手」、仲間と自由に企画させていただきました。

した。企画案が膨らむたびに知り合いのご寺院・会社等に協力を依頼されたことでしょ、感謝しかありません。

檀家さんに先生と軍隊生活を共にされたという方がいます。その方の話では、先生は主計局にしながら「そろばんが苦手」で、いつも筆算で責務を果たされたそうです。全身全霊を込めて任務に当たられるお姿が浮かびます。保育大会も口は出さず、しっかり支えていただいたのです。

八十七才、拜請されて曹洞宗大本山總持寺の住持につぐ西堂職に就かれます。軍隊時代に胸を患われゴルフセットをはずせないのに、坐禅となればそんなそぶりも見せることなくどこまでも「凛」として背筋を伸ばされる老師がそこにいます。

昨年の第三十五回全国仏教保育大会は愛知県で開催しました。先生の為に設けた席は空いたままでしたが、とても喜んでいただけました。

お声は今も脳裏に響いて来ます。大寂靜中、しばし、安らかにお休みいただき、また、声をかけていただきました。お会いする日を楽しみに致しております。

公益財団法人 仏教伝道協会

『ブツダ』紙芝居および釈尊絵伝パズル贈呈式

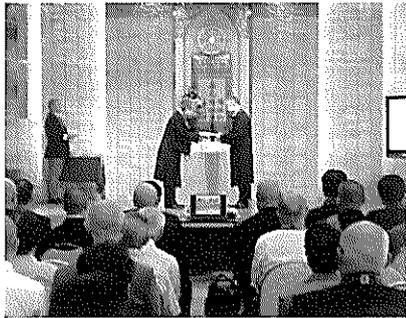
公益社団法人日本仏教保育協会 総務部長 樋口 威道

(公財)仏教伝道協会は、手塚プロダクション監修のもと、世界初の『ブツダ』の紙芝居および釈尊絵伝パズルを作成し、全国の仏教系幼稚園・保育園・認定こども園約2,500施設に無償で寄贈することとなりました。

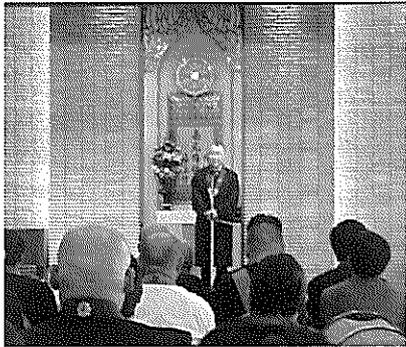
動きに包まれるパフォーマンスショーでした。『ブツダ』の紙芝居と『釈尊絵伝』のジグソーパズルは、仏教伝道協会より各園に配付されますので、ぜひ活用していただきたいとのことでした。

10月1日(火)、これに合わせて、プレスリリースを兼ねたイベントが仏教伝道センタービルにおいて行われました。

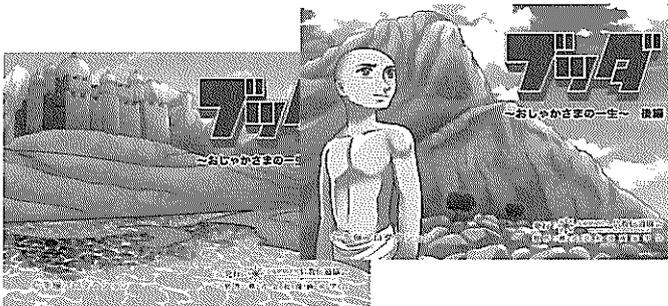
これは、紙芝居『ブツダ』を4名のプロの声優が、舞台のように動きを交えながら読み進めていき、来場者をも巻き込みながら会場全体が感



紙芝居・パズルの贈呈

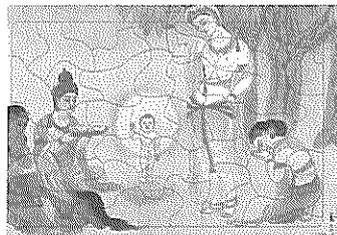


高山理事長の挨拶

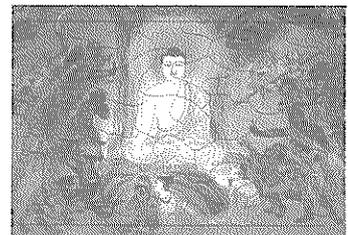


『ブツダ』紙芝居(前編・後編)

【釈尊絵伝パズル】



『降誕』



『成道』



関係者一同

ご連絡ください！

認定こども園への移行等で、園名・所在地の変更はございませんか？

旧園名、旧所在地のままですと、郵便物が届かなくなる可能性がございます。

変更がある場合は、日仏保事務局までFAXにてお知らせください。

日仏保事務局

FAX 03-3431-1519



ご入閣おめでとう！

安倍総理大臣は令和元年9月11日、内閣改造を行い、皇居での認証式を経て、第4次安倍第2次改造内閣を発足させました。

当協会の「仏教保育新興国会議員懇話会」のメンバーからは2名が入閣されました。

お祝い申し上げますとともに、仏教保育の振興に更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

茂木敏充 先生 外務大臣



茂木敏充先生は平成5年7月の第40回衆議院選挙に栃木5区より立候補され、以来、9期連続当選されています。平成11年に通商

産業政務次官、平成15年の第1次小泉第2次改造内閣では当選わずか3回で国務大臣(沖縄・北方、科学技術、IT担当)に就任。その後も衆議院厚生労働委員長、金融・行政改革担当大臣、経済産業大臣、内閣特命担当大臣(経済財政政策)など、歴代の内閣でも重要なポストを歴任されています。

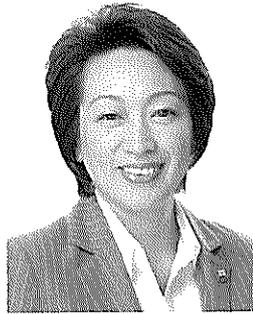
経済再生担当相在任時には「人づくり革命」の一環

として、幼児教育・保育の無償化などを中、心に検討する考えを示されました。仏教保育の振興・発展にも深くご理解されていますので、ますますのご活躍が期待されています。

橋本聖子 先生

東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会担当
女性活躍担当

内閣府特命担当大臣(男女共同参画)



橋本聖子先生は昭和59年より平成8年まで7回のオリンピックに出場(日本人最多出場)され、平成4年のアルペールビル大会において

日本人女性初の銅メダルを獲得されました。

平成7年参議院議員初当選から、今夏の参議院議員選挙で5回目の当選を果たされ、これまで参議院自民党議員会長、外務副大臣などを歴任されています。この度の第4次安倍第2次改造内閣で初入閣となりました。来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックの担当相として、また女性活躍担当相としてのさらなるご活躍が期待されています。

第二十二回理事会・第十六回運営審議委員会

令和二年二月二十一日(火)

受付 午後二時～午後二時三十分

議事 午後二時三十分～午後三時五十分

議案 令和元年度補正予算(案)

令和二年度事業計画(案)

令和二年度収支予算(案)

その他

会場 大本山増上寺 光摂殿講堂

令和元年度第二回仏教保育研修会

令和二年二月二十一日(火)

受付 午後三時三十分～午後四時

研修会 午後四時～午後五時三十分

会場 大本山増上寺 光摂殿講堂

※講師・テーマにつきましては決定次第ご連絡いたします。

新年懇親会

令和二年一月二十一日(火)

受付 午後五時三十分～午後六時

懇親会 午後六時～八時

会場 東京プリンスホテル 二階
「プロビデンスホール」

関西地区連絡協議会

令和二年二月初旬

※決定次第お知らせ致します。

養成機関連絡協議会

令和二年二月二十一日(金)

受付 午後三時三十分～午後四時

協議会 午後四時～六時

懇親会 午後六時～八時

会場 芝パークホテル「アイリス」「アゼリア」

第68回天台保育全国保育大会

兵庫大会報告

言問幼稚園 園長 小林昭寛

令和初の天台保育連盟全国大会は、8月24日(土)残暑厳しい中、姫路キャッスルグランヴィリオホテルにて開催されました。

開会式での永年勤続者への表彰は、昨今、保育者の処遇を巡る議論が盛んになる中、長期間奉職して下さった方への感謝を表す機会となりました。表彰された方々は、気持ちを新たに保育に取り組んで頂ければ、と思います。

研修講座第一講では、地元兵庫出身の北京オリンピック陸上長距離日本代表である、小林祐梨子氏による講演「人との絆 たすきに込めた想い」を拝聴しました。お話は和やかな華やいだ雰囲気でありましたが、世界を相手に戦ってこられた経験から語られる言葉は、求道者とも言うべき直向さを感じさせました。

続く第二講は、宮大工の西嶋靖尚氏による、「姫路城修復に携わって」と題した講演でした。氏は宮大工の七主流派の一つ、大都流の三十二代当主として、国宝姫路城の修復を始め、全国の文化財社寺の建築、修復に携わってこられ、今なお徒弟制を守り弟子の育成にも精進なさっておられます。その経験に基づいた人間教育の根幹は、日々保育に向き合う我々にとって示唆に富む内容であり、古今を問わず人を育てる大切さを再認識いたしました。

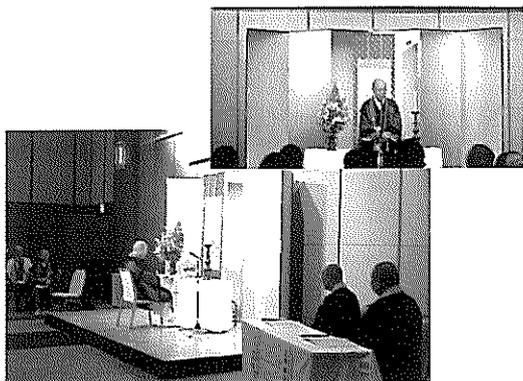
内容の濃い研修を受けた後は、懇親会

での和やかな懇親、各地域との保育情報交換の場となり、大会を締めくくると開会式となりました。

翌日は、残暑厳しい抜けるような青空の下、白壁がより一層眩いばかりの姫路城を、案内ボランティアの方のガイドを受けながら見学しました。随所に散りばめられた宮大工の匠の技を目の当たりにして、文化遺産を護り、次世代へ受け継ぐ事の大切さを改めて実感しました。

今大会では、兵庫教区の諸大徳の皆様、連盟事務局の皆様にご大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

第68回 天台保育連盟全国保育大会 兵庫大会



妙心寺派社会事業従事者研修大会

こども園ゆりかご 川島由里子

今年も全国一、二を争う暑さが続く京都に、各地から保育・教育・養護・介護に携わるものが参集し、本山妙心寺において、社会事業従事者研修大会が例年通り二泊三日の日程で行われた。

先ず開山堂に参拝、調経。続いて開山堂について説明をお聞きする。目の前に開山様が眠っていらつしやること、六八〇年の間一度も消えたことがないという常夜灯のほのかな灯りに、深淵な時の流れと歴史の重みを感じたひと時であった。

その後開会式。続いて宗務総長栗原正雄師の「寄り添うこと」と題した法話を伺った。心正されるお話であった。

一つに、「あなたと私」施設と私」ではなく、「あなたと私」であり「施設の私」であること。一つに、こちらから心を動かしていくこと。(坂村真民の「こちらから」と言う詩を引用されて)。そして仏様へもこちらから近づいていこう。どんなに喜ばれることであろう。自分の中にある仏の心にも自分から近づいていこうと話された。そうありたいと一同あらためて思ったことである。

2日目は、ロボットのマツコロイドや京都高台寺のアンドロイド観音製作に関わられた小川浩平氏(大阪大学)の講演をお聞きした。

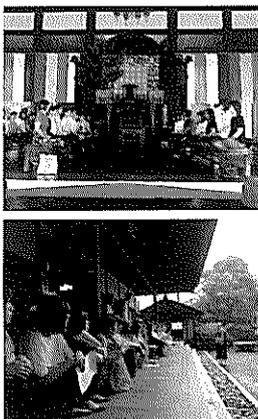
・ロボットは人と技術のインターフェイスになり得るか?
・ロボットは人に寄り添う能力を持ち得るか?
・そもそも人と密に関わる部分にロボット

を活用してもよいか?

この3点を中心に興味深い内容で自分の考えを展開された。すべてに明確な答えがあるとは言えないが、私たちが考える以上に、ロボットの研究は進んでいることをお教え頂いた。最後に、完全自立型アンドロイドロボットのエリカ(女性)の映像を見せて頂いた。生身の人間と応答的なやりとりを行う見事なロボットであった。

午後からは京都市北部に位置する鞍馬寺に参拝。副管主信樂香爾師より鞍馬寺の由来についても触れながら法話をいただき、その後拝観。学芸員の方の丁寧な説明を伺った。鬱蒼とした深山の生気に触れ心が洗われた半日であった。

最終日。大阪総合保育大学学長・大友美香氏の「子どもたちの育ちと学びを捉えた幼児教育を考える」と題した講演で3日間の研修は締め括られた。子どもたちが、自分の人生を主役として生きていく暮らしを、子どもと一緒に創っていく喜びを改めて感じた時間であった。3日間の学びに感謝である。





第57回智山保育大会

智山保育連合会 理事 服部融円

去る七月二十二日(月)、二十三日(火)の二日間にわたり、第五十七回智山保育大会が真言宗智山派大本山川崎大師平間寺にて開催されました。

初日の第一講は、パークッションニストで和太鼓奏者の赤羽拓真先生を講師に迎え、「保育と音楽の関わり」と題してご講演をいただきました。楽器の説明や扱い方、日本と外国の拍の取り方の違い、パークッションとは「たたく」だけでなく、「こする・ふく・ふる」もあることなど、ご自身の体験を交え分かりやすく教えていただきました。最後には紹介していただいた楽器を受講者全員で演奏し、和やかな雰囲気ですべてを終えました。

その後、大本堂へ移動し、藤田御貫首大導師のもと山内僧侶が出仕し大護摩供法要が厳修され、受講者全員で参列させて頂きました。法要後、本堂前にて記念撮影を行いました。二日目は第二講、平間寺教化部寺田信哉師の「彩色仏画」から始まり、十二神将の中から自身の干支を選んで、受講者全員集中して色塗りに励みました。

第三講の法話では「川崎のお大師さま」と題して平間寺教化部長森岡隆紀師にお話を伺いました。お寺の縁起や、戦争の話にはじまり、御詠歌や募金活動、子ど

も達を集めて日曜教室を開くなど、多くの社会活動を行っていることもお話いただきました。最後に師は「お寺の役割とは人々の心を安らかにすること、それは幼児教育においても通じることで、子どもたちにとって先生は初めて触れる社会、先生は子どもにもやさや安心を与えるのが役目である。」と締めくくられました。



閉会式の後、二日間の全日程を無事に終えました。今夏八月二十二日、二十三日に和歌山県高野山において、第三十回高野山真言宗保育大会が開催された。立秋を迎えても、まだまだ暑い山下から、大勢の方々に参加頂いた。日本仏教保育協会の理事長高山久照先生、真言宗智山派保育連合会会長中村信成先生にもご多用の中お越し頂き、盛大に行うことができた。

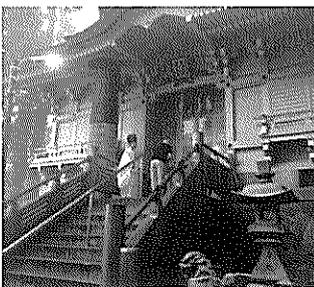
初日は大師教会において高野山真言宗管長・保育連盟総裁葛西光義大僧正様をお迎えし、開会式・物故者追悼会・永年勤続表彰・奥之院参拝を行い、夕刻から会場を龍神温泉に移した。龍神温泉は、その昔、弘法大師が難陀龍王の夢のお告げによって開かれた雄大な自然の中の温泉である。久々に集った参加者と贅沢なひと時を持ちながらも、子どもを取り巻く制度や改革、諸問題の話など有意義な情報交換もできた。二日目は奈良県との県境にそびえる荒神岳に鎮座する雲の上の立里荒神に参拝をした。弘法大師が高野山を開山する際に一枚の板に、三玉荒神を描き、伽藍繁榮、密教守護の誓願をし、壇上伽藍の鬼門に荒神の社を勧進して、入定されるまで月参りをされた所である。今では、高野山と結ぶ神仏習合の宮と

第30回高野山真言宗保育大会

高野山真言宗保育連盟 理事長 山本文雄

なっている。本殿参拝の時だけ雨が止み、神の力さえ感じられた。

二日間を終え、下山すると、そこは日常の音や太陽が照りつける真夏であった。神秘の山々の空気の余韻に浸りながら、二年後の再会を約束し、保育大会を終えた。合掌





第65回日蓮宗保育研修北海道大会

認定こども園 たちばな保育園 園長 横川和克

日蓮宗保育連盟(荒居養雄理事長)は、七月二十七日、二十八日の二日間、『みんなほとけの子』の敬いの心を保育に！の研修テーマのもと、第六十五回保育研修北海道大会を札幌市「定山溪ビューホテル」にて開催。当日は台風により交通機関の乱れもある中、全国より一〇〇名を超える職員等が参加をした。

開会式では理事長導師による法味言上、ご来賓挨拶と続き、その後、永年勤続者への表彰式が行われた。

一日目の記念講演では、恵庭幼稚園園長・井内聖先生が登場。「保育の質から考える働き方改革」と題して、教育の質を向上させるために教師の質を向上させること、そのためには仕事の時間と内容を見直し、専門性を突き詰めていくことが大切と話された。

大会二日目は、広教寺副住職・下森孝俊上人による晨朝法話「仏教で心を耕そう」が行われ、心の田んぼに仏の種を植え、それを耕し大白蓮華を咲かせるため、一人ひとりが菩薩様としての自覚を持った保育者になって欲しいと話された。

次に帯広大谷短期大学教授・滝澤真毅先生による「対話的な保育の中で育つ子どもたち」と題した記念講演では、

保育は子どもを思い通りに動かすことではなく、対等に対話をする事で、子どもから湧き出てくるアイデアをどんどん引き出し、受けとめてあげることが大切と話された。

晨朝法話・記念講演と平行して、別室では今年度の定例総会が開催された。閉会式では、参加者を代表して愛媛県立正保育園岡崎喜代美先生から謝辞があり、本大会は無事閉会をした。



北海道仏教保育研修小樽大会

厚別幼稚園 副園長 横湯千重子

7月27日(土)・28日(日)に本願寺小樽別院を会場に140名の参加者の中、第36回北海道仏教保育研修小樽大会が「いのちの輝きを」のテーマで開催されました。

開会式のと、基調講演①京都大学特任教授のカール・ベッカー氏より『保育に仏教は必要なのか』を議題に小さい時から慈悲と智慧を育てよう。医学からみた仏教や保育を具体例を出しながら、いのちの教育、心の教育の大切さをお話しくださいました。

続いて基調講演②として、「はなちゃんのみそ汁」のはなちゃんのお父さんでもある西日本新聞社の安武信吾氏に『あなたは子どもに何を遺せますか』の講題でお話をいただきました。食べることがは生きること、お弁当の日の実践や食の大切さを伝えていただきました。

その後、朝里クラッセホテルに場所を変え、懇親会が行われました。小樽銘菓「マロンコロン」の歌を唄っている柿本七恵さんのライブ、ビンゴゲームで盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

2日目は日本仏教保育協会理事長・高山久照師の法話で始まりました。講題は『共に生きる』で私たちの存在は

一人では成り立たない、共生の大切さをお話しいただきました。

最後に朗読塾・チームいちばん星により朗読劇『いのちをいただく』では、たくさん命をいただいで生かされている私であることと皆さんの心に響いたことでしょう。

命の大切さ、命を頂いていること、他の関わりの中で存在すること、食を通じて深く学んだ2日間でした。



朗読劇『いのちをいただく』の場面



事務局日誌

9 / 9 創立90周年実行委員会
「仏教保育カリキュラム」
「仏教保育」編集会議
事務局会

9 / 18 こどものくに「たんぼぼ版」編集会議

天高く馬肥ゆる秋

「天高く馬肥ゆる秋」。現代では、秋は空が高く澄み渡り、気候もよくて、食べ物も美味しく、ついつい食べ過ぎて太ってしまふ、というような爽りの秋を表現する意味でよく使われています。

この「馬肥ゆる」とは、馬の親子が草原で草を食んでいるような牧歌的なイメージがありますが、実は、中国では古来から恐れられていた「匈奴」を意味しています。

匈奴とは中国の秦・漢時代にモンゴル高原を中心に活躍した遊牧騎馬民族で、秦の始皇帝はその匈奴から国を守るために万里の長城を築きました。

「天高く馬肥ゆる秋」という言葉は、漢語の「秋高馬肥」が語源であり、漢書の「匈奴伝」が最初の出典だといわれています。秋になると匈奴が襲ってくるので、備えをしなければならぬ、という危機意識を高めるための言葉でした。

詩人・杜甫(とほ)の祖父である杜審言(としんげん)が中国北西部の辺境の守りについていた友人に送った手紙の一節「雲淨妖星秋高塞馬肥(雲浄くして妖星落ち、秋高くして塞馬肥ゆ)」が有名となり、「天高く馬肥ゆる秋」として広く世間に広まったといつて過言ではありません。

現代で使われている言葉の意味とはあまりにもかけ離れ、意外な由来がありました。「天高く」と表現される秋の空。仕事に追われ空を見上げる機会などなかなかないかと思いますが、たまには清々しい青空を見上げて、一度立ち止まるような、そんな時間があってもいいかもしれません。

編集後記

■幼児教育と保育の無償化がいよいよ始まりました。始まったとは言え、特に私学助成幼稚園では市区町村とのやりとりで課題も新たに出てきています。保育料に対する給付にしても償還型、代理受給型の2種類が実施されますが、「無償化の制度の良さを実感できるのは法定代理受領」という声がある反面、「償還型が当然で、保育料という教育的経費は、一度は保護者が払うべき」という私学ならではの理念重視とも言える声も聞かれます。これは保護者負担軽減、機会均等に対する考え方も、もつと違うなら子育てへの考え方、価値観の違いとも思えます。■また預かり保育等の無償化に伴う「新2号認定」の新設、保育所無償化に伴う通常の2号、3号認定の増加傾向が予想される中、待機児の増加の不安と、無償化に対する批判的な声もあがっています。■それはただの批判にとどまらず、若い保護者達が、状況を冷静に分析し、自分たち家族がどのような選択や行動をするべきかを真剣に考えている様子が伝わってきます。■本来の目的を今一度確かめ、子育て支援のために使いやすい制度となるように、私たち現場の人間が市区町村と密に連携する必要性を感じます。(五島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ

すずき出版

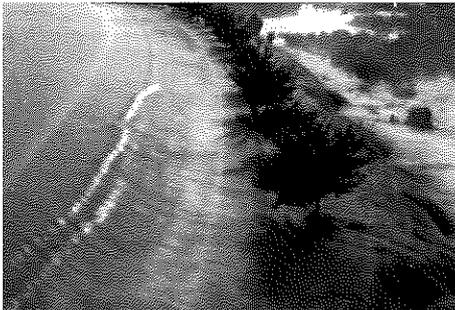
仏教保育

11
November

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけ の心



台風19号により氾濫した阿武隈川流域
(福島県玉川村と矢吹村境界付近)



台風19号により堤防が決壊した千曲川
(長野県穂保地区)

一日も早い復興を 心よりお祈り申し上げます

はじめに、台風15号、19号、21号の北上に伴う豪雨によって犠牲となられた方々に衷心より哀悼の意を表し、今もなお困難な生活を強いられている皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。また重軽傷を負われた方々の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

9月5日に発生した台風15号は関東地方に上陸したものであるとして観測史上最強の勢力で9月9日午前3時頃、静岡県付近に上陸し、千葉県を中心に甚大な被害が出ました。総務省消防庁災害対策室の10月4日の発表によりますと、東京都で死者1名、埼玉県と千葉県、神奈川県、茨城県等、1都6県で150人が重軽傷を負っています。

この台風により千葉県では送電塔や電柱が倒壊し、その後の復旧に時間を要したことで、停電は異例の長期に及びました。被災された方々の復旧もなかなか進まず、そのご苦労はいかばかりかとご推察申し上げます。

まだ台風15号による傷跡が残る10月12日、猛烈な勢力に発達した台風19号は勢力を維持したまま、静岡県伊豆半島に上陸しました。台風19号の接近により、関東甲信地方や東北地方では、降水量が観測史上1位を更新するなど、記録的な大雨に見舞われ、13都県に大雨特別警報が発せられました。阿武隈川、千曲川など多くの河川で堤防が決壊し、大きな被害を出しました。

この台風の影響で、洪水や土砂に襲われて亡くなった方が続出しました。10月30日現在で、92人の方の死亡が確認されています。いまだ行方不明の方も多

く、心が痛みます。政府は台風19号の被害に対し、激甚災害、特定非常災害、大規模災害復興法の非常災害の適用を行いました。早急の復興を望まざるにはられません。さらに追い打ちをかけるように、台風15号や19号の爪痕が大きく残る中、10月25日、台風21号が日本の東を北上したことで、関東や東北地方などを中心に記録的な大雨となりました。この続いて起きた大規模な災害に「自分の命、大切な人を守るための行動」をとるよう気象庁は呼びかけました。多くの方々が「命の危険」を感じられたと思います。地球の環境は、今まで経験したことがない新たな時代に入っていることを感じました。当協会では「生命尊重」の理念に基づき、災害救援や人道的支援等、緊急且つ迅速に対応しております。今回の災害にあたり、義援金として、(公財)全日本仏教会の「救済基金」に寄託し、被災地への復興支援を行います。



**被害状況調査に
ご協力を！**

この度の、台風・豪雨により日本列島は甚大な被害に見舞われました。また、加盟園のなかにも被害を受けた園があると報告を受けております。心より、御見舞申し上げます。

日仏保と致しましては、加盟園の台風関連被害状況を調査いたしたく、アンケートの御協力をお願いいたします。

今回は、被災地域が広範囲であること、風水被害のみならず、交通やその他のインフラへの被害があり、影響を受けた園もあつたと存じます。園内施設その他について被害が発生されました園におかれましては、下記報告書に被害状況をご記入の上、12月15日までにFAXにてご送付ください。

令和元年台風・豪雨被害状況報告書

令和元年 月 日記入

園名 _____

所在地 _____

記入者名 _____

連絡先 T E L _____

下記の項目に、具体的にご記入ください。

(1)物的被害 (建物損壊等)	有・無	
(2)断水	有・無	※「有」の場合、その対応・期間並びに復旧時期等
(3)停電	有・無	※「有」の場合、その対応・期間並びに復旧時期等
(4)休園	有・無	※「有」の場合、休園期間と開園時期等
(5)その他の状況	有・無	

送付先 FAX03-3431-1519



日本仏教教育学会

第28回学術大会

令和元年10月26日 大正大学巣鴨キャンパス

日本仏教教育学会第28回学術大会が、10月26日(土)、大正大学巣鴨キャンパスで開催されました。日本仏教教育学会は、仏教と教育に関わる人々の交流と学術研究の発展と向上をはかることを目的としており、今回は「僧侶教育と修行」「仏教思想と哲学」「宗教教育方の試み」「道德教育といのちの教育」のテーマで研究発表が行われました。「道德教育といのちの教育」の中で、佐藤達全先生が発表されたレジュメを掲載いたします。

「いのち教育」に対する 学校教育と仏教教育(保育)

育英短期大学 佐藤達全

はじめに

(現代日本の問題点)

私たちの「いのち」が誰にとっても「ひとつ」しかない尊いものであることは、改めて言うまでもない。それ故、「自分のいのち」も自分以外の「いのち」も大切に「育む」

とが教育の基本とされたのは当然で、日本は世界で最も「安全な国」と評価されているのである。

ところが、最近の日本はこれまでの評価が覆されかねない残忍で理不尽な事件(殺人や傷害)が多発しているのではないだろうか。そして、その背景には日本人の「いのち」に対する意識の変化があるように思われる。

近年の 日本社会の変化

日本人の意識形成には義務教育が大きな役割を果たしてきたが、その際に「学校で教える内容」だけでなく、家庭生活や地域の人々との関わりなどの子どもを取り巻く環境も、学校における教育活動の補完に大きな役割を果たしたはずである。

しかし、近年の日本は都市化や核家族化や共働化が急速に進み、子どもを取り巻く環境が一変した。その結果、出産(誕生)や臨終(死)といった人生の大きな「できごと」が生活圏から隔離され、「いのち」に対する意識も大きく変化したのではないか。

小中学校における 「いのち教育」の問題点

このような変化の中で、小中学校における「いのち」に対する指導が十分に行われてきたであろうか。「いのち」は、私たち一人ひとりが「生まれてから死ぬまで」に与えられた「時間」と言いかえることができる。自分の「死ぬ時」を前もって知ることはできないのだから、

一日一日を精一杯に生きることが当然であるが、そこには、「人は必ず死ぬ」「いつ死ぬかはわからない」という認識が不可欠なはずである。それにもかかわらず、これまでの学習指導要領では「生きている」という現実にはばかり目を向けて「いのちを大切に」する教育を行っていたように思えてならない。

幼児期における 仏教教育の必要性

このような状況を改善するには、仏教の生命観をよりどころにする必要がある。仏教の生命観は「諸行無常」「四苦」等に示されるように「この世に生まれた「いのち」は必ず死ぬ」ことを大前提にしているからである。

今、私たちに必要なものは「死を見すえた生命尊重教育」で、仏教保育にはそのヒントが山ほどある。もちろん、幼児に不安感や恐怖心を抱かせないことは言うまでもない。そこで、仏教教育(保育)が果たすべき役割について発表してみたい。

〈発表レジュメより〉

菩提樹学園の近況報告

(公財) 国際仏教興隆協会・事務局 大工原 彌太郎

菩提樹学園は今年3月の年長組の卒園を最後として、今まで続けてきた3年保育から2年保育に完全移行し、カリキュラムを改定しました。

インドの小学校入学年齢は5歳なので、従来の菩提樹学園の3年保育では卒園時点で同年齢の児童たちは既に1年生を終業。おまけに従来はイギリス植民地時代の名残の「飛び級」制度を利用できたため、実力を蓄え、その気にさせなれば一発勝負で何年生にもなれたのですが、モディ政権発足直後に飛び級制廃止・実績学齢への完全移行が実施され、学問はインドで貧困から身を立てる早道という共通認識が定着した近年の激化する学力競争上、この1年間のギャップは大きなハンディとなったのです。

菩提樹学園は、名目上は保育園ではありませんが、実際面から云えば、子どもたちの将来のため、インドで一般的な就学前教育の場であることが相応しいのです。これが幼児労働(チャイルドレイバー)まで生活に組み込まれ『一生のうちで勉強の機会を与えられたのは菩提樹学園に通えた時期だけ』という人たちが、階層、経済的社會に囲まれた菩提樹学園に託されている現実です。

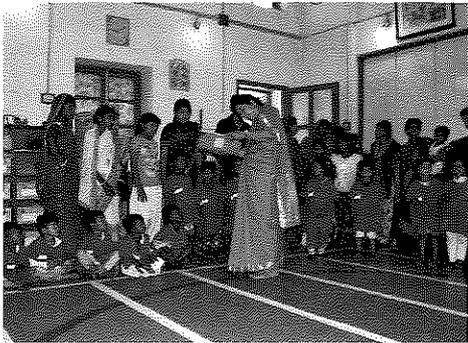
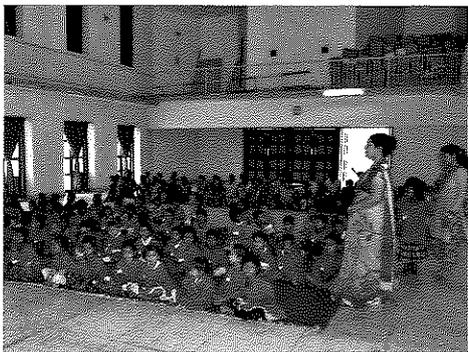
そんな社會でも、運よく子どもたちが将来を切り開くことのできたときの勉学に備えて、インドの学制に適合する必要も考慮して求められたカリキュラム改革でした。

そこで日本仏教保育協会ご承認のもと、平成29年新入生から2年保育のカリキュラム

を実施しましたが、ひとくちにカリキュラム改定と言うは易し、前年からの教師研修かつ新カリ導入年度には旧来の3年保育の年中組・年長組、また30年度には新カリキュラム1年・2年と旧カリキュラム年長組が混在することとなり、監督側・現場教師とも混乱回避に必死の思いの3年間でした。

を

新しく導入したカリキュラムはインド政府の制定したI



2019年度入園式(上)と教室での風景(下)

CDS=Integrated Child Development Services=幼児教育統合プログラムに準拠しています。これは0歳から小学校入学までを対象に、インド政府が1986年に策定した内容で、「保育」に加え「基礎的な読み・書き・計算」を就学前に「教育」というものです。このICDSは、これもインド政府が1992年に旧ICDSを修正したNPE=National Policy on Educationに連動するもので、このNPE制定を機にインドの教育は「公立私立を問わず、幼児から大学レベルまで国際レベルに伍する内容であるIB(国

際バカロレア)カリキュラム導入の勸奨)がなされました。IBとは、アメリカ・カナダ・エクアドル・インド・オーストラリア・イギリス・メキシコ・中国・スペイン・ドイツ相互間でのカリキュラム認定システムで、大雑把にいえば、それらの国の教育機関であれそれまでの学齢・内容をもとに転入や入学の資格を認め合う、というものです。インドの政權が資本主義経済推進に本格的に舵を切り、安定成長の道筋に乗せた極貧家庭出身のマンモハン・シン首相の登場以来『学ぶことのみが貧困からの脱却手段』とばかり、公立・私立を問わずIBカリキュラムの導入校が全インドレベルで増え、外国を視野に入れた内容に仕立て上げられてきた経緯があります。

果して、この変革が定着しはじめ、各教育機関でのレベルさえ維持できれば、タテ社會にもヨコ社會にもステップできる可能性があるだけに、旧植民地式ははじめ様々な宗教原理の

とバラバラに、しかし「調教的」であることだけは一致して進められた結果とくに低年齢教育での異同が顕著だった従来の教育の偏り、国際的にも知られたインドの階層格差の解消に益すると思われま。

菩提樹学園に視点を移せば、洗練されたモンテッソーリ教育を長年にわたって実践してきただけに周囲を一步リードしている観があります。知られているように、バカロレア思想とモンテッソーリは思想面とりわけ幼児教育の段階に於て通底するものがあり、いざバカロレアカリキュラムの導入とは云え、実際面で考慮すべきはバカロレアで求められるスコア・レベルだけでしたから、要するに菩提樹学園ではICDS指標に従ってシラバスの変更(履修分科・教科分け)をするだけで済ませることができたのは有難いことでした。

「べんきょう」面が強調されるのは子どもたちにとつて災難だったでしょうけれども、実際に新カリキュラム実施2年を



授業風景

経過してみても何よりも強力な助けだったのは、子どもたちのやる気、「もっと知りたい」、「もっと勉強したい」、「認められたい」の熱気でした。

シラバスの観点からは先生側にも得意と不得意、適・不適があるため、従来の年間クラス専任担当システムから新カリキュラムの教科(シラバス)担当で受け持ちを廻され、違う教室に入る度に頭の切り替えを強いられた先生たちにとつては予想外の試練でしたけれども、今になってみれば新・旧カリクラス平存だった2年間が良い刺激になったようで、新・旧カリキュラム組が同時卒園かつ全児童が無事地域小

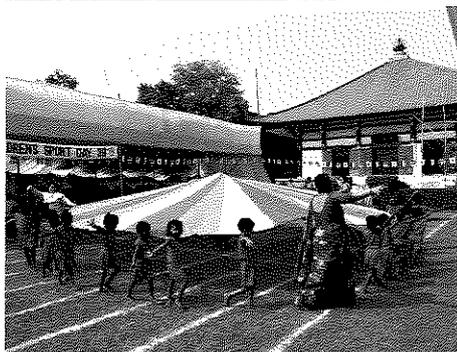
学校に進めて定着を確かめられた今年夏休み明けに「ようやくホッとできた。」との感想がソバー先生から寄せられました。

ただ、菩提樹学園の外に眼を移せば、菩提樹学園の通園区域であるブツダガヤ人口も菩提樹学園が開園した1970年代は3,800人あまり。それが先の中間国勢調査(バイセンサス)では全インド人口の急騰総数と連動するように4万人を越えました。開園から半世紀近くたてば肯ける人口増ですが、機構的にも行政的にも議会と政府が連動しないインドの、それも経済発展の見込みから見放されたブツダガヤの村落では、乳離れからハイハイ期が終わって歩けさえすれば何らかの働き手と認識されるのが現実。親や家庭のサポートなどあり得ないこと。ますます弱肉強食が横行している現状があり、自分の力で生き抜いていく力をつけなければなりません。

私たちとしては送り出す子

どもたちのひたすらの健康と強いフィジカル、精神力、そのための人間らしい食事や健康を願うばかり。

それには子どもたちを生み出す貧しく旧態已然のムラ社会に縛られている保護者たちの協力が必須で、菩提樹学園



2019年10月運動会の様子

にとつて保護者たちへの健全な育児教育と栄養・健康啓蒙こそ喫緊の課題と認識、教室での教育とはまた別の意味での気を引き締めているところです。今後ともよろしくご支援のほど、お願い申し上げます。



事務局日誌

10 / 8 仏教保育カリキュラム企画委員会
「仏教保育カリキュラム」編集会議
事務局会

10 / 23 創立90周年実行委員会

異常気象に思う

9月、10月の短い間に、二つの台風と豪雨により日本列島に甚大な被害が生じました。謹んで犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。また被災された方々にお見舞い申し上げます。

なぜ、私たちの生命を脅かすような猛烈な台風が立て続けに接近するのか、その要因のひとつとして、気象庁は、台風の発生海域の海面水温が30℃以上あること、また日本のすぐ南の海面水温も27℃以上あり、平年より1℃から2℃高く、エネルギー源となる水蒸気を多く取り込んだことを挙げています。

この夏、フランスのパリでは、42・6℃と気象観測史上最高の気温を記録するなど、海外でも多くの災害が報告されました。

温暖化によって地球の平均気温は産業革命前から、すでに1℃上昇しているそうです。すべての現象が温暖化と決めつけるのは早計だとしても、平均気温が1℃上昇すると水蒸気量が7%くらい増えるといわれています。単純に考えても雨の量がそれだけ増えることとなります。

今後、環境整備はもちろんのこと、私たちひとりひとりが温暖化の要因といわれる二酸化炭素等の排出量制限に対して真剣に取り組まなければならないことを思い知りました。

編集後記

■先日、八千草薫さんが亡くなられました。1977年の山田太一さんのテレビドラマ「岸辺のアルバム」に出演されていたのを思い出しました。■1974年の多摩川水害がテーマとなった、その裏に「アルバム」に象徴される家族の虚しさが描かれた作品でした。■10月12日の台風19号で私の幼稚園の地域も、多摩川やその支流が氾濫し、在園児のご自宅が浸水しました。住む家を追われてしまったご家族もいました。■テレビで台風激甚災害の指定が放映される裏で、八千草さんのニュースが流れ、頭の中がシンクロナし、思うように支援できない自分を、社会をもどかしく感じます。■日仏保も創立90周年を迎えます。長い歴史の中で、地震や台風のような自然災害が幾度か発災し、そのたびに皆で力を合わせて、子ども達や家族を励まし合ってきた、そんな歴史があったに違いありません。追悼し憶念し、その歴史を振り返る大切な機会です。

(五 島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315門)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しさを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

◎おたんじょう(12場面)◎四つの門(13場面)◎おさと(16場面)◎ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子でも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

12
December

伝えよう いのちの尊さ ほどけの心

公益社団法人 日本仏教保育協会 創立90周年記念式典 祝賀会開催

令和元年11月18日 / 東京プリンスホテル「プロビデンスホール」



八木季生名誉会長



高山久照理事長



創成期の日仏保を話された
佐藤成道先生



記念式典司会
杉本育美先生

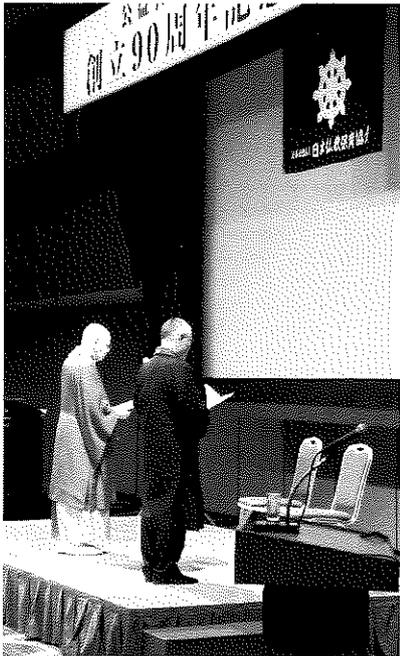
未来を担う「仏の子」を育てるため
次の100周年に向け仏教保育の充実を誓う！



令和元年11月18日(月)午後
5時より、東京プリンスホテル
「プロビデンスホール」におい
て、公益社団法人日本仏教保
育協会創立90周年記念式典を
開催いたしました。

記念式典

司会の杉本育美先生(東京・
光明幼稚園)による開式の辞に
つづき、日本仏教保育協会名誉
会長・大本山増上寺御法主八木
季生台下を会場にお迎えいたし
ました。続いて、日仏保の歴史に
ついて研究されてきた佐藤成道
先生より「創成期の日仏保」と題
し、日仏保発足当時についてお
話いただきました。
続いて、八木季生名誉会長
導師による三歸依文唱和の後、
「仏教保育の歌」を斉唱いたし
ました。
次いで、これまでの仏教保育
の実践に尽力された諸先達を



偲び、追悼と感謝の念をもって黙祷を捧げ、「追悼の歌」を斉唱いたしました。

次に、八木季生名誉会長よりご垂辞を賜りました。

「本日は、日本仏教保育協会が誕生して、90周年を迎えるという事で、おめでとうございます。私も昭和4年生まれで、今年、卒寿を迎えますので、その慶びも倍増しております。

創立当時は、幼稚園や保育園に通うという習慣がありませんでしたので、諸先生のご苦労は大変なことだったと思います。

終戦後、焦土化した中で、戦争孤児のために保育園を開設したりと、多くの方々が子どものために活躍されています。幼児教育が大事だと認識されたのは昭和30年以降で、その頃から幼稚園や保育園が増え

ました。

現在、日本は経済的に非常に恵まれ、平和と豊かさに満ちていますが、それは幼児教育を受けた人が第一線で活躍しているということが、大変大きな力になっているのではないかと思います。人間形成の元は幼児教育にあります。我が国の平和と豊かさを守るためにも、今後とも皆様のお力添えをいただけます

よう切に念じましてご挨拶に代えさせていただきます。」

続いて、高山久照理事長から次のような挨拶がありました。

「本日は、当協会の90周年記念式典祝賀会に多くの方にご参席をいただき、誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

今回、90周年を迎えるにあたって、日本仏教保育協会の創世記の様子を調査しました。改めて様々な方のご尽力の賜と痛感しております。

日仏保は、昭和44年に当時の文部省から社団法人の認定を受けて、組織の改編が行われました。当協会の事業の内容が極めて公益性が高いことが認められて、平成24年4月1日には内閣府より公益社団法人の認可を受けて現在に至っています。

協会の本格的な活動は、昭和4年からですが、この年に第1回仏教保育夏期講習会が開催されました。今年、第87回を開催しました。

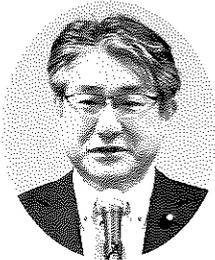
全国仏教保育大会は、昭和25年11月に開催されて以来、昨年愛知大会が第35回という数

を数えております。

海外事業としては、昭和50年9月からの日仏保加盟園による100円玉募金によって、報恩感謝の業として、インドの釈尊浄土の地ブッダガヤに菩提寺学園を建設、以後40年以上に亘って運営の助成を続けさせていただいています。

私も仏教保育者には、今以上に深い智慧と慈悲の心が必要とされていると考えております。今日に至るまでの90年間、歴代の諸先生方のご尽力により、充実した諸事業を通じて仏教保育協会の実績が積み重ねられたことを深く感謝申し上げます。関係各位におかれましては、これからも未来を担う仏の子を育てる仏教保育の充実にお力添えいただくことを、心よりお願い申し上げます。

次いで、来賓を代表して参議院議員(仏教保育振興国會議員懇話会会員)の石田昌宏先生より「日仏保90周年、本当におめでとうございます。90年前は世界大恐慌が起きた年です。そ



石田昌宏参議院議員

れから、世界全体は大戦に向か
つて導かれてしまうという時代
です。その対立の時代が深まる
中、幼稚園と保育園を一緒に考
える、そしてさらに仏教も様々
な宗派がありますが、全体で考
えて行こうという和の精神をベ
ースに作られたということは、
正直驚きではありません。

そして、90年間しっかりと和
をもつて、今のような運営をし
てくださっておられますのは、
未来にとつても素晴らしいこと
だと思っています。

振り返ってみれば、昔は寺子
屋というのがありました。お寺
では、農繁期には子どもを預か
っていたそうです。もしかする
と、お寺ができてから歴史の中
で、子ども達を預かり、最後は
預かるだけではなく、育むとい
うことをやってくださったって
のが、お寺の幼稚園や保育園の
仕組みだったのかなと思ってい



祝賀会司会
樋口威道先生

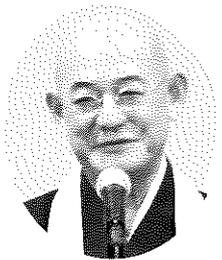
ます。

まさしく仏教保育というの
は、長い歴史の中で、私達の子
どもの教育を担ってくださった
のであり、次の100年と言わ
ずに、これからもずっと発展し
ていただきたいと願っておりま
す。私も微力ながら、今後も協
力を続けさせていただきたいと
思います。」と、祝辞を頂戴した
ところで、公益社団法人日本仏
教保育協会創立90周年記念式
典は閉会いたしました。

祝賀会

祝賀会の初めに、菩提樹学園
助成金贈呈式が行われました。

昭和48年、国際仏教興隆協
会により、インド・ブッダガヤに
日本寺が建立された際、当時理
事長である古屋道雄先生を始
めとする仏教保育に携わる先
生方が、釈尊への報恩感謝とし



(公財)国際仏教興隆協会
中村康雅理事長



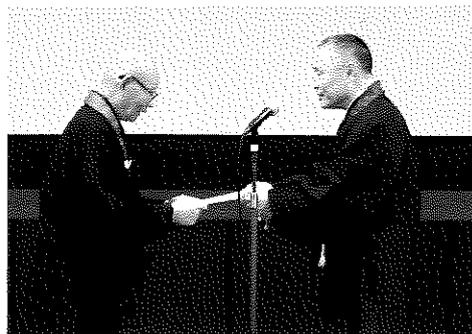
中村康雅 国際仏教興隆協会理事長に
菩提樹学園助成金贈呈

て、保育施設の寄贈を発願され
ました。保育施設の建設に向け、
昭和50年9月から日仏保加盟
園への園児、保護者による10
0円玉募金を展開し、日本寺境
内に保育施設を建設しました。
そして、昭和52年2月に落成式
が行われ、保育施設は菩提樹学
園と名付けられ、以来、日仏保
は指導・教育と資金助成を続け
ています。

今年度の菩提樹学園助成金
が高山久照理事長より、公益財



(公財)全日本仏教会
釜田隆文理事長



釜田隆文 全日本仏教会理事長に義援金贈呈

団法人国際仏教興隆協会理事
長の中村康雅様に贈呈されま
した。

中村康雅理事長は「日本仏教
保育協会、90周年おめでとうご
ざいます。国際仏教興隆協会は
お釈迦様がお悟りを開かれた
ブッダガヤで、お寺を運営させ
ていただいております。その境
内の中で、菩提樹学園という無
料の幼児教育施設を展開して
おります。ブッダガヤの辺りは
本当に貧しいところで、子ども

達教育を十分に受ける機会
がなく、文字も書けないという
現状があります。皆様の力で、
多くの子ども達が学問を続け、
上の学校に進学しております。
まだまだ家庭の事情で学校を
辞めてしまう子ども達がたくさんいるのも事実ですが、お釈
迦様に感謝の気持ちを込めて、
一生懸命活動を続けていきたい
と思っています。

本日、このように助成金をお
預かりさせていただきました。
今年も有効に使わせていただき
ます。これからもどうぞよろし
くお願いします。」と感謝の言葉
を述べられました。

続いて本年、9月の台風15号、
10月の台風19号とその後の大
雨による災害に対して、公益財
団法人全日本仏教会の釜田隆
文理事長に義援金が贈呈され
ました。

釜田隆文理事長は「台風さら
には大雨などによる大規模な
災害に際しまして、救援基金と
して関係各位の善意をお預か
りさせていただきました。被災
された地域に、仏教会を通じ寄
託させていただきます。重ねて

厚く御礼を申し上げます。

貴協会は、我が国において幼児教育の振興に寄与する最も歴史ある団体として、様々な仏

教保育活動を積極的に行われております。この度、90周年を迎えられたことは誠に意義深く、貴協会の絶え間ない活動に對しまして敬意を表します。日本仏教保育協会の益々のご隆昌と本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますと共に、より一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。本日

の慶事にお招きいただいた御礼と合わせ、祝辞とさせていただきます。」と挨拶されました。

続いて、日仏保参務の関岡俊二先生が「これまで数多くの先生方の功績で90周年があります。諸先生方に感謝をしながら、これから高山理事長を中心にしてさらなる発展を願っております。」と挨拶を述べられ、乾杯の発声により祝賀会の幕が明けました。

しばらく歓談の後、公益社団法人全日本仏教婦人連盟の本



関岡俊二先生による乾杯のご発声



多端子理事長より「本日は、日本仏教保育協会創立90周年おめでとございます。仏教幼稚園・保育園は初めて仏教に触れることの出来る場所でありま

す。先日、高山理事長先生から、未来の子ども達のため、仏教の智慧と慈悲を中心に据えた保育の種を蒔いて行きたい、その上で全仏婦と一緒に活動をしてまいりたい、とありがたいお言葉を頂戴いたしました。ぜひご協力をさせていただきたいと思っております。

一言で90年と申しますが、大変な年月、想像もし得ないようなご苦労があったと思います。これからも10年、20年、30年と活躍されることを念じてお祝いの言葉とさせていただきます。」と祝辞を頂戴いたしました。

各テーブルで歓談がはずむ



(公社)全日本仏教婦人連盟 本多端子理事長

中、司会の樋口威道先生(東京・今泉保育園)より、ご参席いただいた来賓の方々の紹介がありました。

祝賀会の途中、政務でご多忙の中、駆けつけていただいた片山さつき参議院議員より、「90周年おめでとうございます。皆様のご支援をいただき、昨年の



片山さつき参議院議員

5月、国務大臣に任命していたとき、先月まで無事務めさせていただきました。本当にありがとうございました。

地域創世の仕事させていただいて、全国隔々まで回らせていただいておりますが、災害が多いのを憂慮しております。この災害の対応を、きめ細かくしていきたいと思っております。それから10月からスタートした幼児教育無償化ですが、いろいろ問題が出ています。それに働き方改革、社会保険関係もまだまだ課題があります。とにかく皆様の園が滞りなく運営できるように務めてまいりますので、忌憚のないご意見をいただけたらと思っております。今後ともよろしく申し上げます。」と暖かい言葉を頂戴いたしました。

祝賀会の清興として、『吉田純也 with Swingin' Devils』の皆さんにジャズナンバーを披露していただき、会場は一気に盛り上がりました。

吉田純也 with Swingin' Devilsの皆さんの出演は、高野山真言宗保育連盟・山本文雄理事長の暖かいご配慮によるもので、



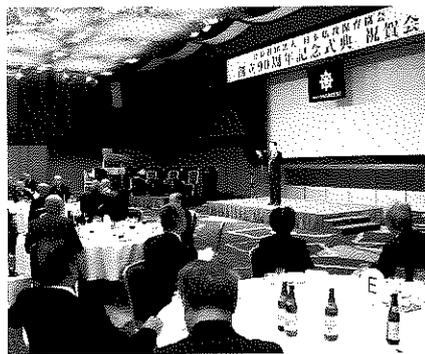
吉田純也 with Swingin' Devilsの演奏



日野昭文副理事長

とても楽しい祝賀会となりました。演奏は予定の時間を過ぎてもアンコールの手拍子が鳴り止まず、会場の一体感最高潮に達しました。

宴もたけなわ、時間となり、日野昭文副理事長が「無償化の事務が各園で負担になっている。私には京都ですが、京都の場合は京都市が頑張ってくれていますので、それほど大き



な負担感はありません。しかし、規模の小さな小都市になればなるほど、負担感は大きいはず。無償化のために、職員に負担がかかり過ぎていけば、要注意だと思います。このまま待遇の改善をせず、働き方も改善しなければ、100周年を迎えられるか非常に怖い。そういう意味で地方の行政の方と十分話し合いをしていただき、働いてくれる先生達が働き甲斐を感じられるような職場にしたいだけあればありがたいと思います。本日はありがとうございました。今後とも日仏保をご指導くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。」と閉会の辞を述べ、祝賀会の幕を閉じました。

御礼



公益社団法人
日本仏教保育協会理事長

高山 久照

令和元年11月18日、東京プリンスホテルにて、創立90周年記念式典ならびに祝賀会を開催いたしました。ご出席いただきました皆様より暖かいご祝辞を賜り、式典ならびに祝賀会が盛大に開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

この式典では、「創成期の日仏保」と題し、日仏保の歴史について研究されてきた、佐藤成道先生のお話で、発足当時の歴史を振り返りました。先達の方々の仏教保育協会設立に対する、深い思いに触れる良い機会になったと考えております。

また祝賀会では、高野山真言宗保育連盟(山本文雄理事長)のご厚意により、ジャズの唄や演奏が華やかに行われ、ご出席いただいた皆様の心に残る会となりました。

なお、90周年という節目の年を向かえ、歴代の諸先輩の尊い思いに伝えられるよう、生命尊重の保育推進に一層努力していく所存でございます。会員の皆様には、今後とも仏教保育の充実にお力添えいただくことを、心よりお願い申し上げます。最後に、本式典ならびに祝賀会にご参加して頂きました方々にあらためてお礼申し上げますとともに、ご芳志、ご協力いただきました方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

第62回 釈尊成道会を祝う 「幼児と母の集い」

令和元年12月3日/よみうりホール

東京仏教保育協会(安藤文隆委員長)は令和元年12月3日、よみうりホールで標記の会を開催しました。

今年で第62回を迎え、会場は東京仏教保育協会加盟園の母と子であふれていました。

日本仏教保育協会からは高山久照理事長が出席しました。

第一部は五島満副委員長の開会の言葉が始まり、お釈迦様の御絵像に向かつて参加者全員が合掌礼拝しました。その後は恒例の園児達による献花です。緊張の面持ちの中、園児達

は堂々とお釈迦様に花を捧げることができました。

続いて、安藤文隆委員長の挨拶です。「成道会というのはお釈迦様が悟りになられた日をお祝いする日です。お釈迦様は世界中の子ども達も幸せになるにはどうすればいいか何年も修行して考えました。そしてわかったのが、『嘘をつかない、弱い者イ

ジメをしない、物を大切にすることでした。この3つを守れば良い子になれるのです。皆さん良い子になりますか」との問いかけに、「はい」と元気いっぱいの返事が返ってきました。

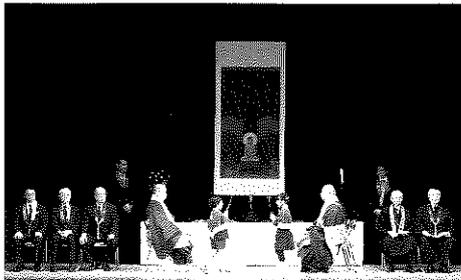
第一部は劇団こぐま座によるぬいぐるみ人形劇「赤ずきんちゃん」です。赤ずきんちゃんがオオカミに食べられると会場はシーンと静まり泣き出す子どももいましたが、最後は赤ずきんちゃんもおばあさんも助け出され、また、オオカミも心を入れ替え、森の仲間達となかよく遊びました。幕が降りると会場はわれるような拍手がいつまでも続いていました。



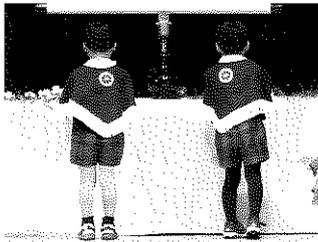
高山久照理事長



安藤文隆委員長



園児達による献花



ぬいぐるみ人形劇「赤ずきんちゃん」

第二十二回理事会・第十六回運営審議委員会

令和二年一月二十一日(火)

受付 午後二時〜午後二時三十分
議事 午後二時三十分〜午後三時五十分
議案 令和元年度補正予算(案)
令和二年度事業計画(案)
令和二年度収支予算(案)
その他

会場 大本山増上寺 光摂殿講堂

令和元年度第二回仏教保育研修会

令和二年一月二十一日(火)

受付 午後三時四十五分〜午後四時
研修会 午後四時〜午後五時三十分
会場 大本山増上寺 光摂殿講堂
テーマ 「SDGsと仏教保育」

講師 (公財)全日本仏教会事務総長 戸松義晴先生

新年懇親会

令和二年一月二十一日(火)

受付 午後五時三十分〜午後六時
懇親会 午後六時〜午後八時
会場 東京プリンスホテル 二階
「プロビデンスホール」

関西地区連絡協議会

令和二年二月四日(火)

受付 午後三時〜午後三時三十分
報告会 午後三時三十分〜午後四時三十分
懇親会 午後五時〜午後七時
会場 ホテルグランヴィア京都 三階
「三玉の間」



成道会

(敬称略)

<p>あおいごども園・建中寺幼稚園 園理事長・園長 千 461・0003 名古屋市中区筒井 1・7・52 電話 0522933521772</p> <p>高安寺保育園 園長 千 183・0021 東京都府中市片町 2・4・1 電話 042236476651</p>	<p>小樽和順学園 まや幼稚園 園理事長 千 047・0034 北海道小樽市緑 1・23・8 電話 01334325449</p> <p>野村定弘 園長 千 144・0047 東京都大田区萩中 1・12・7 電話 0337328781</p>	<p>学・善光寺園光輪幼稚園 園理事長 千 146・0093 東京都大田区矢口 2・26・17 電話 0337580074</p> <p>樋口威道 園長 千 379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原 985 電話 02787724120</p>	<p>学・清谷学園日野わかさ幼稚園 園理事長 千 191・0034 東京都日野市落川 943 電話 0425911688</p> <p>清水博雅 園長 千 101・0021 東京都千代田区外神田 3・4・10 電話 0332518683</p>	<p>友松浩志 園長 千 376・0034 群馬県桐生市東 4・1・18 電話 0277443795</p> <p>箱守陽子 園長 千 380・0847 長野市若松町 1028 電話 0262345858</p>	<p>金子英滋 園長 千 178・0064 東京都練馬区南大泉 5・6・47 電話 0339223368</p> <p>戸田了達 園長 千 302・0023 茨城県取手市白山 2・9・28 電話 0297730218</p>	<p>金田進徳 園理事長 千 606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町 36 電話 0757612211</p> <p>植田美代 園長 千 302・0023 茨城県取手市白山 2・9・28 電話 0297730218</p>	<p>だん王保育園 園長 千 606・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町 36 電話 0757612211</p> <p>信ヶ原雅文 園長 千 156・0051 東京都世田谷区宮坂 2・10・1 電話 0334272251</p>	<p>武田敬幸 園長 千 106・0046 東京都港区元麻布 1・6・21 電話 0334536710</p> <p>麻布真海 園理事長 千 206・0021 東京都多摩市連光寺 2・24・6 電話 0423746040</p>	<p>関岡俊二 園理事長 千 157・0077 東京都世田谷区鎌田 3・23・19 電話 0337090400</p> <p>金子聡秀 園長 千 216・0026 川崎市宮前区初山 1・2・1 電話 0449775671</p>	<p>町田順文 園長 千 132・0035 東京都江戸川区平井 6・53・7 電話 0336180511</p> <p>秋山秀阿 園長 千 165・0022 東京都中野区江古田 3・9・9 電話 0333850014</p>	<p>安藤文隆 園長 千 170・0055 岡山県倉敷市阿知 3・20・7 電話 0864250141</p> <p>松井大圓 園理事長・園長 千 340・0032 埼玉県草加市遊馬町 430 電話 0489251741</p>	<p>御国幼稚園 園理事長・園長 千 132・0035 東京都江戸川区平井 6・53・7 電話 0336180511</p> <p>秋山秀阿 園長 千 146・0084 東京都大田区南久が原 2・30・5 電話 0337560505</p>	<p>樋口威道 園長 千 152・0003 東京都目黒区碑文谷 1・22・22 電話 0337166070</p> <p>阿純章 園長 千 146・0084 東京都大田区南久が原 2・30・5 電話 0337560505</p>	<p>樋口威道 園長 千 152・0003 東京都目黒区碑文谷 1・22・22 電話 0337166070</p> <p>阿純章 園長 千 146・0084 東京都大田区南久が原 2・30・5 電話 0337560505</p>	<p>井藤圭湍 園長 千 652・0032 神戸市兵庫区荒田町 3・17・1 電話 0785110167</p> <p>兵庫県仏教保育協会 園長 千 206・8511 東京都稲城市坂浜 2338 電話 0423507111</p>	<p>光田督良 園長 千 206・8511 東京都稲城市坂浜 2338 電話 0423507111</p> <p>山科幼稚園・西念寺保育園 園理事長 千 607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町 52 電話 0755810197</p>	<p>白旗文雄 園理事長 千 607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町 52 電話 0755810197</p> <p>齊川偕藏 園理事長 千 338・0834 さいたま市桜区新開 2・17・13 電話 0488621601</p>	<p>聖徳保育園 園理事長 千 338・0834 さいたま市桜区新開 2・17・13 電話 0488621601</p> <p>丹羽義昭 園理事長・園長 千 340・0032 埼玉県草加市遊馬町 430 電話 0489251741</p>	<p>宗・西蔵院是政保育園 園代表役員 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p> <p>榎本隆乘 園長 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p>	<p>榎本隆乘 園長 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p> <p>榎本崇子 園長 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p>	<p>駒沢女子短期大学 学長 千 206・8511 東京都稲城市坂浜 2338 電話 0423507111</p> <p>光田督良 園長 千 206・8511 東京都稲城市坂浜 2338 電話 0423507111</p>	<p>宗・西蔵院是政保育園 園代表役員 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p> <p>榎本隆乘 園長 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p>	<p>榎本隆乘 園長 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p> <p>榎本崇子 園長 千 183・0014 東京都府中市是政 3・6 電話 04233617452</p>	<p>学・ルンビニ学院福島ルンビニ幼稚園 園長 千 960・1101 福島市大森字南中道 47・1 電話 0245450816</p> <p>吉岡棟憲 園長 千 960・1101 福島市大森字南中道 47・1 電話 0245450816</p>
--	---	--	--	--	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	--	---	---	--	---	--





事務局日誌

- 11 / 7 「仏教保育カリキュラム」
「仏教保育」編集会議
事務局会
- 11 / 18 創立90周年記念式典・祝賀会
- 11 / 29 「ほとけの子」企画会議

年の瀬に

今年も早12月。お餅つきなどの行事を予定されている園もあるうかと思えます。

餅は縄文時代の後期に稲作の伝来とともに東南アジアから伝わったと考えられています。

餅が季節や行事ごとに供えられ食されるようになったのは平安時代のようなようです。この頃、「鏡餅」が誕生し、祭事・仏事の供え物として欠かせないものとなっていました。

鎌倉幕府の歴史書『吾妻鑑』に、黒・赤・白の三色の餅を重ね、山の神に供したとあります。餅は慶事等に欠かせない存在だったのでしよう。室町時代には茶道の発達と共に茶道具菓子としても用いられるようになり、江戸時代になると、餅を作って年中行事などを祝う習慣が庶民の間にも広まり、諸国の街道筋では食べると力が付くという「力餅」のような名物餅が売られるようになりました。

年末の12月29日は「苦を搗(つく)く」の音韻から九日餅(くんちもち)と呼び、この日は餅をつくことを避ける風習が残る地域もありますが、一九を音韻からフク(福)と読み29日に餅をつく地域もあります。

餅の習慣も形も地域によって異なりますが、正月にやってくる年神様に福と徳をお願いして、皆様にとって、新しい年が良い年でありませう心より祈念いたします。

編集後記

■地元の区議会で、ある会派から「無償化給付拡大についての意見書が出されました。内容は、認可幼稚園だけではなく、無認可の類似施設に通う子どもと、その保護者にも無償化1号給付を行うべきだ」という意見でした。■そこには「幼稚園類似施設等では、子ども一人一人に寄り添い、子どもの個性を生かした教育が行われており、幼児教育において果たす役割は非常に大きい。中略：無償化が実現されないことに不公平感を抱かざるをえない」とありました。■子どもや保護者には否はありませぬ。しかし、これを聞いて「認可とはナニ？」そして「幼児教育の質とはナニ？」ということを考えさせられました。■認可とは、子どもの幼児教育環境の一定レベルの保障、設置者による資産や土地などの寄付行為、所轄の自治体や区市町村との定期的な事業の報告など、そのうえに地域での公共性や信頼を担保することの外形であると思います。■無償化によるユーザーサイドの要求や利害で、設置者側の志ともいえる「認可」と「無認可」の境を超えていいものでしょうか。保育、幼児教育の業界にとって激動の令和を象徴する出来事のひとつです。
(五 島)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しさを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさと(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(税込¥22,000)※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面26.5×38.2cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

1
January

伝えよう いのちの尊さ ほどけの心

新春のご挨拶

新元号となって初めての年明けを迎え、令和2年となりました。謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に、皆様のご多幸を祈念申し上げます。

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長 高山久照



日仏保の創立

新元号『令和』となり、初めての年明けを迎えました。

第126代天皇ご即位に関する厳かな諸行事に触れて多くの国民が喜びを分かち合い、平成から令和へ新時代の幕が開けました。

日本仏教保育協会（日仏保）の創立は、偶然にも「昭和天皇即位の御大典」に沸く昭和4年のことでした。

当時は大正15年に制定された幼稚園令により、全国各地に幼稚園が増え、昭和に入るとは保育園（託児所）も急増しました。仏教界においても児童福祉の一翼を担おうと、仏教系の幼稚園や保育園が各地に開園していきました。

そうした中、関係者の資質向上を目的とし、宗派の垣根を超えた連絡統一を図るため、仏教保育協会が設立された経緯があります。

止まらぬ少子化

現在、国の様々な施策にも関わらず、出生率は回復の傾向を示していません。

厚生労働省が発表した人口動態統計の令和元年1～9月の出生数（速報値）が前年同期比で5.6%減。このまま

いくと、令和元年の出生数は90万人を割る可能性が高いと推定されます。少子化の進行は家庭における子育てや地域社会への影響も大きく、ますます大きな社会問題になると考えられます。

保育の充実

昨年10月より、幼児教育・保育の無償化がスタートしました。

ご縁を頂いて保育の機会を得た保育者と子ども、保護者にとって、園生活が現在の制度の中で「保育サービスの提供者と消費者」といった、無機質な関係とならないような配慮が必要です。

保育の充実には、子どもの育つ家庭の充実という意味をもちます。それぞれの家庭や地域との

連携を保った「対話的な」質の高い保育を行う必要があると考えます。

90周年の節目を迎えて

日仏保にとって90周年という節目の年に始まった「令和」ですが、子ども達にとって、どのような時代になるのか予測しにくい状況といえます。

これからの教育で重要視されるポイントは、少子高齢化やICT化の社会において、変化に対応できる思考力、判断力、表現力をもつ人間を育てることだと言われています。

保育の内容には社会状況によつて変わるものと変わらないものがありますが、仏教保育の現場には、貴重な実践の積み重ねがあります。

出生率が低下しても、子どもがいなくなることは決してありません。仏教保育者として、今まで以上に深い智慧と慈悲の心により、子ども達が未来に向けて輝かしい希望をもてるよう、共に生命尊重の保育の実践に努めて参りましょう。



皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



写真資料提供：
宝仙学園アーカイブ室



創立90周年特別企画

《日仏保の歩み》

戦前編 「はじめに」

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
リサーチ・フェロー／曹洞宗常仙寺副住職

佐藤 成道



仏教保育協会の設立

日本仏教保育協会（日仏保）の前身である「仏教保育協会」は、昭和初期に東京市（当時）で設立されました。

主唱者は曹洞宗寺院の出身で当時、東京・寺島幼稚園の主事だった堀緑羊で、幼児教育の実践家をはじめとした各分野の関係者や、全8宗派（浄土宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・

真言宗智山派・真言宗豊山派・曹洞宗・天台宗・日蓮宗）の協力によって設立されました。

1929（昭和4）年7月には「第1回仏教保育夏期講習会」が開催されました。現在では「夏期仏教保育講習会」と名称が改められていますが、この講習会は、今日でも同じ時期に開催されているだけでなく、協会の設立当時から継続開催数を冠して行われている伝統的な恒例行事となっています。

現在の日仏保は、「生命尊重の保育」などを展開すべく、仏教保育推進のための調査・研究、現職教育、指導者養成、機関紙・研究誌・絵本等の編集刊行などの活動を行っています。その一方で、設立当時の協会は、研究会・講演会などの開催、保育教材の提供、幼稚園や託児所などの経営相談、保母養成所の設立、講師の派遣、保母の紹介、仏教保育に関する調査など、現在の日仏保とは異なる活動も行なっていました。

協会設立当初の活動

戦前に仏教保育協会が設立された目的の一つは、仏教系の幼稚園や保育園（託児所）などの関係者への実地的な指導や連絡

統一を図ることでした。当時は東京を拠点としながらも、全国的に仏教園を中心とした関係者と連絡統一を図り、仏教保育を発展させることを目指して活動していたのです。

そのような背景の一つには、1926（大正15）年の幼稚園令制定がありました。これは幼稚園に関する単独の勅令で、保母の資格や施設の基準が明文化されるなど、職員の社会的な地位向上や諸規定が定められ、教育制度における幼稚園の一定の地位を確保するものでした。これを契機として全国的に幼稚園が増え始め、昭和時代に入る頃には託児所も急増していたことから、施設の開設を発願する関係者も増えました。

協会が設立された頃に出版された堀緑羊の著書『理想の仏教保育』（代々木書院刊・1931年）を見ても、その大半が、幼稚園・託児所の開設や運営方法に割かれています。つまり、仏教保育には、「仏教保育」という事業を展開するための象徴的な旗印としての意味合いが込められていました。

ところで、仏教保育協会設立の大きな目的の一つに、仏教主義の保母養成所設立がありました。これには、保母の存在を堀

緑羊が非常に重視していたことが影響しています。

1931（昭和6）年7月26日・27日には初めての全国大会である「第1回全国仏教保育大会」において保母養成所の設立が決議され、1935（昭和10）年4月に仏教保育協会保母養成所が設立されました。その後、養成所は、1944（昭和19）年に中野保母養成所と改められ、1946（昭和21）年に中野高等保育学校へと改称されました。そして、1951（昭和26）年には宝仙学園短期大学保育科が設立され、2009（平成21）年にはこども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科が設置されました。現在、「仏教精神を基調とした人間教育」を大切にする建学の精神のもと、21世紀の子どもを育む保育者の養成を行っています。

現在の日仏保の活動

日本仏教保育協会は、戦前からおよそ90年という歴史を有している、設立当初からの長きにわたる組織や仏教保育という名のもとに、幼稚園や保育園などを総合した全国規模の組織として活動を展開しています。具体的には、全国仏教保育大会（隔

年)や夏期仏教保育講習会などの開催、毎月の機関紙『仏教保育』や研究誌『月刊仏教保育力リキュラム』の発行、各種絵本等の編集刊行、奨励事業、国際交流、社会貢献など多岐にわたります。

加盟園は現在1050施設(幼稚園516・保育園425。こども園109)、関連の養成校は30機関で、各都道府県に支部を構えています。

設立当初から現在まで変わらずに各宗派と共に歩み、いわゆる幼保の垣根を越えた通仏教体制として横のつながりを重視し



*注 本連載では、個人的な内容を除き、基本的には敬称を略しています。また、例えば、1999(平成11)年4月の児童福祉法改正において「保育士」の用語が規定されましたが、原資料に従って、これ以前に使われていた「保姆」「保母」と表記することがあります。その他の言葉も、資料の文言の引用や参照を含め、元のままの表現で記載する場合があります。

創立90周年記念式典

『日仏保の歩み』と題した創立90周年特別企画として、日本仏教保育協会の成り立ちと歴史

的な変遷を紹介する連載が、ここにスタートしました。今回は「はじめに」という副題を冠し、戦前の日仏保についての概要をお話しました。これから、折に触れて創成期における日仏保について詳述していきます。

ところで、この連載企画が実現した背景について、少しお話しておきたいと思います。

2019(令和元)年11月18日の夕刻、東京プリンスホテルにて日仏保の創立90周年記念式典が開催されました。八木季生名誉会長はじめ約200名の来賓・関係者が参集し、長きにわたる協会の歴史を誕生までさかのぼって振り返る貴重な機会となりました。

『週刊仏教タイムス』11月28日号には、「日本仏教保育協会

90周年を祝う」という見出しで式典の様子が掲載されました。紙面には「日仏保レポート」と題した特集記事も生まれ、日仏保への関心の高さが伺えます。この式典の中で「創成期の日仏保」と題した講演をさせていただいたことが、本企画につながるご縁となりました。

仏教保育との関わり

簡単に自己紹介をしておきますと、本業は曹洞宗常仙寺(群馬県高崎市)で副住職をしております。また、千葉・淑徳大学のアジア国際社会福祉研究所を拠点に、仏教と社会福祉に関連した研究活動や、都内の大学などで哲学や社会福祉などの授業をしています。

日仏保では、『月刊仏教保育力リキュラム』(2015年5月号)の巻頭言で「仏教が子どもと出会うとき」というタイトルで掲載させていただいたことでもあります。

仏教保育との出会いは、まず自坊に1954(昭和29)年開園の保育園があり、昔から身近だったことがあります(この園は、2018「平成30」年に幼保連携型認定こども園「星の光こども園」となりました)。



さらに、任職でもある父が菩提樹学園などを訪問する日仏保のインド研修旅行に毎年のように参加しており、旅行好きの私も、大学生になった頃から参加するようになりました。その中で2012(平成24)年に遷化された元理事長・上村映雄先生と出会い、お話を伺うたびに仏教保育に興味をもつようになっていきました。

その後、もともと哲学を専攻しながら仏教学などの研究をしていましたが、本格的に仏教保育の研究を始めようと淑徳大学に進みました。研究を始めた頃の同年8月、日仏保の事務所で資料の調査をしていると、たま

たま上村先生が事務所に電話をされてきて、私が調査していることを知ると「仏教保育のことは、日仏保も含めて私も戦前のことを色々調べているけど、まだまだわからないことが多い。これから研究をしてわかったことを教えて欲しいから、ぜひ頼むよ」とおっしゃいました。

これが私の聞いた先生の最後のお言葉となってしまう、今でも当時の会話を忘れることができません。その2か月後に亡くなったと聞いた時は、とても信じられませんでした。しかし、先生のお言葉や結んでくださったご縁のおかげで、今もこうして仏教保育の研究を続けることができています。

直接ご報告申し上げられない無念さを思いながら、記念式典での講演や機関紙に連載する機会をいただきました日仏保に心より感謝を申し上げます。これからのお話が読者の皆様はもちろんのこと、上村先生にも届くことを心願しております。

次回より仏教保育協会の設立や、その経緯、設立の目的、運営体制、活動内容など、戦前における仏教保育協会の誕生という第一歩から、この「日仏保の歩み」を進めて参ります。

令和元年度 菩提樹学園運営委員会

令和元年12月2日 / 日仏保本部事務局



公益社団法人日本仏教保育協会（高山久照理事長）は、12月2日、同協会本部事務局において、公益財団法人国際仏教興隆協会・佐藤雅彦事務総長、総務局・大工原彌太郎氏ほか事務局員2名の計4名を迎え、菩提樹学園運営委員会を開催しました。本委員会では、学園のソバー・シンハ主任保育母の保育レポートを資料として子どもたちについての報告があり、それを受けて学園の今後の支援・対応等について協議されました。

3年保育から2年保育へ

インドでは幼稚園教育においても英語の読み書きや算数の指導が強化されており、菩提樹学園では2017年度より新しいシラバスによる保育を行ってきました。さらに、同年度新入生より2年保育のカリキュラムを実施しています。

インドの教育制度は、日本の6・3・3制と異なり、5・3・2・1制を基本（州により若干相違）とし、その年の9月30日までに

満5歳8か月になる者は、その年の4月1日に第1学年に入學することになっています。つまり、インドの小学校への就学年齢は満5歳です。

ところが、菩提樹学園の従来3年保育では、卒園時点で同年齢の児童たちはすでに1年生を終えていることとなります。

そこで、1年間のギャップを埋めてインドの学制に適合させることが子どもたちのためになると考え、2年保育への移行を進めてきました。昨年3月の年長組の卒園を最後に、これまでの3年保育から2年保育へと完全移行しています。

昨年度の卒園式は、3年保育体制下の最後のクラスと2年保育下の最初のクラスの両方の同時卒園となりました。この年度最後の職員会議において、ソバー主任保育母は、他の先生たちに向かって「長く慣れ親しみ、多くを学んできた3年保育ですが、今日限りでそのカリキュラムを頭から追い出してください」と訓示したそうです。

感謝状授与式

「菩提樹学園運営委員会」の開催に先立ち、菩提樹学園の運営助成に対する感謝状の授与が行われました。

感謝状は、(公財)国際仏教興隆協会・佐藤雅彦事務総長より、(公社)日本仏教保育協会・高山久照理事長へと手渡され、満場の拍手が送られました。



2年保育のカリキュラム

ソバー主任保育母によれば、3年制ではパンカジ組（年少）が保育課程、クラブ組（年中）が幼稚園初年（LKG）課程、ベラ組（年長）が幼稚園上級（UKG）課程で運営してきました。しかし、2年制になったからといって、入園時からLKG・UKG課程をスタートすることは困難を極めます。したがって、1年目に保育課程とLKGの前半、2年目にLKGの後半とUKGを組み込むというカリキュラムの導入を試みているそうです。

学園で実施している新しいカリキュラムは、インド政府が1986年に策定した幼児教育統合プログラムICDSを

1992年に修正した国定教育指針NPEに準拠しています。NPEは初等学校就学前に「保育に加え、基礎的な読み・書き・計算能力を教育すること」としており、さらに国際バカロレア（スイス・ジュネーブに本部をもつ国際バカロレア機構が提供する世界的な教育プログラム）のバカロレア・スコア30に合わせたカリキュラムを勧奨するものです。

2018年度卒園生の進路

2019年3月のインド・ブダガヤは、穏やかな心地よい気候となりました。学園で行った進級テストでは、園児の学力は前年に比べて格段にアップしていました。

そして、25日に迎えた終業・

卒園式。2018年度卒園生は、そのうち2名（ベラ組1名、ベラ組35名、クラブ組32名、計67名。卒園時点で、全園児がガヤ市（協同組合市制）およびブツダガヤ特別市（パンチャヤット自治市制）所在の各小学校課程への進学が決定しています。

また、61名の進学先は学齢認定校に進学します。公立校では、登録料（学籍料）、入学金、授業料の徴収がありません。なお、多くのNGO校においても、登録料のみの徴収とすることで、中途脱落防止が図られています。

◆4～10月の保育レポート

4月 新年度スタート。3週目よりHeat（酷暑）期に移行。この時期は婚礼シーズンで、親族一同で出席するからわしから長期欠席が多い。パンカジ組（年少）は、今月は2時間の慣らし保育。トタ組（訓練課程）は、昨年度は1か月に45分クラス1回だったが、今年度より60分クラス2回へと変更。

5月 2日、州総督権限により「この異常な熱波は生命に危険を及ぼすレベル」として中学生以下全教育施設の休校閉鎖および夏休み前倒し延長が発表された。本学園では、始業時間前倒しと各授業単元短縮によって対応した。21日、保護者会開催。22日より夏休み。

6月 熱波は去らず、雨が降らず高温続き。24日、2学期始業。講堂にて始業式を行う。全員が無遅刻で登園（1学期中、登園時間がルーズという課題があったため、始業の前日、用務員に全児童の家を訪問させて声かけを行った）。夏休み中の宿題は未完の者が少なからずあり、保護者を督励。

7月 異常な高気温に加えて湿度がひどい。扇風機では汗が止まらない。体調を崩す子が多い。トタ組は、来年の入園につなげるため、さらに時間を増やして今月から60分クラス4回に改めた。

8月 雨季入り。しかし、わずかな雨のみで湿度だけは高く、日が照ると猛暑となる。園児たちの体調はすぐれず、下痢・嘔吐を訴える子が増えた。例年なら年少クラスはアルファベットを習い始める時期だが、今年はまだ英会話の授業が始まっている。40までの計数課程もマスターした。

9月 月末ようやく降り出した雨が、今度は降り止まず、数日のうちに村の一角が水没。園児の通学路も通行不可となる状況が頻発した。子どもたちの体調は相変わらず。雨が降る前に運動会の練習をスタートさせていたため、雨による遅れは心配ない。

10月 3週目に入ると気温が下がり始めた。17日、運動会開催。今年は種目を増やし、パンカジ組は徒競走カエル跳び競争、パン食い競争、大玉送り競争の4種目、クラブ組は伝言レース、バッダレース（タワレース：立てた竿の先の旗を取り合う）、パン食い競争、フォークダンスの4種目とした。



◆2019年度在園児数（2019年10月31日現在）

3歳児（パンカジ組）35名／スマン先生、カンチャン先生
 4歳児（クラブ組）33名／バビタ先生、ジャヤンティ先生
 ※2歳以上3歳未満児訓練保育（トタ組）45名／ソバー主任保育、ニリマ先生ほか担当

◆2019年度職員構成

ソバー・シンハ 主任保育（教諭）：入園前・訓練教育、教育
 総括、保育育成・図画・工作・ダンス指導
 ニリマ・ブラサド トタ組・クラブ組のサブ担任および両組専任
 担任の指導員役
 スマン・シャルマ パンカジ組担任
 カンチャン・クマリ パンカジ組担任
 バビタ・クマリ クラブ組担任
 ジャヤンティ・クマリ クラブ組担任
 ガネーシユ・パスワン グラブ組担任
 シヴ・クマール 用務／調理／資料管理
 ビジャイ・クマール 非常勤講師／音楽および身体表現教育
 ドウジャ・クマリ 非常勤講師／ビジャイ先生の後任（現在はビジャイ先生と共に指導）



令和元年の台風等により被災された全ての皆様に 心よりお見舞い申し上げます

令和元年9月の台風15号では特に千葉県を中心とした首都圏に、また10月の台風19号による記録的な大雨は阿武隈川などの河川の決壊をもたらし、関東甲信地方および東北地方を含む東日本全域に、多くの犠牲者と甚大な被害をもたらしました。

さらに、その復旧・復興途上の10月末には、台風21号が日本列島の東側を北上し、千葉や福島で観測史上最大の大雨を記録するなど、関東・東北地方の大雨被害に追い打ちをかける結果となりました。

この台風による豪雨・暴風などの影響で各所において河川の氾濫・決壊、また土砂災害等が発生し、多くの尊い人命が失われ、多数の負傷者が出ています。亡くなられた方に心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、ご遺族の皆様にお心よりお悔やみを申し上げます。また、負傷された方々、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

93万5千戸が停電

台風15号は9月9日に千葉市付近に上陸し、関東地方は記録的な暴風となりました。同日、暴風雨や飛来物により静岡や関東南部などで約93万5千戸に停電が発生し、千葉を中心に約

14万戸に断水が生じました。

翌10月7日頃から猛烈な勢力を維持してきた台風19号は、12日に静岡・伊豆半島に上陸し、関東地方と福島を横断。静岡や新潟、関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、東京都および他12県に特別警報が発表されました。

この台風19号による人的被害は、福島県32名、宮城県19名、千葉県12名、神奈川県9名その他各県における死者99名、また負傷者は484名です。さらに、3000棟超の全壊を含む全国9万棟以上の住家に被害が確認されています(12月12日現在、消防庁発表)。

福島県や宮城県で被害が大きかった要因として、阿武隈川流域での河川の支流での氾濫・決壊、またその上流での土砂崩れが挙げられます。また、東日本から北日本にかけての広い範囲で強風が観測され、千葉県市原市で起きた突風は竜巻とみられています。

その後、低気圧と台風21号の影響により千葉や福島を中心に総降水量200ミリを超える記録的な大雨が発生しています。

義援金200万円を寄付

この甚大な災害に際して、復

旧・復興に供していただくために、公益社団法人日本仏教保育協会から公益財団法人全日本仏教会に義援金200万円を寄付致しました。この義援金を同会の救援基金に寄託し、被災地への復興支援を行うものです。

*

本協会会員の皆様におかれましても、被害に遭われたり、ご親戚・ご友人、関係者の方々が被災されたりしているのではないかと心配しております。

被災状況のごく一部ではあります。千葉県の幼稚園で台風15号に伴う停電や倒木、雨水による被害があり4日間の休園、また千葉県の保育園で3日間の停電などの報告をいただいています。残暑が厳しい中での停電は、明かりがとれない事以上の困難を様々にもたらしたことでしよう。

被災された会員の方々、お一人おひとりに対し、協会として心よりお見舞い申し上げますとともに、ささやかながら応援のメッセージを送らせていただきます。

復旧活動に従事しておられる方々の安全と、一刻も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

関西地区連絡協議会

開催日 令和2年2月4日(火)

受付 午後3時00分～3時30分
報告会 午後3時30分より

- ・令和元年度補正予算
- ・令和2年度事業計画
- ・令和2年度予算

懇親会 午後5時00分より

会場 ホテルグランヴィア京都
3階「三宝の間」

養成機関連絡協議会

開催日 令和2年2月21日(金)

受付 午後3時30分～4時00分
協議会 午後4時00分より

テーマ「良き保育者を育てるために」

懇親会 午後6時00分より
会場 芝パークホテル 別館2階
「アゼリア」「アイリス」



第2回「日印文化交流ネットワーク」総会

令和元年11月30日／学士会館

令和元年11月30日(土)、東京・神田の学士会館において日印文化交流ネットワーク(山田一眞代表幹事)の第2回総会ならびに設立記念講演会・懇親会が開催され、日本仏教保育協会より高山久照理事長が出席しました。総会当日に二周年の設立記念日を迎えた同ネットワークは、さまざま領域における日印両国の文化交流の発展を目指したウェブサイトを開設し、その運営を主たる事業としてきました。

総会は、まず会則、事業計画・収支予算などの会務報告で始まりました。事業の柱はウェブサイトおよびフェイスブックの運営にあり、またマハトマ・ガンジー生誕150年を迎えた本年度は、大使館主催の諸イベントへの参加・協力要請がなされており、この好機に同ネットワークでも二年間にわたって独自の事業展開を行う事としています。

マハトマ・ガンジー生誕150周年記念プロジェクトは「ブッダとマハトマ・ガンジー」を中心テーマとして、講演、写真展、インド舞踊、イン

ド音楽、インド料理などを包括したイベントの日本各地における開催が進められています。会務報告のあとは、「インドの価値観」をテーマとして、佐藤良純先生(大正大学名誉教授)と、宮本久義先生(東洋大学客員教授)のお二人による記念対談が行われました。対談後には懇親会が開かれ、参加者同士の交流がもたれました。

日印文化交流ネットワークの紹介

2017年秋、インドの文化や、日本とインドの文化交流に関心をもつ人たちが自由に情報を交換し合うプラットフォームとして、日印文化交流ネットワーク(山田一眞代表幹事)が生まれました。近年、日本とインドとの関係は、政治や経済を中心に、かつてない隆盛を誇っています。「この状況を永続性のある確かなものにするためには、それに相応する文化交流の厚みが必要ではないか」との思いから創設されたものです。このプラットフォームでは、インドに関心がある研究者、宗教者、ジャーナリスト、アーティスト、社会活動家、および多様な市民が出会い、互いに協力し合っています。

成道会

(敬称略)

園理事長 〒350・0247 埼玉県坂戸市西坂戸3・30・1 電話049・286・9021 かぴら幼稚園 平山 攝	園理事長 〒604・8423 京都市中京区西ノ京西月光町19・1 電話075・821・5010 浦田裕人 月かげみどり保育園	園長 〒604・8493 京都市中京区西ノ京南町22 電話075・821・0055 小寺直見 月かげ保育園	園理事長・園長 〒998・0037 山形県酒田市日吉町1・4・34 電話0234・222・132 大滝宗徳 認定こども園若草幼稚園	園長 〒639・0217 奈良県北葛城郡上牧町中筋出作52・1 電話0745・77・3080 川端章道 慈光保育園	園理事長 〒198・0064 東京都青梅市柚木町2・312・1 電話0428・76・0809 増澤秀丸 社会福祉法人よしの保育園	園長 〒567・0832 大阪府茨木市白川1・11・1 電話072・633・1212 加藤英子 りんでん幼稚園	園長 〒468・0056 名古屋市天白区島田3・110 電話052・801・0433 神野哲州 天白保育園	園理事長 〒617・0814 京都府長岡京市今里5・12・9 電話075・953・0505 家田光信 みどり幼稚園	園長 〒491・0859 愛知県一宮市本町1・4・24 電話0586・71・3364 祖父江霊完 みどり幼稚園	園理事長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話075・381・2591 日野昭文 松尾幼稚園	園理事長 〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 電話075・491・8818 森 雅子 大徳寺保育園	園理事長 〒603・0103 高松市国分寺町福家甲19982 電話087・874・4309 釋氏尚彦 みのり保育園	園長 〒230・0063 横浜市鶴見区鶴見2・1・3 電話045・573・8819 鮫島良一 鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園	園理事長 〒272・0813 千葉県市川市中山3・10・4 電話047・334・1224 緑谷一雄 みどり幼稚園	園理事長 〒105・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話03・3431・0592 友田達祐 蓮池光洋	園理事長 〒737・0022 広島県呉市清水1・10・25 電話0825・255・5671 西村英昭 認定こども園吳あそか幼稚園	園長 〒153・0061 東京都目黒区中目黒5・24・47 電話03・3712・8870 安藤輝美 祐天寺附属幼稚園						
園理常任理事 園理事長・園長 〒286・0022 千葉県成田市寺台560 電話0476・22・0856 成田保育園 高木正尊								園理事長・園長 〒271・8555 千葉県松戸市岩瀬550 電話047・365・1111 川並 弘純								園理事長 〒215・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話03・3431・0592 明徳幼稚園							





事務局日誌

12/2 「仏教保育カリキュラム」「仏教保育」編集会議
事務局会議
菩提樹学園運営委員会

災害から生命を守る「逃げ地図」

最近、地域や学校で、災害時に身を守るための「逃げ地図」づくりに取り組まれるところが増えています。

「逃げ地図」というのは、事前にリスクを把握し、災害が起こったときに必要とされる避難経路がひと目でわかるようにしておくためのツールです。各地の中小高校のほか、18都道府県、36市区町村での取り組みが確認されています(2019年9月現在)。

昨今の大規模災害では、公助を期待するよりも「自らの命は自らが守る」という覚悟をもつことが大切になっているといえます。実際に被災された方々のご経験を聞いたりすると、そのように痛感させられるところは確かにあるように思います。

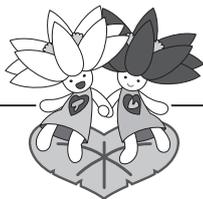
この「逃げ地図」は、東日本大震災の教訓を踏まえて、大手設計事務所「株式会社日建設計ボランティア部」が大規模施設の避難計画のノウハウを応用して考案したものだそうです。今年3月で、東日本大震災から9年が経とうとしています。その教訓はなかなか生かされていません。また昨年も大きな台風が続けて発生し、特に大雨による被害が各地で発生しました。防災教育を行うことは、生命を尊重することの大切さを学ぶ機会にもなるのではないのでしょうか。

保育園の入り口には、園児たちが日々の戸外活動をするために保育園周辺のお散歩マップが貼り出され、そこに避難経路が書き込まれているのを、よく見かけます。保護者の方も迎え時などに自然と目にとまるでしょうから、優れた啓発方法だと感じます。とはいえ、いざという時にいちばん頼りになりそうなのは、やはり、そのマップをつくった人ではないでしょうか。

編集後記

■昨年(令和元年)十二月に発表された流行語大賞にはラグビーワールドカップ時の「ワンチーム」という言葉が選ばれていました。ラグビーの精神に「ひとりではみんなの為にみんなはひとりの為に」という考えがあります。団体競技や一つのことを行う上で皆で協力し合っていくというのは、とても大切なことです。一人ひとりの努力によつて強いチームとなり、またそのチームはひとりの為に存在する。その延長線上に「ワンチーム」という言葉が生まれたように感じました。■かつて滋賀県の近江商人は「三方よし」ということを大事にしました。「売り手よし、買い手よし、世間よし」ということです。売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献できることがよい商売であるということ。お互いに利益を上げるだけでなく、そのまわりにも感謝を伝える。人は一人で生きているのではなく、あらゆるものに支えられているのだと思います。■一人対一人、園児と保育者の関係、また各園、各家庭いろいろな関係性が私たちの周りにはありますが、ほとけ様をよりどころにお互いに敬い支えあつて暮らしていける社会になることの大切さを「ワンチーム」という言葉から教えていただきました。(桑田)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX 03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさとり(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(税込¥22,000)※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面26.5×38.2cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

仏教保育

2.3
February
March

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけ の心



高田副理事長



高山理事長



日野副理事長



高輪副理事長



麻布常任理事



野村副理事長



桑田事務局次長



高木常任理事



丹羽常任理事

第21回理事会／第16回運営審議委員会／令和元年度第2回仏教保育研修会
令和2年1月21日／大本山増上寺・光摂殿講堂

日仏保100周年に向け いかせいのちの保育のさらなる普及を

公益社団法人日本仏教保育協会（高山久照理事長）は、1月21日、大本山増上寺・光摂殿において標記の会を開催。「令和元年度収支補正予算(案)」「令和2年度事業計画(案)」「令和2年度収支予算(案)」等のすべての上程議案について審議の結果、採択されました。引き続き行われた仏教保育研修会は、公益財団法人全日本仏教会事務総長・戸松義晴先生を講師に迎え、「SDGsと仏教保育」をテーマに、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要や、SDGsと仏教保育の共通理念、仏教保育が目標達成に向けて貢献できること等々についてお話を伺いました（要旨は4月号に掲載予定）。その後、隣接の東京プリンスホテルにおいて「新年懇親会」が和やかに開催されました。

理事会・運営審議委員会

はじめに、高山理事長の主導により出席者一同で三帰依文を斉誦。続いて、同理事長から「昨年は日本仏教保育協会創立90周年という記念すべき年でした。かねてから準備を重ねてきた記念式典に全国各地からのご参加をいただき、ありがとうございます。続く今年には、東京でオリンピックが開催されるオリンピック・イヤーとして、日本全体がにぎわう年になるでしょう。新たな年を迎え、気持ちを切り替えて本年もしっかりと運営をして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願致します」という挨拶がありました。

また、高山理事長は挨拶の中で、前回は2018年の夏に愛知で行われた「第35回全国仏教保育愛知大会」について触れ、隔年で行われてきたこの全国仏教保育大会については、諸々の事情を鑑み、今回は2022年の開催とさせていただきます。ただ今ことについて、ご了承を賜りたいという旨を述べられました。

このあと、司会の桑田則行事務局次長による、理事31名中18名以上が本会に出席し、理事会ならびに運営審議委員会の両会とも成立する旨の報告を受け、定款第37条により、高山久照理事長が議長



となり審議に入りました。上程議案は次のとおりです。

◆第1号議案

令和元年度収支補正予算(案)

◆第2号議案

令和2年度事業計画(案)

◆第3号議案

令和2年度収支予算(案)

◆第4号議案

その他

まず、第1号議案から第3号議案について、所管する担当常任理事から上程され、いずれの議案も満場一致で承認・可決されました。

第4号議案では、井藤圭滯理事(兵庫・太守保育園)より仏教保育振興国会議員懇話会への新規入会議員(5名)についての推薦がありました。それぞれの議員の入会について可否を問ったところ、満場一致で可決されました。

また、日野昭文副理事長は、昨年11月18日に開催された「日本仏教保育協会創立90周年記念式典・祝賀会」について、当日ご出席いただいた方への感謝の言葉をのべ、記念式典ならびに祝賀会の様子を報告いたしました。

続いて、2020年の全国大会開催地となる北海道の野村定弘副理事長より、これから開催準備を進めていくうえでご教示・ご協力賜りたいとの要請がありました。他に、鈴木出版株式会社よりロイヤリティの改定について申し出

があり、詳細を検討・協議して決定すること、機関紙「仏教保育」の制作会社に変更になったことが報告されました。

最後は、公益財団法人全日本仏教会から感謝状の贈呈。同会の戸松義晴事務総長より「このたびの台風による水害等で被害を受けた地域あるいは仏教関係の方々、皆様からの浄財200万円を間違いないく届けさせていただきます」という謝辞とともに、本協会・高山理事長に対し感謝状の授受が行われ、閉会となりました。休憩をはさんで、引き続き「仏教保育研修会」を開催。講師の戸松義晴先生による講話を拝聴しました。



藤井比早之衆議院議員



鳩山二郎衆議院議員



(公財)全日本仏教会事務総長
戸松義晴先生



片山さつき参議院議員



国会議員懇話会新入会議員の
有村治子参議院議員



新年懇親会

増上寺に隣接する東京プリンスホテル・プロビデンスホールにおいて、仏教保育振興国会議員懇話会をはじめ、関係団体、各宗派保連、養成機関、加盟園、関係会社等からの参加を得て、毎年恒例の新年懇親会が催されました。

開会に際して、高山理事長は「昨年の式典が90年という日仏保の歴史を振り返るいい機会となった。その歴史を文書としてご覧いただけるかたちにとめた」という志を示され、さらに「本日の研修会では『SDGsと仏教保育』と題し、戸松義晴先生のお話を伺いました。SDGsにおける『誰一人取り残さない(No one will be left behind)』という理念は仏教保育とも非常に親和性が高い。私たちに何ができるのかを考えていきたい。本年もどうぞよろしく願っています」と挨拶致しました。

高山理事長の挨拶に次いで国会議員や各団体代表の方々から祝辞が述べられ会場は和やかな雰囲気の中で歓談が続けられました。





令和2年度事業計画

基本方針

生命尊重の保育確立と心の教育の推進

1 生命尊重の保育推進

心の教育「いかけいのち」の保育の充実・普及を図る
活力ある日仏保

2 現職教育

3 魅力ある日仏保

日仏保研究所を中心として魅力ある研修会等とおして会員及び後継者の期待に添う日仏保の確立

4 国際交流・社会貢献のできる日仏保

生命尊重保育の普及・インド菩提樹学園・ユニセフ支援等国際交流・社会貢献を実践する

1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

(1) 生命尊重の保育推進のための実践、普及活動(募金運動) 財政確立のための振興活動 生命尊重の集い及び講習会・研修会等の推進

(4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行

2. 調査・研究

(1) 仏教保育にかかわる調査・研究(仏教保育史等)

(2) 研究委員会の充実

3. 現職教育

(1) 中央講習会

ア. 第88回夏期仏教保育講習会 7月21日(火)・22日(水) 増上寺・光摂殿

イ. 第65回仏教保育関西地区研修会

(3) 講習会・ゼミナール等の開催促進

4. 指導者養成

(1) 令和2年度 第1回仏教保育研修会 6月総会時

(2) 令和2年度 第2回仏教保育研修会 1月中旬

(3) 養成機関連絡協議会 2月下旬

5. 編集・刊行

(1) 機関紙「仏教保育」

(2) 月刊 園長・教職員対象 「仏教保育カリキュラム」 月刊 教職員対象

(3) 「ほとけの子」 月刊 父母対象(宣協社)

(4) 仏教保育教材の編集・監修

1. 「こどものくに」ひまわり版 月刊 年長児対象

2. 「わたしの記録」ひまわり版 一斉購読の園に贈呈

3. 「こどものくに」たんぼぼ版 月刊 年少児対象

4. 出席カード (すずき出版)

5. 園児対象 (フレール館)

6. 園児対象 (すずき出版)

7. その他必要な教材

8. 「写真ニュース」・「日仏保ポスター」の発行 父母・教職員対象

6. 関係団体との連絡提携

(1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡

(2) 各私立・各宗保育団体との連絡

(3) 地方組織との連携強化及び育成指導

(4) 保育関係企業との連絡

(鈴木出版・宣協社・フレール館・チャイルド本社・ひかりのくに・世界文化社・学研教育みらい・ジャクエツ等)

7. 保育制度対策の活動強化

(1) 幼保加盟施設の運営・経営の調査・研究

(2) 保育制度研究会(全国制度対策委員会)

(3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化

8. 国際交流、社会貢献の実践

(1) 国際文化交流等と社会貢献(災害救援を含む)を積極的に推進

(2) インド菩提樹学園の育成協力

ア. 菩提樹学園訪問指導・運営委員会

イ. 運営基金の管理運用

ウ. 運営及び育成指導への協力

(3) OMEP(オメップ)世界幼児教育・保育機構)に協力

(4) 日印文化交流ネットワークへの協力

9. 奨励事業

(1) 日本仏教保育協会賞

(2) 本年度養成機関卒業生 仏教保育功労賞

(7) 個人で、適任者がいる年度の授与

10. その他必要な事業

(1) 会員加入促進運動
(2) 奉祝花まつり・暑中見舞広告・成道会等の協賛広告
(3) 各種出版物、教材の開発「わかりやすい仏教保育総論」等・販売推進(重点教材・出版物「こどものくに」「ほとけの子」)

(4) ホームページの充実

(5) その他 「仏教保育なるほど12か月」「ポップアップ絵本おしゃかさま」「新選ジャータカ絵本全5巻」の普及促進

11. 会議

(1) 令和元年度業務経理監査会 5月 於：日仏保事務所

(2) 第22回理事会・第17回運営審議委員会 5月 於：増上寺会館

(3) 第9回社員総会 6月 於：増上寺光摂殿

(4) 第23回理事会・第18回運営審議委員会 1月 於：増上寺光摂殿

(5) 関西地区連絡協議会 2月 於：ホテルグランヴィア京都

(6) 常任理事会・事務局会議 年11回開催 於：日仏保事務所

(7) 将来検討委員会の開催 以上



令和元年度 収支補正予算

令和元年4月1日～令和2年3月31日

I. 収入の部

単位 円

大科目	中科目	小科目	当初予算額(A)	補正予算額(B)	増減(A-B)	備考
基本財産運用収入	基本財産利息収入		42,600	33,600	9,000	
		社団基金利息収入	30,000	21,000	9,000	元金 45,355,000 円
		菩提樹学園利息収入	12,000	12,000	0	元金 32,100,000 円
		持田基金利息収入	100	100	0	元金 800,000 円
		古屋基金利息収入	500	500	0	元金 5,400,000 円
入会金収入	入会金収入	入会金収入	10,000	10,000	0	2 園
会費収入	会費収入	会費収入	25,000,000	25,000,000	0	23,000 × 1,000 施設 (複数年支払い含む)
事業収入	出版収入		10,800,000	10,650,000	150,000	
		こどものくに収入	800,000	750,000	50,000	
		ほとけの子収入	4,500,000	4,400,000	100,000	40,000 × 11 × 12
		仏教保育カリキュラム	5,500,000	5,500,000	0	500 円 × 11,000 部
	刊行物監修		2,230,000	2,130,000	100,000	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	350,000	350,000	0	フレーベル仏保版出席カード
		保育教材ロイヤリティ	1,600,000	1,500,000	100,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他編監修料	0	0	0	
	受講料収入	中央講習会受講料	1,600,000	1,453,356	146,644	10,800 円、お弁当代・寄付含む 114 名
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,500,000	7,500,000	△ 3,000,000	
		生命尊重募金	4,500,000	7,500,000	△ 3,000,000	生命尊重募金収入の増加 祐天寺様より 3,000,000 円
	義援金	義援金	0	0	0	
補助金収入	助成金収入	年度・制度対策助成金	4,000,000	4,000,000	0	宗派(本山・保連)よりの助成金
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版 25 保育教材 6 社 30
雑収入	雑収入		7,601,000	11,300,500	△ 3,699,500	
		運用利息収入	1,000	500	500	
		協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
		広告収入	5,000,000	4,000,000	1,000,000	仏カリ他広告収入
		その他の雑収入	1,600,000	6,300,000	△ 4,700,000	6月・1月懇親会費 関西地区連絡協議会懇親会費・養成機関連絡協議会懇親会費・90周年記念パーティ会費並びに寄付金
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	95,000,000	106,878,082	△ 11,878,082	
		合計	151,333,600	169,505,538	△ 18,171,938	

II. 支出の部

大科目	中科目	小科目	当初予算額(A)	補正予算額(B)	増減(A-B)	備考	
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇	
		調査研究費	研究運営費	200,000	200,000	0	
	教育研究奨励費			200,000	200,000	0	
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助	
		古屋・持田賞	0	0	0	全国大会開催非催年	
		仏教保育功労賞	50,000	50,000	0	賞状、記念品	
		研究発表指定園	0	0	0	全国大会非開催年	
		仏教保育精励賞	0	0	0	全国大会非開催年	
	菩提樹学園充実			600,000	600,000	0	
		学園視察派遣旅費	400,000	400,000	0	旅費補助	
		同上資料代	200,000	200,000	0	学園へ現金	
	大会講習会開催費			3,500,000	3,500,000	0	
		全国大会開催費	0	0	0	2020年度は全国大会を行わないため準備金の支出はなし	
		講習会開催費	2,050,000	2,050,000	0	関西地区研修会・夏期講習会・夏期講習会案内印刷	
		仏教保育研修会費	450,000	450,000	0	講師料・案内状印刷	
		支部講習会補助	1,000,000	1,000,000	0	支部、ブロックで行う講習会補助	

事業費	刊行・出版費		22,600,000	22,600,000	0	
	仏教保育出版費		9,000,000	9,000,000	0	約75万×12
	ほとけの子出版費		1,600,000	1,600,000	0	原稿、制作費
	紀要出版補助費		0	0	0	
	月刊仏カリ費		12,000,000	12,000,000	0	製作、発送費
	各種委員会委託		1,180,000	1,180,000	0	
	仏カリ編集委員会		200,000	200,000	0	
	こどものくに編集委員会		280,000	280,000	0	委員会へ
	ほとけの子編集委員会		400,000	400,000	0	//
	教材開発委員会		300,000	300,000	0	//
	助成金支出		3,900,000	3,900,000	0	
	支部助成金		2,500,000	2,500,000	0	支部へ会費10%還元
	菩提樹学園助成		500,000	500,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ
	各種団体提携費		900,000	900,000	0	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,600,000	8,500,000	△3,900,000	
	菩提樹学園助成		1,900,000	4,900,000	△3,000,000	学園運営費 国際仏教興隆協会へ
	支払寄付金		1,000,000	2,000,000	△1,000,000	台風15号・19号その他豪雨に対する救 援金として公益財団法人全日本仏教会へ
	印刷作成費		1,000,000	1,000,000	0	
	募金経費		700,000	600,000	100,000	郵便振替の手数料
	各種対策費		2,300,000	2,300,000	0	
	組織強化費		1,000,000	1,000,000	0	支部強化経費、支部事業助成
	制度対策費		1,000,000	1,000,000	0	懇話会・顧問弁護士、全仏60周年負担金
	養成機関連絡費		300,000	300,000	0	養成機関連絡協議会
	事業雑費		2,100,000	5,782,859	△3,682,859	
	ホームページ運営費		600,000	600,000	0	NTT通信料
	事業雑費		500,000	500,000	0	
	90周年準備委員会		0	0	0	
90周年記念事業関係費用		1,000,000	4,682,859	△3,682,859		
管理費	会議運営費		4,850,000	4,850,000	0	
	理事運営審議委員会開催費		2,800,000	2,800,000	0	2回開催交通費、1月新年懇親会
	社員総会運営費		1,500,000	1,500,000	0	総会及び6月懇親会・総会案内印刷
	支部長会・参務会開催費		300,000	300,000	0	将来検討委員会
	事務局運営費		250,000	250,000	0	
	給料手当		5,170,000	5,170,000	0	
	給料・諸手当		3,860,000	3,860,000	0	給与+通勤交通費 非常勤分を省く
	賞与		980,000	980,000	0	4ヶ月
	所定福利費		330,000	330,000	0	健保、年金掛金補助、労働保険
	役務費		3,640,000	4,420,000	△780,000	
	旅費交通費		420,000	420,000	0	交通費
	通信運搬費		1,500,000	1,500,000	0	郵券、電話等通信費
	印刷製本費		300,000	300,000	0	封筒等印刷全般
	什器備品費		100,000	100,000	0	事務所備品
	消耗品費		200,000	200,000	0	文具等
	借料損料		600,000	600,000	0	事務機器リース、コピーランニングコスト
	租税公課		520,000	1,300,000	△780,000	法人税等 仏カリ売上増加で消費税が 増となった
	事務所費		2,810,000	2,810,000	0	
	貸借料		2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料 18万/月
	光熱水費		650,000	650,000	0	光熱水費負担金
	諸謝金		400,000	400,000	0	
	事務雑費		500,000	500,000	0	
特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金	600,000	600,000	0	
予備費	予備費	予備費	5,000,000	5,000,000	0	
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	87,183,600	96,992,679	△9,809,079	
		合計	151,333,600	169,505,538	△18,171,938	



第42回真言宗保育合同 園長設置者研修会を終えて

高野山真言宗保育連盟 理事長 山本文雄

令和元年11月19日～20日の日程で第42回真言宗保育合同園長設置者研修会が開催されました。この研修会は、真言宗の各派付属の団体で組織する5つの団体、真言宗豊山派保育連合会・智山保育連合会・真言宗大覚寺派保育連盟・真言宗御室派福祉連盟・高野山真言宗保育連盟が主催で実施するものです。研修会事務局は当番制であり、本年度は、当連盟が企画させていただきました。開催会場は、本宗の首都圏開教活動の中心である高野山真言宗高野山東京別院でした。



上田紀行先生の講演

研修会初日、立冬とは思えぬ好天に恵まれ、多くの方々にご参加いただきました。研修前日11月18日は、日本仏教保育協会創立90周年記念式典が盛大に行われ、引き続きとなりましたが、お忙しい中、(公社)日本仏教保育協会理事長高山久照様をはじめ、真言宗豊山派保育連合会会長安藤文隆様、智山保育連合会会長中村信成様、真言宗御室

派福祉連盟会長浅田真裕様にご列席いただき、「令和」という新元号に変わった記念すべき年に開催することができました。東京別院本堂にて、廣瀬義仙主監のごあいさつを頂き、荘厳な

音色と香りの流れるなか、開会式を執り行いました。その後、奥書院に場所を移し、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院長であられる上田紀行教授に「生きる力、立て直す力、いま私たちに求められているもの」というテーマで講演していただきました。上田教授は、『がんばれ仏教!』(NHKブック)『ダライ・ラマとの対話』(講談社文庫)『立て直す力』(中央公論新社)他多数出版され

ご活躍されている方です。その一冊の本との出会いによって、今回の研修会では是非お話を伺いたいと思いい、講演を依頼しました。教授は、大学で若い学生を相手に授業を行う中で、「自分

分が何をやりたいか、何を知らたいかよりも、自分はどう評価されているのかを考える学生が年々多くなってきた。それは、もちろん学生だけの責任ではなく、社会的な背景が大きく関わっている。即戦力になる人材を求めあまり、それに流された教育界が、国、企業、産業界からの評価を求めていった事実があり、課題をこなす能力はあ

るが、自ら問いを立てることが出来ない人が増えてきたのを感じる。また、効率さを求めるあまり脱線から立ち直る力が弱くなっているのではないかと問題提起をされています。これは、私たち幼児教育に携わる者にも言えることです。すぐに答えを導くのではなく、正解、間違いは二の次で、答えを出そうとするそのプロセスを大切にしなければなりません。さらに、幼き時からの自己肯定感の意義を深く考え、日々幼児教育に向き合おうと再確認しました。



屋形船での懇親会

講演後は、廣瀬義仙主監のご案内でヘルメットを着用して、東京電力担当者の誘導に従い東京別院の地下へ移動しました。東京電力の超高压変電所があり、地上3階地下7階建ての施設です。都心部の需要増加に対応すべく港区周辺部での超高压変電所の建設が必要となり、限られた土地の有効利用可能な地下変電所が適用できる条件で検討したところ、寺院の地下に変電所を建設するに至りました。寺院の地下という珍しい場所で、科学技術の推移並びに素晴らしいことがこれほどまでに優れていることに驚きを隠せませんでした。

夕刻、場所を船上に移し、懇親会を催しました。貸切りの屋形船は、都会の喧騒を離れ、対岸のイルミネーションを眺めながら、船内とは思えないほど快適な空間で、普段交流する機会の少ない他派の皆さまと心ゆくまで語らいの時を持つことができました。研修会の講師上田紀



大師幼稚園施設見学

行先生にもご参加いただき、心地よい時間はあつという間に過ぎていきました。
研修会2日目は、川崎市の大師幼稚園で施設見学を行いました。大師幼稚園は、川崎大師平間寺が運営する幼稚園で、6つの柱「他人を思いやる優しい心、健全な心とからだ、大切なお友だち、身近なことへの気づき、伝えあう喜び、豊かな感性」を原点とした教育を行っています。朝の体操、よさこい踊りを披露してくれた園児の表情は大変やかで元氣いっぱい先生方の思いが行き届いていることを感じました。「朝の声かけ等により、保護者との信頼関係を築き、台風の被害に遭い、大木



川崎大師平間寺にて集合写真

が倒れても、すぐに保護者が集まり処理をしていたたく等、当園では保護者の苦情がありません」と語られた多田園長先生の笑顔が印象的でした。
幼稚園見学後、川崎大師平間寺(藤田隆乗貫首)に移り、智山保育連合会会長中村信成様のご配慮により参拝後、大本堂にて山内僧侶が出仕した特別護摩祈願法要が厳修され、私たちも参列させていただきました。別室にて、川崎大師平間寺の沿革等のお話を聞かせていただき、そののち、その場にて閉会式を執り行いました。
11月中旬、冬の足音も聞こえる季節ではありませんでしたが、2日間ともに、穏やかな好天に恵ま

れ無事に研修会を終えることが出来ました。多くの関係各位に唯々感謝申し上げます。この研修で、何か得ることがあれば幸いです。

賀来良江追悼

タンダバハダンスカンパニーの会

令和元年12月27日/なかのZERO・大ホール

川崎大師の境内で、赤い爪皮の女の子が、七五三の記念写真を撮っていました。両親と祖母らしい方が微笑む中、満面の笑顔の子をみて、「また、明

合掌

令和元年が終わろうとしている年の瀬、12月27日に、なかのZERO・大ホールにて「賀来良江追悼タンダバハダンスカンパニーの会」が催されました。舞踊家であり教育者であった賀来良江先生は、2018年7月、84歳で亡くなられました。この公演会は、舞踊を通して「人を育てる」ことに一生を捧げられた良江先生が「次世代に伝えられたこと」を届け、その功績や人柄を偲ぶ機会として、日仏保を含む諸団体の後援を受けて一般社団法人タンダバハダンスカンパニー(中野真紀子代表理事)が主催したものです。
プログラムの第1部は、「かめめの水兵さん」「ひよっこりひょうたん島」「しゃぼん玉」といった全18演目の小作品集。賀来良江振付作品も含んでいます。第2部は、「荒城の月」など賀来琢磨振付作品を含む3演目、「映像で辿る賀来良江の世界

〜時には昔の話を〜」に続いて、「お釈迦様の世界」が上演されました。

「お釈迦様の世界」は、2018年夏に名古屋で開催された「第35回全国仏教保育愛知大会」において発表された「語り・歌・踊りで綴る お釈迦様の世界」の再演。良江先生の遺作となったこの作品は、人としての生き方を問い、次世代を担う子どもたちに未来を託す想いにあふれています。

良江先生は、お釈迦様の教えである六波羅蜜「6つの行い」から、子どもにも分かりやすい平易な言葉を用いて「きょうのやくそく」という曲をつくりました。ダンスと仏教の教えを融合させたタンダバハダンスカンパニーならではの「きょうのやくそく」。その普遍的な教えをすべての子どもたちに伝え、後世に残したい。そんな良江先生の思いが伝わってきます。



賀来良江プロフィール

賀来良江(かくよしえ)。1934年生まれ。仏教精神を基底とした児童舞踊の創作・普及に取り組み、タンダバハ舞踊研究所の創始者となった舞踊家・賀来琢磨氏の次女。同氏に師事して幼少より児童舞踊を学ぶ。舞踊家としての芸術的センスを培う一方、1955年よりタンダバハダンスカンパニーの指導者となる。
1973年からは様々な国で海外公演を行い、アメリカのニューズ誌でも高く評価された。鶴見大学短期大学部や宝仙短期大学の保育科に長年勤務し、身体表現の果たず教育的役割を多くの学生に伝えた教育者としての側面ももつ。2018年7月に他界。享年84歳。



◆お知らせ◆

今月号は、2・3月合併号として発行致しました。次号(4月号)は、増ページをして発行致します。

事務局日誌

- 1/10 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
- 1/21 事務局会議
- 1/21 第21回理事会・第16回運営審議委員会
- 1/24 令和元年度第2回仏教保育研修会・新年懇親会
- 1/30 こどものくに「たんぼぼ版」編集会議
- 1/30 こどものくに「チューリップ版」編集会議

「仏教×SDGs」のコラボレーション

この頃、街中で、テレビや雑誌で、インターネット上で…「SDGs」という言葉を見聞きする機会が増えてきました。SDGs (Sustainable Development Goals) つまり「持続可能な開発目標」とは、2015年に国連で採択された、貧困・飢餓・ジェンダー不平等や環境破壊といった課題を解決して「世界を変えていこう」と、掲げられた17の目標です。

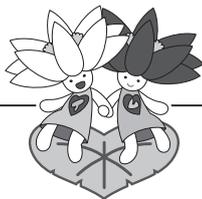
いま世界中で、その実現に向けた動きが活発化しています。その中で「伝統宗教である仏教だからこそできることがあるのでは？」と、「仏教×SDGs」というコラボレーションについて語られるようになってきました。

例えば、2018年11月に開催された第29回WFB世界仏教徒会議では、そこで示された東京宣言の中で「SDGsの実現を支援すること」が掲げられています。

また、龍谷大学(京都市)は現在、仏教の観点で持続可能な社会を考える「仏教SDGs」についての研究等を中心として、多岐にわたる「ソーシャルビジネス」に関する活動を推進する「ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター」の設立準備を進めています。ムハマド・ユヌス博士は、貧困者向けに低利の少額融資(マイクロファイナンス)を行うグラミン銀行を設立。バン格拉デシュの貧困削減に貢献し、2006年にノーベル平和賞を受賞しました。ユヌス博士が提唱するソーシャルビジネスに関する研究拠点は世界74か所に設立され、そのネットワークを築いています。

SDGsの達成に向けて、仏教ができること、そして仏教保育ができること。それは何でしょうか？

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX 03(3431)1519
発行人 高山久照 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

編集後記

昨年9月からオーストラリアで大規模な森林火災が発生しています。日本の国土の約半分以上に及ぶ大規模な火災で犠牲者29名(1月11日現在)が死亡、2千7百棟以上の住宅が焼け、コアラやカンガルー、鳥類などを含め約12億5千匹以上の動物が犠牲になったと報道されていきました。豪州では暑くなる頃から森林火災が起きやすくなり、昨年は観測史上最も暑く乾燥した為、被害が長期化しており、研究者は、人為的な温暖化が影響を与えているのは「常識」だといわれています。世界の国々でも干ばつや洪水、雪崩による被害が多発しています。日本においても毎年各地で台風や大雨によって甚大な被害が出ています。私たち人間は豊かで快適な生活を手にいれる為産業や経済の発展を追い求めてきました。その結果人為的な気候変動を引き起こしています。自然環境の諸問題は国を挙げて取り組まなければならない重要な課題です。しかし、人任せにするのではなく、この私には何ができるのか、ひとり一人の、この私のあり様が問われているのではないのでしょうか。

(桑田)

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面)○四つの門(13場面)○おさと(16場面)○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(税込¥22,000)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面26.5×38.2cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご活用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文お問い合わせ
すずき出版